

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に関する市民意識調査
調査結果報告書

目 次

I 調査の概要	1
II 総括	5
III 集計結果	11
IV 集計表／前回調査との比較	53
自由記述	81

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「志布志市地域福祉計画」及び「志布志市地域福祉活動計画」策定に係る基礎資料として、市民の地域福祉に関する実態や要望・意見等を把握することを目的として実施した。

2 調査方法

(1) 調査地域

志布志市全域

(2) 調査対象者

志布志市に在住する20歳以上の男女2,000人を無作為抽出

(年代別内訳)

区分	抽出数		回収数		未回収数		抽出数に対する 回収数割合
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
20歳代	210	10.5%	57	5.5%	153	16.0%	27.1%
30歳代	293	14.7%	119	11.4%	174	18.2%	40.6%
40歳代	296	14.8%	120	11.5%	176	18.4%	40.5%
50歳代	365	18.3%	210	20.1%	155	16.2%	57.5%
60歳代	488	24.4%	301	28.8%	187	19.6%	61.7%
70歳以上	348	17.4%	229	21.9%	119	12.4%	65.8%
年齢無回答	--	--	8	--	--	--	--
合計	2,000	100.0%	1,044	100.0%	956	100.0%	52.2%

(3) 調査期間

平成30年7月中旬～平成30年8月初旬

(4) 調査方法

① 郵送による配布及び回収(郵送調査)

⇒ 調査対象者に調査票を郵送して記入を依頼し、それを再び送り返してもらう手法。

② オンラインによる回答受付(インターネット調査)

⇒ Webページの調査画面へ調査対象者にアクセスしてもらい、回答を送信してもらう手法。

※更に回収率の向上に向け、調査対象者に対してお礼状兼督促状を2回送付。

3 回収状況

調査数	回収数	有効回答数	無効回答数	回収率	有効回答率
2,000	1,046	1,044	2	52.3%	99.8%

※無効回答とは、白紙での回答及び集計期間外に回収され集計対象とならなかったものを指す

4 本書を読む際の留意点

- ・ 本来回答すべき者が回答していない場合、いわゆる「無回答」については、各集計において除外処理を行っている。なお、有効サンプル数は、本文中(n)として表記している。
- ・ 集計結果は百分率で算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、割合の合計が100%としない場合がある。
- ・ 複数回答の場合、選択肢ごとの有効回答者数に対してそれぞれの割合を示している。そのため、割合の合計が100%を超える場合がある。
- ・ 本文中、設問や選択肢、表内の表記、グラフ内のラベルなど、ページのレイアウトの都合上、一部また全部を省略・縮小して表記している場合がある。

Ⅱ 総括

Ⅱ 総括

1 アンケート調査全般について

(1) 調査の目的

本調査は、現行の「第1期志布志市地域福祉計画及び志布志市地域福祉活動計画」が平成30年度をもって計画期間終了となることから、第1期計画の振り返りを行うとともに、次期計画の策定に係る基礎資料として、市民の地域福祉に関する実態や要望・意見等を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象等

調査地区、調査対象者については前回調査と同様の内容で実施した。

調査期間については、第1期計画策定時(平成25年度)は前年度(平成24年度)に実施していたが、今回調査ではアンケート調査と計画策定を同一年度に実施し、計画により直近の市民の意見を取り入れることを目指した。

調査方法については、前は郵送調査のみであったが、昨今のスマートフォンやPCの普及によるインターネット環境の広がりを考慮し、今回から新たにオンラインによる回答受けを取り入れた。内訳をみると、郵送調査による回答が約9割なのに対してオンラインによる回答は1割に満たない。オンライン回答を行ったデバイスを見ると、スマートフォンからの回答が8割以上という結果もみられた。

回収状況については、今回2,000件の調査票配布に対し1,046件(52.3%)の回答を得た。前回調査の1,220件(61.0%)から8.7ポイント低下したものの、無効回答を除く有効回答率については前回調査と比較して1.3ポイント上昇した。

2 回答者属性について

(1) 回答者の属性[問1～問5]

性別は、前回調査同様男性よりも女性の回答者割合が高い。

年代は、30歳代及び60歳代で割合の上昇がみられた。なお、年齢が高くなるにつれて、調査対象者抽出数に対する回答割合が高くなる傾向がみられた。

世帯構成については、夫婦のみの世帯及び二世帯世帯(調査対象者と子)、その他の世帯で割合の上昇がみられる一方、それ以外の世帯構成では割合の低下がみられた。

居住地区については、前回と同様市内21地区で選択肢を設けている。調査対象者抽出数に対する回答割合については、旧町地域を基準とする場合、松山地域、有明地域、志布志地域の順に回答割合が高くなった。職業について、自営業及び専業主婦、無職の割合が低下する一方で、会社員(正社員)や公務員・団体職員(正規職員)などの割合が上昇している。

3 地域とのかかわりについて

(1) 現在居住する地域や周辺環境[問6A～問6J]

【A.住んでいる地域に愛着を感じている】及び【F.近所づきあいや助け合いなどの近隣関係が良好である】といったものについて肯定的な回答が多くみられるものの、前回調査と比較すると、【A】については3.5ポイント、【F】については1.9ポイントそれぞれ低下する結果となった。また、10個の設問中半数の5個の設問で「わからない」とする割合が上昇している。

(2) 日常生活の悩みや不安、相談先[問7～問8]

前回調査と比較すると、高齢期に対する不安や、災害・犯罪に関するものの割合が上昇している。70歳未満については、老後のことに関する回答割合が高いが、70歳以上に関しては自身の健康について割合が高い。

相談先については、「市役所の相談窓口」とする割合が6.6ポイント、「地域包括支援センター」が4.3ポイントそれぞれ上昇する一方で、「家族・親戚」とする割合が7.5ポイント、「友人・知人」が3.8ポイント低下している。

(3) 手助けしてほしいこと・手助けできること[問9～問10]

手助けしてほしいことについては、「災害時の手助け」、「通院など外出の手伝い・送迎」、今回調査より追加した「ゴミの分別・ゴミ出し」で割合の上昇がみられる一方、「手助けしてほしいことはない」という回答も3.6ポイント上昇した。

手助けできることについては、「特に手助けできることはない」とする回答が2ポイント上昇した。今回調査より追加した「ゴミの分別・ゴミ出し」では全体の2割が回答しているものの、それ以外の全ての項目で割合が低下するという結果となった。

4 ボランティア活動について

(1) 活動経験の有無・参加のきっかけ[問11～問11-①]

参加経験については、前回調査同様、現在活動中が約1割、これまで経験があり現在活動していないが約2割、未経験が約6割という結果となった。未経験者に着眼すると、男女別では男性よりも女性の割合が高く、年代別にみると、30歳代以上は6割が未経験という結果になった。

参加のきっかけをみると、「自分たちのために必要な活動だから」、「人の役に立ちたいから」とする回答が多くみられる。

(2) 参加経験のある活動・ボランティア活動をしない理由[問11-②～問11-③]

参加経験のある活動については、「地域行事のお手伝い(運動会、祭り、文化祭など地域のイベントのお手伝い)」、「環境美化に関する活動(自然愛護や美化活動、リサイクル活動)」がそれぞれ20ポイント程度上昇している。一方、「保健に関する活動(健康教室等の支援、献血ボランティアとしての活動)」で8.1ポイントの低下がみられた。男女別にみると、男性は環境美化、女性は地域行事補助の割合が高い。

また、ボランティア活動をしない理由については、「仕事や家事が忙しく参加する余裕はない」とする割合が最も高く、第2位である「自分のことだけで精一杯」については4.1ポイント上昇している。今回調査で追加した「どこに相談して良いか分からない」については、4.5ポイントとなった。

(3) 今後ボランティア活動の輪を広げるために必要なこと[問12]

「気軽に参加できる体制を整備する」とする割合が全体の過半数を占め、その他、経済的負担がかからぬよう交通費等実費を補助する仕組みや、情報提供を求める声、学校教育との連携を求める意見が多くみられた。一方、「わからない」とする回答については前回調査と比較して14.1ポイント上昇している。

5 「高齢者福祉」について

(1) 望む高齢期の過ごし方[問13]

前回調査同様、「趣味や余暇を楽しみたい」とする割合が全体の約4割を占めている。その他の割合の順位に大きな変化はみられないが、「わからない」とする回答については、前回調査と比較して4.4ポイント上昇している。年代別にみると、50歳代を除く全ての年代で「趣味や余暇を楽しみたい」とする割合が高い一方で、50歳代は「収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい」とする割合が高くなった。

(2) 地域で生活する上で大切なこと・地域でできること、居住地域における要援護者等の見守り状況について[問14～問16]

高齢者が地域で生活する上で大切なこととしては、「心と体の健康」とする割合が前回同様6割を占めて最も高くなっている。また家族の協力や、介護等福祉サービス等が大切だと考える傾向は前回同様である。「心と体の健康」とする割合を年代別にみると、年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向がみられた。

また地域でできることとしては、「見守り、声かけ、話し相手」が前回同様約8割を占め、「日常的なあいさつ」も過半数を占めている。

見守り状況については、「十分に行われていると思う」及び「どちらかといえば行われていると思う」を合計した【行われている】とする割合は、前回調査から0.3ポイント低下している。

6 「児童福祉」について

(1) 子育てのしやすさのために大切なこと[問17]

前回調査と比較して順位に大きな差はみられない。小児医療機関の充実や企業や職場の理解支援、緊急時の託児等の回答が多くみられる。

(2) 子育てに関する相談先、保護者同士の付き合い[問18～問19]

子育てに関する相談先は、前回同様、家族や親戚、友人、知人といった割合が高くなっている。

また、市役所は4.0ポイント、社会福祉協議会は1.1ポイント上昇する結果となった。

また、保護者同士の付き合いについては、「密接な付き合いがある」とする回答が1ポイント上昇したのに対し、「ほとんど付き合いがない」は5.2ポイント、「付き合いはない」も1.5ポイント上昇している。

(3) 子育てに関する悩み・子どもに対する福祉教育[問20～問21]

前回調査と比較して順位に大きな差はみられないが、「悩みはない」とする割合は1.9ポイント上昇している。

子どもに対する福祉教育については、学校及び家庭での教育がそれぞれ過半数を超えている一方で、「地域の活動などを通じて学ぶ」とする回答も3.2ポイント上昇している。

7 「障がい者福祉」について

(1) 障がいのある人との関わり[問22]

前回調査と比較して、職場での関わりが6.1ポイント、近所での関わりが3.8ポイント上昇している。

(2) 地域で生活する上で大切なこと・地域でできること[問23～問24]

地域で生活する上で大切なことについては、前回調査と比較して順位に大きな差はみられないが、「相談窓口の充実」とする回答が4.8ポイント、「交通手段の確保」が2.6ポイント上昇している。

また、地域でできることについても大きな差はみられないが、「日常的なあいさつ」及び「その他」を除くすべての項目で割合の上昇がみられた。

わからないとする割合を年代別にみると、各年代大きな差はみられないが、60歳代が全体の1/4を占める結果となった。

8 災害時の備えについて

(1) 非常持ち出し用品等の準備状況・避難場所の把握状況[問25～問26]

非常持ち出し用品等の準備状況は前回調査から1.3ポイント上昇、また避難場所の把握についても1.3ポイントの上昇となった。できていないとする割合を年代別にみると、60歳未満は8割台後半以上を占め、さらに20歳代については9割以上を占めている。

(2) 災害発生時の状況判断と避難の可否・援護者の有無[問27～問27-①]

災害が発生した場合「避難できる」とする回答は、前回調査と比較して0.6ポイント低下した。一方、判断はできるが援護が必要・判断も避難もできないとする割合はそれぞれ上昇している。また、「避難できない」とする割合を年代別でみると、70歳以上の割合が高くなっている。

一人で避難ができない場合の援護者の有無についてみると、「いる」とする割合が6割を占めるものの、前回調査との比較では4.4ポイント低下している。また、「いない」とする割合を年代別でみると、40歳代の割合が高くなっている。

(3) 災害発生時行政の役割として期待すること[問28]

前回調査同様、「防災情報の収集と地域への情報提供」とする回答が最も多くなっているが、割合をみると前回の約6割から約7割へと上昇している。また、「災害時要援護者の把握」についても3.1ポイント上昇している。

9 生活困窮者対策について

(1) 生活困窮者自立支援法の認知度・しゅし生活自立支援センターの認知度[問29～問30]

それぞれ制度改正に伴う新規設問である。生活困窮者自立支援法については、認知度が1割、しゅし生活自立支援センターについては認知度が1割弱という結果となった。それぞれ言葉や名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らないとする割合が5割程度であることから、内容の周知徹底が必要であると考えられる。

(2) 生活困窮者に対する必要な支援[問31]

上記同様、制度改正に伴う新規設問である。「わからない」とする割合が4割弱、「必要だと思う人はいない」が約3割という結果となった。

10 志布志市の福祉行政について

(1) 福祉や健康に関する情報の入手先・知りたい情報[問32～問33]

前回調査と大きく順位の変化はみられないものの、全体的に割合が低下する傾向がみられた。その中で「インターネット」とする回答が7.4ポイント上昇している。男女別、年代別ともに大きな差はみられなかった。

また知りたい情報については、「福祉や健康に関するサービス利用方法についての情報」及び「健康づくりに関するサービスの情報」がともに4割弱となる一方で、「特になし」とする回答は4.2ポイント上昇した。年代別にみると、20歳代と40歳代は「健康づくりに関するサービスの情報」、30歳代は「子育てに関するサービスの情報」、それ以外の年代については「福祉や健康に関するサービス利用方法についての情報」とする割合がそれぞれ高くなった。

(2) 地域福祉充実に向けた住民と行政との関係・市の福祉施策で必要なこと[問34～問35]

地域福祉充実に向けた住民と行政との関係は、前回調査と大きく順位の変化はみられない。「行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである」とする回答が1.5ポイント、「わからない」が10.9ポイントそれぞれ上昇している。

市の福祉施策で必要なこととしては、「身近なところでの相談窓口の充実」、「保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実」などの割合が前回調査と比較して上昇している。

(3) 第1期計画における取組の柱についての客観的評価[問36①～問36⑧]

第1期計画における取組の柱を市民からの視点で客観的評価を行うため、今回調査から新たに設問として設置した。「良くなった」及び「少し良くなった」を【良くなった】、「少し悪くなった」及び「悪くなった」を【悪くなった】として統合・集計処理を行っている。

【良くなった】では、「②わかりやすい情報を発信します」とする割合が3割で最も高く、次いで「⑥交通安全と防犯活動を推進します」「①本市の福祉施策全般について」の順となっている。

一方「わからない」では、「①本市の福祉施策全般について」とする割合が約4割で最も高く、次いで「⑧誰でも参加できる学びの場をつくります」、「③気軽に相談できる体制をつくります」の順となっている。

また【悪くなった】は、全ての項目で全体の2%程度となった。

11 志布志市社会福祉協議会の活動について

(1) 社協の認知度・社協に対する考え[問37～問37-①]

「名前も活動内容も知っている」及び「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」を認知度とした場合、前回調査の割合が90.5%であったのに対し、今回調査は90.4%となっており、大きな差はみられない。「名前も活動内容も知っている」とする回答に着眼すると、4.6ポイントの上昇となっており、内容理解が進んだと考えられる。また、「名前も活動内容も知っている」とした回答者に対して社協の活動状況を聞いた結果、前回調査と比較して大きな差はみられなかった。

年代別にみると、60歳以上の認知度が低くなっている。

(2) 年会費とその活用方法[問38～問38-①]

一般会員に対する年会費については、「知っている」とする割合が前回調査の約4割から今回調査の約5割へ上昇している。

また年会費の活用方法については、前回調査と大きな変化はみられない。

(3) 社協の実施している事業[問39]

多くの事業で前回調査よりも認知状況は上昇している。「法外援護資金(小口資金)貸付」、「認知症徘徊模擬訓練」、「ボランティア協力校の指定」といった事業の認知度が低い結果となった。

(4) 社協に今後充実してほしい活動や支援[問40]

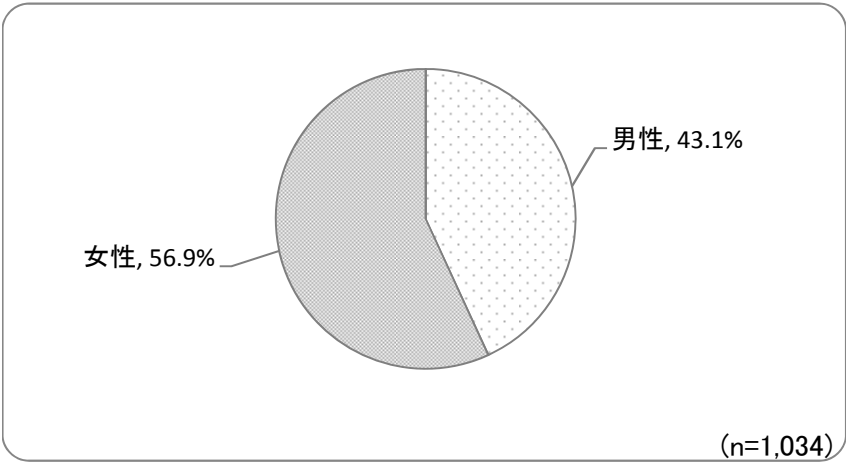
社協に今後充実してほしい活動や支援については、前回調査と大きな変化はみられない。

Ⅲ 集計結果

Ⅲ 集計結果

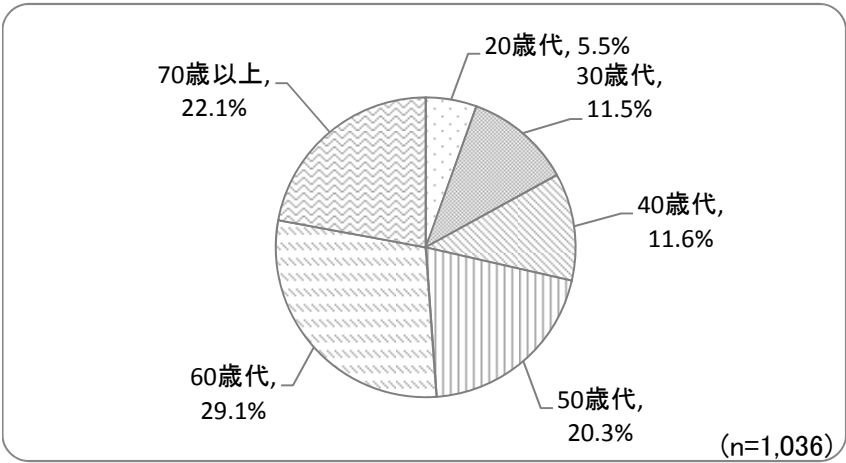
1.あなた自身のことについてお聞きします

問1 あなたの性別をお答えください。
単数回答



「男性」が43.1%、「女性」が56.9%となっている。

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成30年7月1日現在)
記入式回答



「60歳代」とする割合が29.1%で最も高く、次いで「70歳以上」が22.1%、「50歳代」が20.3%となっている。

＜参考＞年代別抽出数と回答数

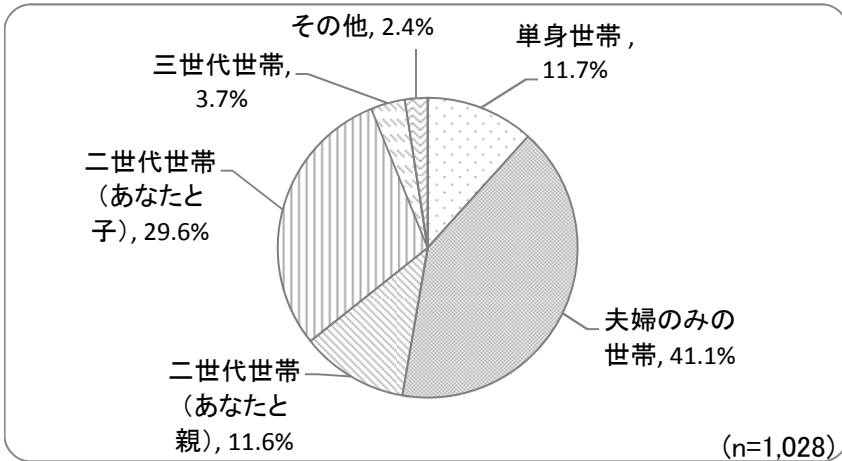
	抽出数		回答数		抽出数に対する 回答数割合
	件数	割合	件数	割合	
20歳代	210	10.5%	57	5.5%	27.1%
30歳代	293	14.7%	119	11.5%	40.6%
40歳代	296	14.8%	120	11.6%	40.5%
50歳代	365	18.3%	210	20.3%	57.5%
60歳代	488	24.4%	301	29.1%	61.7%
70歳以上	348	17.4%	229	22.1%	65.8%
合計	2,000	100.0%	1,036	100.0%	

年代が高くなるにつれて回答率が高くなる傾向がみられた。40歳代以下については過半数を下回っており、20歳代においては3割を下回る結果となった。

※表内の回答数については、問2に対しての回答数であり、同設問に回答のなかったもの、いわゆる無回答については除外している。

問3
単数回答

あなたの世帯構成をお答えください。



「夫婦のみの世帯」とする割合が41.1%で最も高く、次いで「二世世代世帯(あなたと子)」が29.6%、「単身世帯」が11.7%となっている。

問4
単数回答

あなたのお住まいの地域(校区)はどこですか。

(n=1,035)

地域(校区)名	件数	割合
新橋	67	6.5%
泰野	48	4.6%
尾野見	36	3.5%
香月	88	8.5%
安楽	119	11.5%
東区	50	4.8%
志布志区	119	11.5%
帖五区	57	5.5%
夏井陣岳	11	1.1%
田之浦	22	2.1%
四浦	1	0.1%
森山	11	1.1%
潤ヶ野	20	1.9%
八野	2	0.2%
伊崎田	71	6.9%
有明	72	7.0%
通山	73	7.1%
蓬原	46	4.4%
原田	28	2.7%
野神	59	5.7%
山重	35	3.4%
計	1,035	100.0%

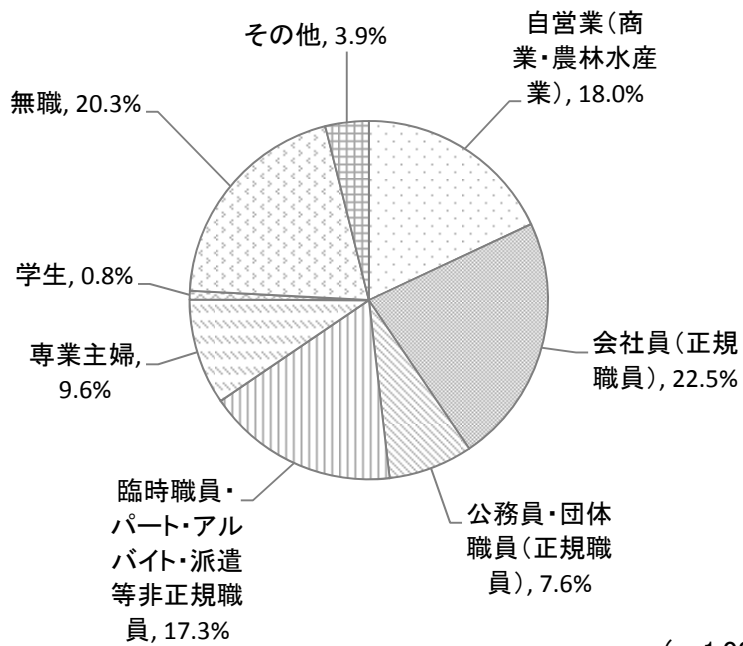
< 参考 > 地域別抽出数と回答数

松山地域	抽出数	259
	回答数	151
	抽出数に対する回答数割合	58.3%
志布志地域	抽出数	1,053
	回答数	500
	抽出数に対する回答数割合	47.5%
有明地域	抽出数	685
	回答数	384
	抽出数に対する回答数割合	56.1%
地区無回答数		9

「安楽」及び「志布志区」とする割合がともに11.5%で最も高く、次いで「香月」が8.5%、「通山」が7.1%となっている。
旧町地域ごとに抽出数に対する回答割合を比較すると、松山地域が58.3%で最も高く、次いで有明地域が56.1%、志布志地域が47.5%となっている。

問5
単数回答

あなたの職業は何ですか。



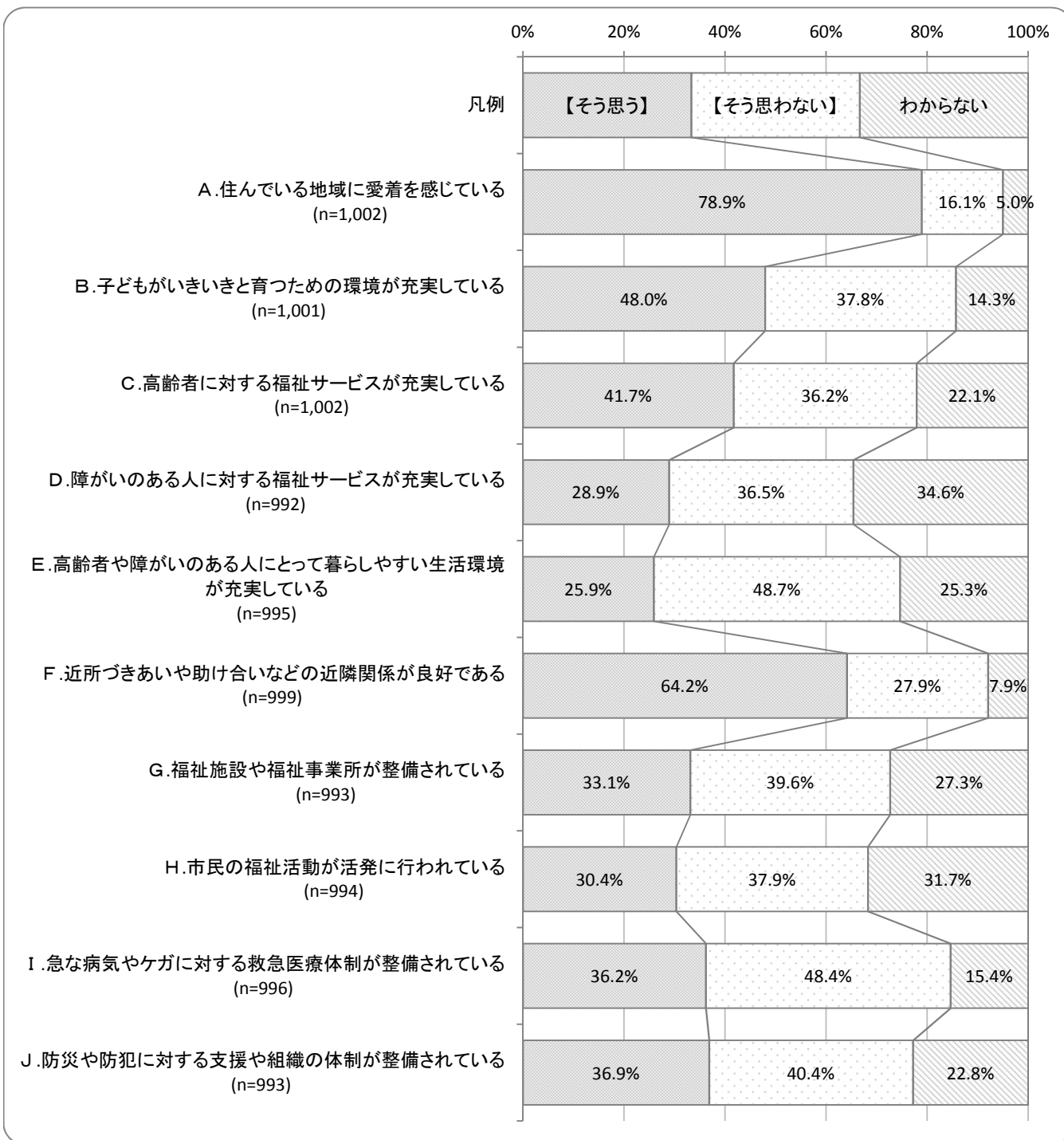
(n=1,026)

「会社員(正規職員)」とする割合が22.5%で最も高く、次いで「無職」が20.3%、「自営業(商業・農林水産業)」が18.0%となっている。

2.地域とのかかわりについてお聞きます

問6 単数回答

あなたがお住まいの地域や周辺の環境について、どのように思いますか。



※「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を【そう思う】、「どちらかといえばそう思わない」及び「そう思わない」を【そう思わない】として統合・集計処理している。

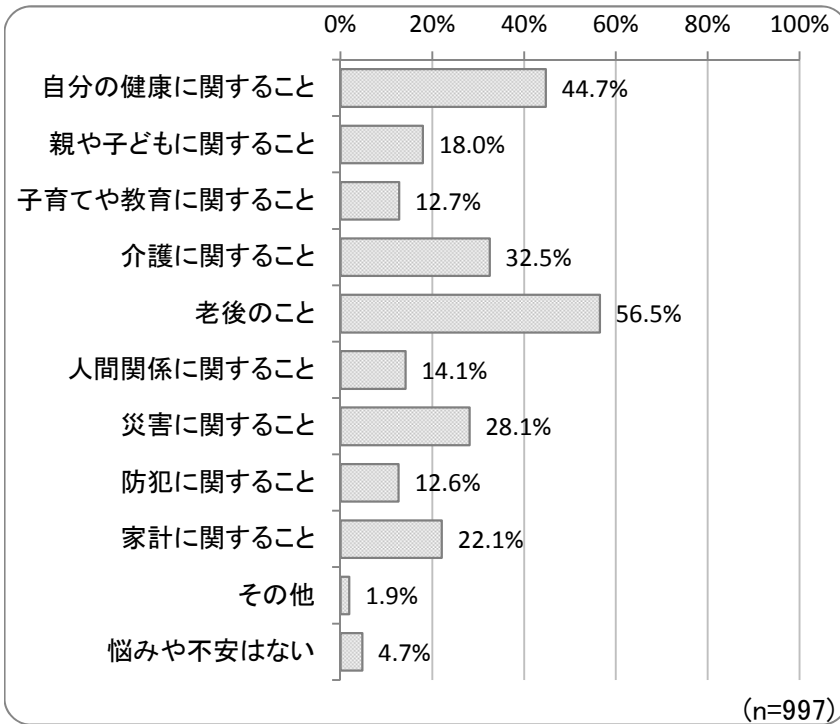
【そう思う】では、「A.住んでいる地域に愛着を感じている」とする割合が78.9%で最も高く、次いで「F.近所づきあいや助け合いなどの近隣関係が良好である」が64.2%、「B.子どもがいきいきと育つための環境が充実している」が48.0%となっている。

一方【そう思わない】では、「E.高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすい生活環境が充実している」とする割合が48.7%で最も高く、次いで「I.急な病気やケガに対する救急医療体制が整備されている」が48.4%、「J.防災や防犯に対する支援や組織の体制が整備されている」が40.4%となっている。

また【わからない】では、「D.障がいのある人に対する福祉サービスが充実している」とする割合が34.6%で最も高く、次いで「H.市民の福祉活動が活発に行われている」が31.7%、「G.福祉施設や福祉事業所が整備されている」が27.3%となっている。

問7
複数回答

あなたは毎日の暮らしの中でどのような悩みや不安を感じていますか。



全体では「老後のこと」とする割合が56.5%で最も高く、次いで「自分の健康に関すること」が44.7%、「介護に関すること」が32.5%となっている。

<クロス集計> 問7: 男女別／年代別集計

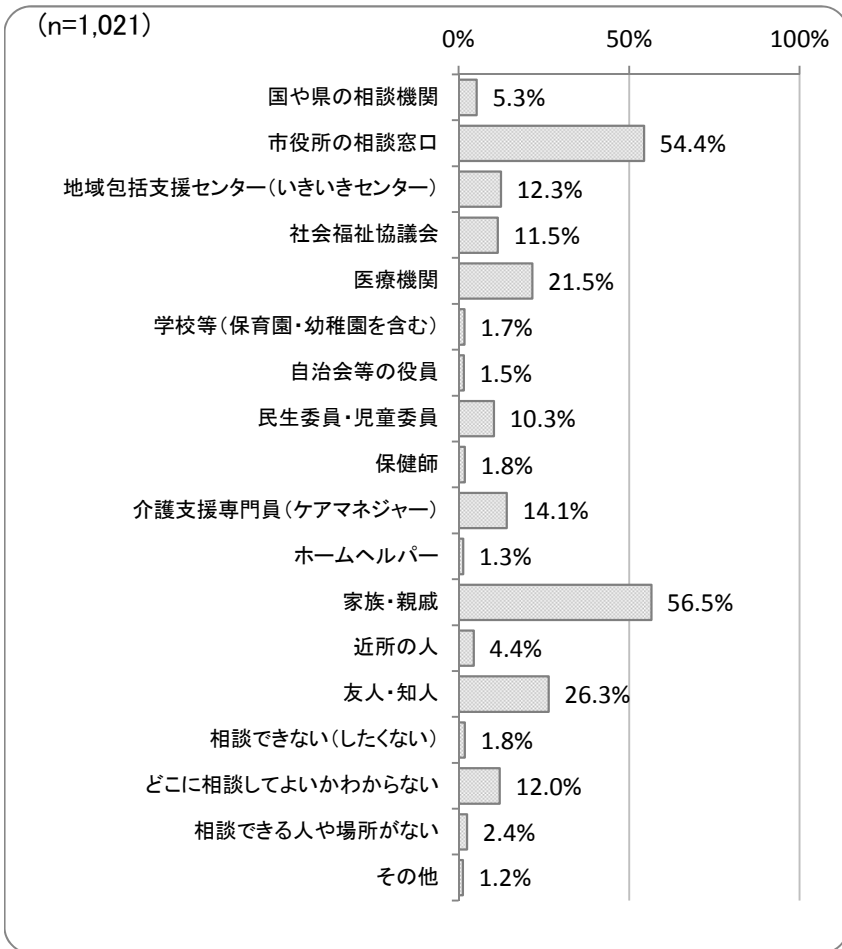
※上段: 件数、下段: 割合

	合計	自分の健康に関すること	親や子どもに関すること	子育てや教育に関すること	介護に関すること	老後のこと	人間関係に関すること	災害に関すること	防犯に関すること	家計に関すること	その他	悩みや不安はない
合計	997 100.0%	446 44.7%	179 18.0%	127 12.7%	324 32.5%	563 56.5%	141 14.1%	280 28.1%	126 12.6%	220 22.1%	19 1.9%	47 4.7%
男性	426 100.0%	204 47.9%	58 13.6%	41 9.6%	134 31.5%	229 53.8%	54 12.7%	129 30.3%	58 13.6%	98 23.0%	6 1.4%	28 6.6%
女性	564 100.0%	237 42.0%	119 21.1%	83 14.7%	188 33.3%	332 58.9%	86 15.2%	150 26.6%	67 11.9%	120 21.3%	13 2.3%	19 3.4%
20歳代	54 100.0%	14 25.9%	6 11.1%	13 24.1%	8 14.8%	21 38.9%	13 24.1%	20 37.0%	11 20.4%	13 24.1%	0 0.0%	7 13.0%
30歳代	117 100.0%	23 19.7%	39 33.3%	48 41.0%	17 14.5%	49 41.9%	21 17.9%	38 32.5%	16 13.7%	37 31.6%	4 3.4%	6 5.1%
40歳代	116 100.0%	24 20.7%	39 33.6%	34 29.3%	31 26.7%	52 44.8%	14 12.1%	24 20.7%	13 11.2%	38 32.8%	3 2.6%	10 8.6%
50歳代	203 100.0%	74 36.5%	60 29.6%	15 7.4%	88 43.3%	116 57.1%	22 10.8%	53 26.1%	21 10.3%	48 23.6%	4 2.0%	3 1.5%
60歳代	282 100.0%	162 57.4%	24 8.5%	10 3.5%	89 31.6%	183 64.9%	45 16.0%	74 26.2%	29 10.3%	50 17.7%	4 1.4%	11 3.9%
70歳以上	220 100.0%	145 65.9%	10 4.5%	6 2.7%	89 40.5%	140 63.6%	25 11.4%	70 31.8%	35 15.9%	34 15.5%	4 1.8%	10 4.5%

男女別にみると、男女ともに「老後のこと」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。
また年代別にみると、20歳代から60歳代までは「老後のこと」とする割合が高いのに対し、70歳以上では「自分の健康に関すること」とする割合が最も高くなっている。

問8
複数回答

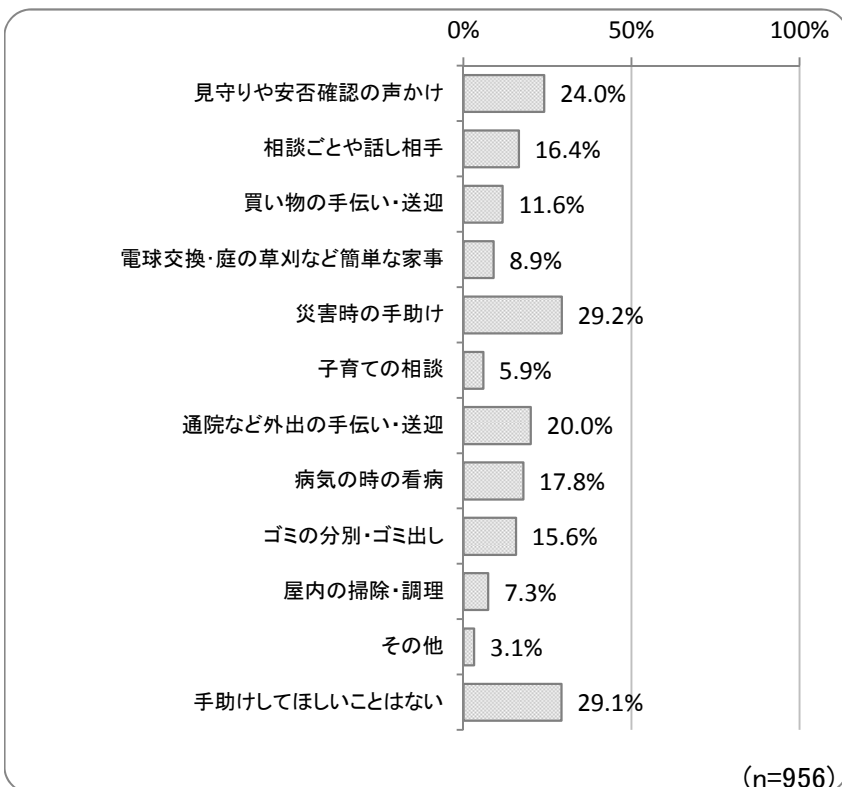
あなたが生活上の悩みを抱えたり、福祉サービスが必要になった時、誰(どこ)に相談しますか。



「家族・親戚」とする割合が56.5%で最も高く、次いで「市役所の相談窓口」が54.4%、「友人・知人」が26.3%となっている。

問9
複数回答

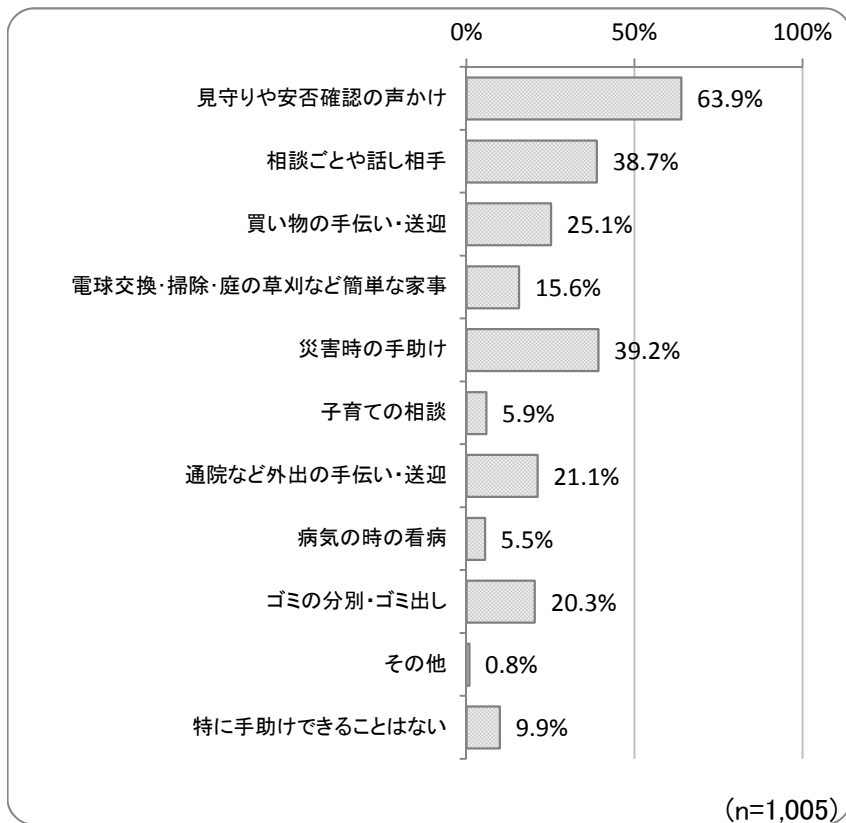
あなたやあなたの家族が困っていることで、手助けをしてほしいと思うことには、どのようなものがありますか。



「災害時の手助け」とする割合が29.2%で最も高く、次いで「手助けしてほしいことはない」が29.1%、「見守りや安否確認の声かけ」が24.0%となっている。

問10
複数回答

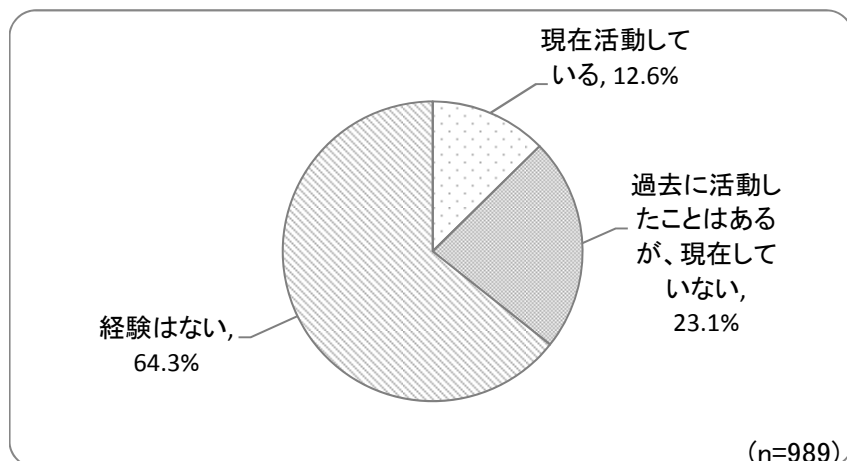
隣近所で困っている人がいたとき、あなたができる手助けとして、どのようなものがありますか。



「見守りや安否確認の声かけ」とする割合が63.9%で最も高く、次いで「災害時の手助け」が39.2%、「相談ごとや話し相手」が38.7%となっている。

3. ボランティア活動についてお聞きます

問11 あなたのボランティア活動経験についてお答えください。
単数回答



全体では「現在活動している」が12.6%、「過去に活動したことはあるが、現在していない」が23.1%、「経験はない」が64.3%となっている。

<クロス集計> 問11: 男女別／年代別集計

※上段: 件数、下段: 割合

	合計	現在活動している	過去に活動したことはあるが、現在していない	経験はない								
合計	989	125	228	636								
	100.0%	12.6%	23.1%	64.3%								
男性	424	71	99	254								
	100.0%	16.7%	23.3%	59.9%								
女性	558	53	126	379								
	100.0%	9.5%	22.6%	67.9%								
20歳代	56	7	28	21								
	100.0%	12.5%	50.0%	37.5%								
30歳代	116	10	33	73								
	100.0%	8.6%	28.4%	62.9%								
40歳代	115	10	28	77								
	100.0%	8.7%	24.3%	67.0%								
50歳代	198	20	50	128								
	100.0%	10.1%	25.3%	64.6%								
60歳代	285	44	45	196								
	100.0%	15.4%	15.8%	68.8%								
70歳以上	214	34	42	138								
	100.0%	15.9%	19.6%	64.5%								

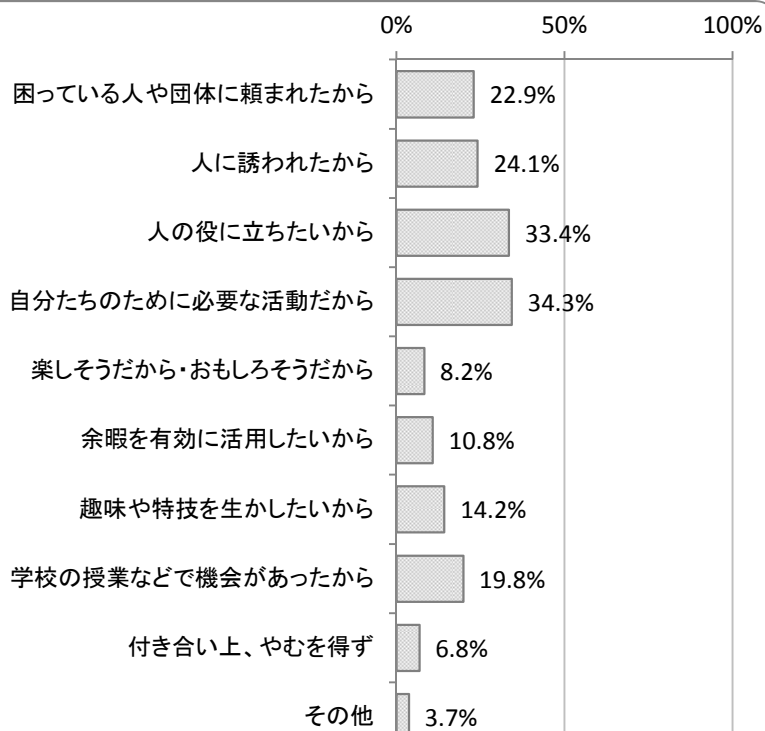
男女別にみると、男女ともに「経験はない」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代では過半数が「過去に活動したことはあるが、現在していない」としている一方で、30歳代以上では「経験はない」とする割合がそれぞれ6割以上となっている。

※問11で「1 現在活動している」、「2 過去に活動したことはあるが、現在していない」とした者のみ

問11-① あなたがボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。

複数回答



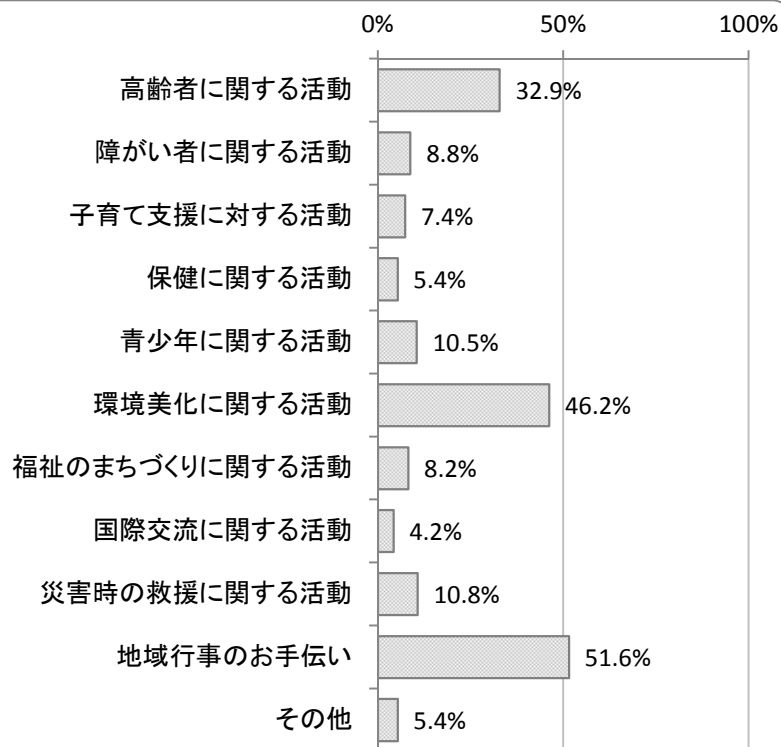
(n=353)

「自分たちのために必要な活動だから」とする割合が34.3%で最も高く、次いで「人の役に立ちたいから」が33.4%、「人に誘われたから」が24.1%となっている。

※問11で「1 現在活動している」、「2 過去に活動したことはあるが、現在していない」とした者のみ

問11-② ボランティア活動の内容を教えてください。

複数回答



(n=353)

全体では「地域行事のお手伝い(運動会、祭り、文化祭など地域のイベントのお手伝い)」とする割合が51.6%で最も高く、次いで「環境美化に関する活動(自然愛護や美化活動、リサイクル活動)」が46.2%、「高齢者に関する活動(ふれあいサロン、高齢者の見守り活動・老人施設等慰問など)」が32.9%となっている。

＜凡例＞

- ・ 高齢者に関する活動 …… ふれあいサロン、高齢者の見守り活動・老人施設等慰問など
- ・ 障がい者に関する活動 …… 手話や音読・点字・代筆、外出支援、施設訪問など
- ・ 子育て支援に対する活動 …… 子育てサロン、子育て相談、放課後の児童支援など
- ・ 保健に関する活動 …… 健康教室等の支援、献血ボランティアとしての活動
- ・ 青少年に関する活動 …… 悩み相談や交流、スポーツ少年団活動などの支援
- ・ 環境美化に関する活動 …… 自然愛護や美化活動、リサイクル活動
- ・ 福祉のまちづくりに関する活動 …… 子どもと高齢者、障がい者等のふれあい活動、マップづくり
- ・ 国際交流に関する活動 …… ホストファミリー・留学生への通訳、ガイド援助、海外ボランティア協力など
- ・ 災害時の救援に関する活動 …… 住民の安否確認、高齢者・障がい者の世話、炊き出し・救援物資の配布など
- ・ 地域行事のお手伝い …… 運動会、祭り、文化祭など地域のイベントのお手伝い
- ・ その他

＜クロス集計＞問11-②：男女別／年代別集計

※上段：件数、下段：割合

	合計	高齢者に関する活動	障がい者に関する活動	子育て支援に対する活動	保健に関する活動	青少年に関する活動	環境美化に関する活動	福祉のまちづくりに関する活動	国際交流に関する活動	災害時の救援に関する活動	地域行事のお手伝い	その他
合計	353 100.0%	116 32.9%	31 8.8%	26 7.4%	19 5.4%	37 10.5%	163 46.2%	29 8.2%	15 4.2%	38 10.8%	182 51.6%	19 5.4%
男性	170 100.0%	34 20.0%	3 1.8%	6 3.5%	6 3.5%	24 14.1%	96 56.5%	12 7.1%	5 2.9%	23 13.5%	94 55.3%	12 7.1%
女性	179 100.0%	80 44.7%	28 15.6%	20 11.2%	12 6.7%	12 6.7%	65 36.3%	15 8.4%	10 5.6%	14 7.8%	85 47.5%	7 3.9%
20歳代	35 100.0%	16 45.7%	5 14.3%	5 14.3%	2 5.7%	2 5.7%	16 45.7%	2 5.7%	1 2.9%	2 5.7%	18 51.4%	0 0.0%
30歳代	43 100.0%	14 32.6%	3 7.0%	5 11.6%	2 4.7%	3 7.0%	19 44.2%	1 2.3%	1 2.3%	2 4.7%	18 41.9%	2 4.7%
40歳代	38 100.0%	5 13.2%	2 5.3%	1 2.6%	1 2.6%	6 15.8%	15 39.5%	0 0.0%	4 10.5%	2 5.3%	28 73.7%	1 2.6%
50歳代	70 100.0%	18 25.7%	9 12.9%	3 4.3%	2 2.9%	10 14.3%	26 37.1%	7 10.0%	6 8.6%	6 8.6%	41 58.6%	3 4.3%
60歳代	89 100.0%	27 30.3%	6 6.7%	7 7.9%	2 2.2%	10 11.2%	46 51.7%	9 10.1%	2 2.2%	11 12.4%	42 47.2%	6 6.7%
70歳以上	76 100.0%	34 44.7%	6 7.9%	5 6.6%	9 11.8%	6 7.9%	40 52.6%	8 10.5%	1 1.3%	14 18.4%	34 44.7%	7 9.2%

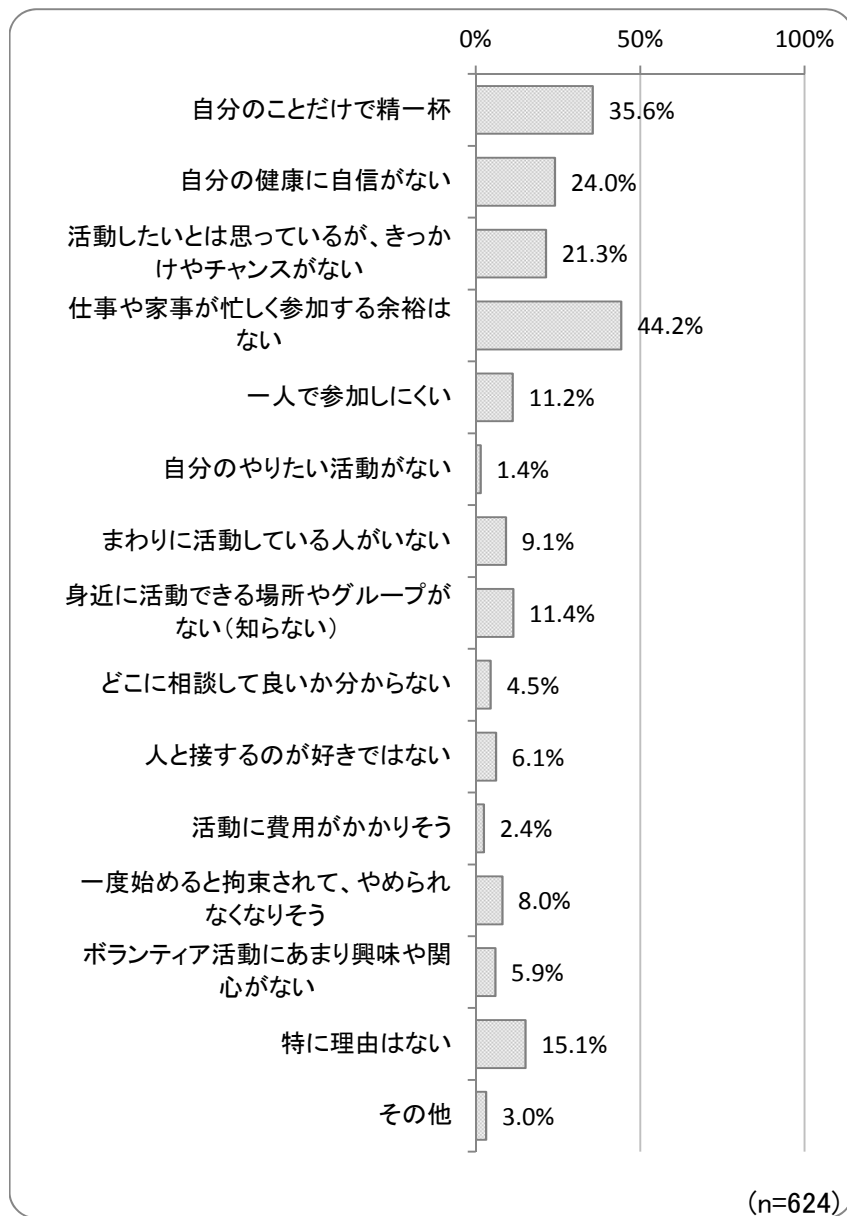
男女別にみると、男性は「環境美化に関する活動」、女性は「地域行事のお手伝い」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代・40歳代・50歳代では「地域行事のお手伝い」、30歳代・60歳代・70歳以上では「環境美化に関する活動」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

問11で「3 経験はない」とした者のみ

問11-③ ボランティア活動に参加されない理由は何ですか。

複数回答



「仕事や家事が忙しく参加する余裕はない」とする割合が44.2%で最も高く、次いで「自分のことだけで精一杯」が35.6%、「自分の健康に自信がない」が24.0%となっている。

<クロス集計> 問11-③: 男女別／年代別集計

※上段: 件数、下段: 割合

	合計	自分のことだけで精一杯	自分の健康に自信がない	いがきつかけやチャヤンスがない	仕事や家事が忙しく参加する余裕はない	一人で参加しにくい	自分のやりたい活動がない	まわりに活動している人がいない	身近に活動できる場所やグループがない(知らない)	どこに相談して良いかわからない	人と接するのが好きではない	活動に費用がかかりそう
合計	624	222	150	133	276	70	9	57	71	28	38	15
	100.0%	35.6%	24.0%	21.3%	44.2%	11.2%	1.4%	9.1%	11.4%	4.5%	6.1%	2.4%
男性	253	92	59	49	101	25	2	22	24	8	14	10
	100.0%	36.4%	23.3%	19.4%	39.9%	9.9%	0.8%	8.7%	9.5%	3.2%	5.5%	4.0%
女性	368	128	90	83	173	45	7	35	47	20	24	5
	100.0%	34.8%	24.5%	22.6%	47.0%	12.2%	1.9%	9.5%	12.8%	5.4%	6.5%	1.4%
20歳代	21	4	0	3	9	9	0	5	2	2	2	0
	100.0%	19.0%	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	23.8%	9.5%	9.5%	9.5%	0.0%
30歳代	72	24	3	12	43	9	2	11	11	2	4	1
	100.0%	33.3%	4.2%	16.7%	59.7%	12.5%	2.8%	15.3%	15.3%	2.8%	5.6%	1.4%
40歳代	76	27	10	17	43	7	1	2	9	4	5	2
	100.0%	35.5%	13.2%	22.4%	56.6%	9.2%	1.3%	2.6%	11.8%	5.3%	6.6%	2.6%
50歳代	126	40	20	30	70	13	3	9	16	8	7	3
	100.0%	31.7%	15.9%	23.8%	55.6%	10.3%	2.4%	7.1%	12.7%	6.3%	5.6%	2.4%
60歳代	192	69	54	47	77	21	2	15	21	10	15	6
	100.0%	35.9%	28.1%	24.5%	40.1%	10.9%	1.0%	7.8%	10.9%	5.2%	7.8%	3.1%
70歳以上	134	56	62	23	32	11	1	15	12	2	5	3
	100.0%	41.8%	46.3%	17.2%	23.9%	8.2%	0.7%	11.2%	9.0%	1.5%	3.7%	2.2%

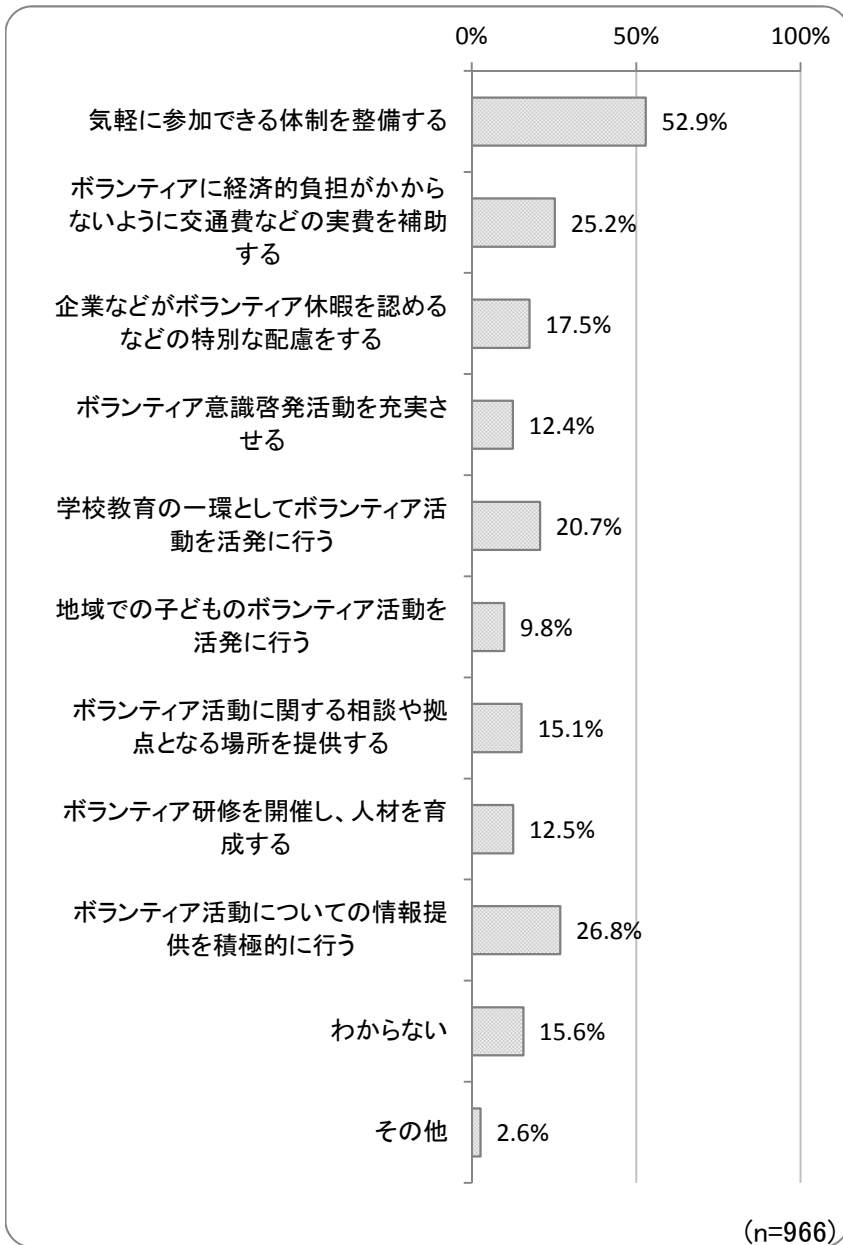
	合計	め一度始めると拘束されて、やめられなくなるそう	味や関心がない	特に理由はない	その他
合計	624	50	37	94	19
	100.0%	8.0%	5.9%	15.1%	3.0%
男性	253	21	19	42	8
	100.0%	8.3%	7.5%	16.6%	3.2%
女性	368	29	16	52	11
	100.0%	7.9%	4.3%	14.1%	3.0%
20歳代	21	2	0	4	0
	100.0%	9.5%	0.0%	19.0%	0.0%
30歳代	72	6	8	7	3
	100.0%	8.3%	11.1%	9.7%	4.2%
40歳代	76	8	2	11	2
	100.0%	10.5%	2.6%	14.5%	2.6%
50歳代	126	12	5	16	4
	100.0%	9.5%	4.0%	12.7%	3.2%
60歳代	192	13	13	35	3
	100.0%	6.8%	6.8%	18.2%	1.6%
70歳以上	134	9	7	21	7
	100.0%	6.7%	5.2%	15.7%	5.2%

男女別にみると、男性・女性ともに「仕事や家事が忙しく参加する余裕はない」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代では「仕事や家事が忙しく参加する余裕はない」「一人で参加しにくい」、30歳代から60歳代では「仕事や家事が忙しく参加する余裕はない」、70歳以上では「自分の健康に自信がない」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

問12
複数回答

今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。



「気軽に参加できる体制を整備する」とする割合が52.9%で最も高く、次いで「ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う」が26.8%、「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助する」が25.2%となっている。

<クロス集計> 問12:男女別／年代別集計

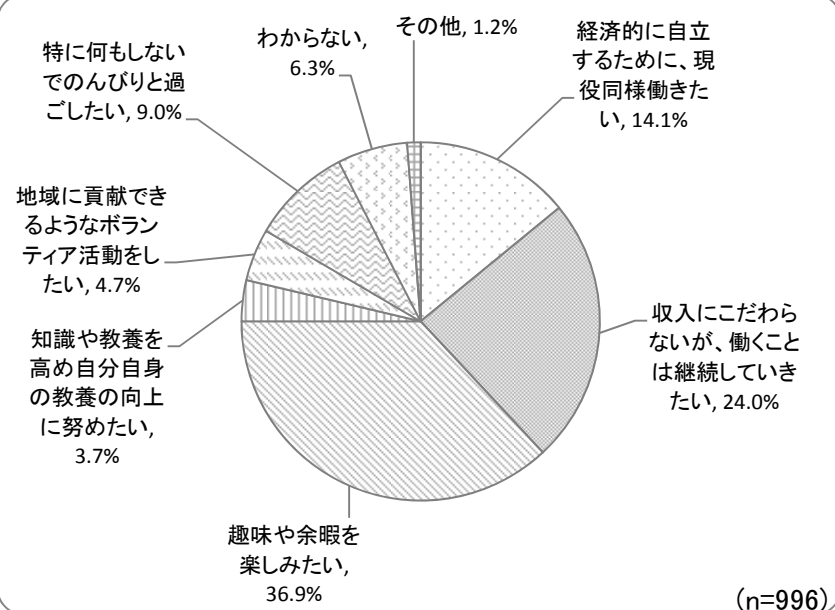
※上段:件数、下段:割合

	合計	気軽に参加できる体制を整備する	ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助する	企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする	ボランティア意識啓発活動を充実させる	学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う	地域での子どもボランティア活動を活発に行う	ボランティア活動に関する拠点となる場所を提供する	ボランティア研修を開催し、人材を育成する	ボランティア活動に関する情報提供を積極的に行う	わからない	その他
合計	966	511	243	169	120	200	95	146	121	259	151	25
	100.0%	52.9%	25.2%	17.5%	12.4%	20.7%	9.8%	15.1%	12.5%	26.8%	15.6%	2.6%
男性	419	227	114	74	62	75	36	58	55	115	61	13
	100.0%	54.2%	27.2%	17.7%	14.8%	17.9%	8.6%	13.8%	13.1%	27.4%	14.6%	3.1%
女性	540	283	125	93	58	124	58	87	65	141	89	11
	100.0%	52.4%	23.1%	17.2%	10.7%	23.0%	10.7%	16.1%	12.0%	26.1%	16.5%	2.0%
20歳代	55	31	15	15	7	21	7	8	3	16	4	1
	100.0%	56.4%	27.3%	27.3%	12.7%	38.2%	12.7%	14.5%	5.5%	29.1%	7.3%	1.8%
30歳代	115	61	28	26	5	27	15	17	3	36	18	2
	100.0%	53.0%	24.3%	22.6%	4.3%	23.5%	13.0%	14.8%	2.6%	31.3%	15.7%	1.7%
40歳代	117	60	39	32	10	28	14	19	7	32	14	2
	100.0%	51.3%	33.3%	27.4%	8.5%	23.9%	12.0%	16.2%	6.0%	27.4%	12.0%	1.7%
50歳代	200	100	40	42	18	45	17	35	30	60	27	5
	100.0%	50.0%	20.0%	21.0%	9.0%	22.5%	8.5%	17.5%	15.0%	30.0%	13.5%	2.5%
60歳代	282	146	76	42	37	54	28	39	42	78	46	7
	100.0%	51.8%	27.0%	14.9%	13.1%	19.1%	9.9%	13.8%	14.9%	27.7%	16.3%	2.5%
70歳以上	193	113	42	11	43	24	14	27	35	35	41	8
	100.0%	58.5%	21.8%	5.7%	22.3%	12.4%	7.3%	14.0%	18.1%	18.1%	21.2%	4.1%

男女別、年代別ともに「気軽に参加できる体制を整備する」とする割合が最も高くなっている。

4.「高齢者福祉」についてお聞きます

問13 あなたは、ご自身の「高齢期」を主にどのように過ごしたいと考えますか。
単数回答



全体では「趣味や余暇を楽しみたい」とする割合が36.9%で最も高く、次いで「収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい」が24.0%、「経済的に自立するために、現役同様働きたい」が14.1%となっている。

<クロス集計> 問13: 男女別／年代別集計

※上段: 件数、下段: 割合

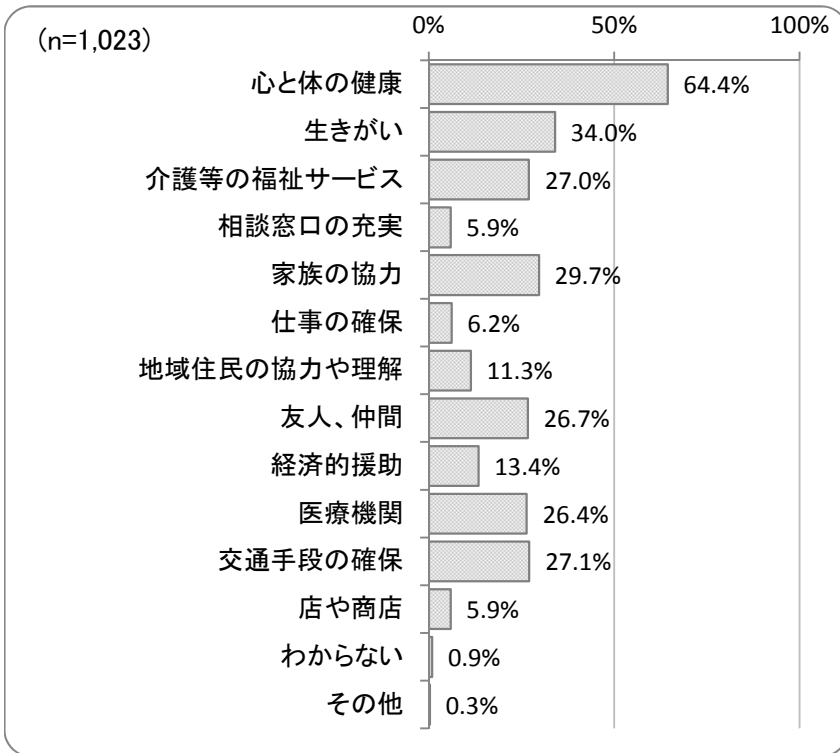
	合計	現役同様に働きたいために、	収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい	趣味や余暇を楽しみたい	知識や教養を高め自分自身の教養の向上に努めたい	地域に貢献できるようなボランティア活動をしたい	特に何もしないでのんびりと過ごしたい	わからない	その他			
合計	996	140	239	368	37	47	90	63	12			
	100.0%	14.1%	24.0%	36.9%	3.7%	4.7%	9.0%	6.3%	1.2%			
男性	421	66	103	153	13	18	37	29	2			
	100.0%	15.7%	24.5%	36.3%	3.1%	4.3%	8.8%	6.9%	0.5%			
女性	569	73	135	215	24	27	51	34	10			
	100.0%	12.8%	23.7%	37.8%	4.2%	4.7%	9.0%	6.0%	1.8%			
20歳代	55	2	8	32	1	1	4	7	0			
	100.0%	3.6%	14.5%	58.2%	1.8%	1.8%	7.3%	12.7%	0.0%			
30歳代	116	16	22	55	5	2	11	4	1			
	100.0%	13.8%	19.0%	47.4%	4.3%	1.7%	9.5%	3.4%	0.9%			
40歳代	117	23	24	42	6	4	11	6	1			
	100.0%	19.7%	20.5%	35.9%	5.1%	3.4%	9.4%	5.1%	0.9%			
50歳代	204	33	68	61	7	6	18	10	1			
	100.0%	16.2%	33.3%	29.9%	3.4%	2.9%	8.8%	4.9%	0.5%			
60歳代	290	51	72	102	9	11	21	21	3			
	100.0%	17.6%	24.8%	35.2%	3.1%	3.8%	7.2%	7.2%	1.0%			
70歳以上	209	14	43	76	9	22	24	15	6			
	100.0%	6.7%	20.6%	36.4%	4.3%	10.5%	11.5%	7.2%	2.9%			

男女別にみると、男女ともに「趣味や余暇を楽しみたい」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

また年代別にみると、50歳代を除く全ての年代で「趣味や余暇を楽しみたい」とする割合がそれぞれ最も高くなっている一方、50歳代では「収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい」とする割合が最も高くなっている。

問14
複数回答

高齢者が地域で生活する上で、特に大切だと思うことは何ですか。



「心と体の健康」とする割合が64.4%で最も高く、次いで「生きがい」が34.0%、「家族の協力」が29.7%となっている。

<クロス集計> 問14: 男女別集計

※上段: 件数、下段: 割合

	合計	心と体の健康	生きがい	介護等の福祉サービス	相談窓口の充実	家族の協力	仕事の確保	地域住民の協力や理解	友人、仲間	経済的援助	医療機関	交通手段の確保
合計	1,023	659	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	64.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	437	283	155	99	30	116	39	55	109	60	113	105
	100.0%	64.8%	35.5%	22.7%	6.9%	26.5%	8.9%	12.6%	24.9%	13.7%	25.9%	24.0%
女性	579	370	190	175	29	187	24	61	162	75	154	171
	100.0%	63.9%	32.8%	30.2%	5.0%	32.3%	4.1%	10.5%	28.0%	13.0%	26.6%	29.5%

	合計	店や商店	わからない	その他
合計	1,023	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	437	27	4	3
	100.0%	6.2%	0.9%	0.7%
女性	579	33	5	0
	100.0%	5.7%	0.9%	0.0%

男女別にみると、男女ともに「心と体の健康」とする割合が最も高くなっている。

<クロス集計> 問14:年代別集計

※上段:件数、下段:割合

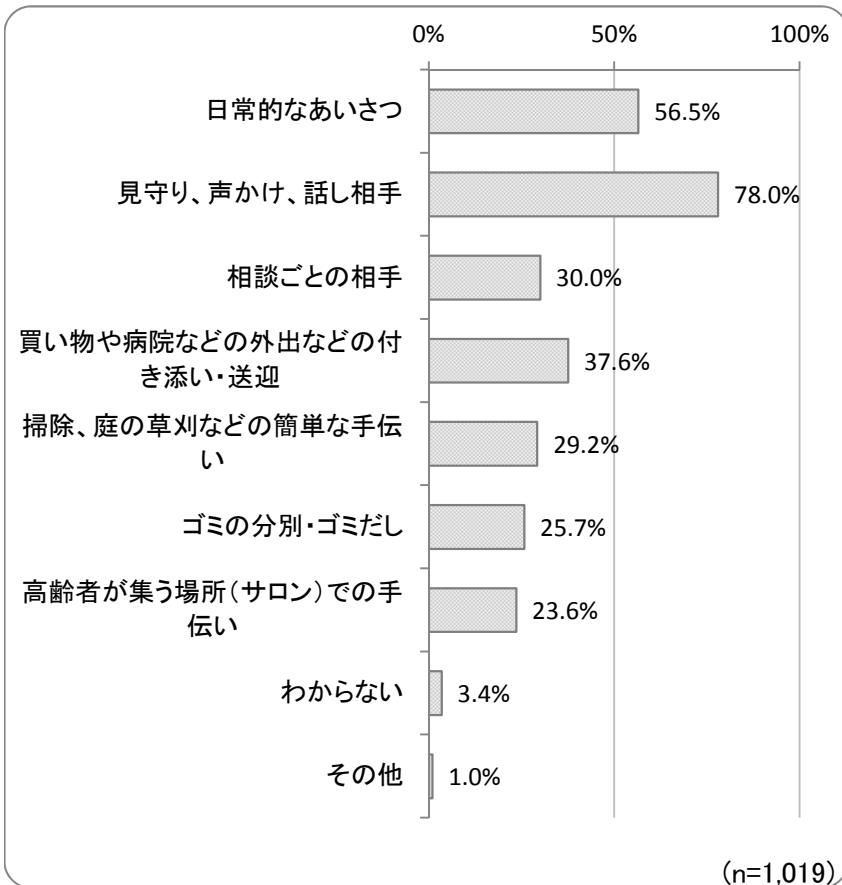
	合計	心と体の健康	生きがい	介護等の福祉サービス	相談窓口の充実	家族の協力	仕事の確保	地域住民の協力や理解	友人、仲間	経済的援助	医療機関	交通手段の確保
合計	1,023	659	348	276	60	304	63	116	273	137	270	277
	100.0%	64.4%	34.0%	27.0%	5.9%	29.7%	6.2%	11.3%	26.7%	13.4%	26.4%	27.1%
20歳代	56	24	31	13	3	21	2	3	15	8	19	15
	100.0%	42.9%	55.4%	23.2%	5.4%	37.5%	3.6%	5.4%	26.8%	14.3%	33.9%	26.8%
30歳代	118	65	47	35	4	31	10	12	30	27	37	34
	100.0%	55.1%	39.8%	29.7%	3.4%	26.3%	8.5%	10.2%	25.4%	22.9%	31.4%	28.8%
40歳代	119	76	45	30	8	34	7	15	28	21	33	35
	100.0%	63.9%	37.8%	25.2%	6.7%	28.6%	5.9%	12.6%	23.5%	17.6%	27.7%	29.4%
50歳代	207	138	67	57	14	56	18	24	45	29	48	65
	100.0%	66.7%	32.4%	27.5%	6.8%	27.1%	8.7%	11.6%	21.7%	14.0%	23.2%	31.4%
60歳代	297	202	102	79	19	79	18	33	72	36	74	75
	100.0%	68.0%	34.3%	26.6%	6.4%	26.6%	6.1%	11.1%	24.2%	12.1%	24.9%	25.3%
70歳以上	220	149	54	60	11	82	7	29	81	15	57	52
	100.0%	67.7%	24.5%	27.3%	5.0%	37.3%	3.2%	13.2%	36.8%	6.8%	25.9%	23.6%

	合計	店や商店	わからない	その他
合計	1,023	60	9	3
	100.0%	5.9%	0.9%	0.3%
20歳代	56	3	1	1
	100.0%	5.4%	1.8%	1.8%
30歳代	118	8	1	0
	100.0%	6.8%	0.8%	0.0%
40歳代	119	6	0	1
	100.0%	5.0%	0.0%	0.8%
50歳代	207	11	1	0
	100.0%	5.3%	0.5%	0.0%
60歳代	297	14	6	0
	100.0%	4.7%	2.0%	0.0%
70歳以上	220	18	0	1
	100.0%	8.2%	0.0%	0.5%

年代別にみると、30歳以上の全ての年代で「心と体の健康」とする割合がそれぞれ最も高くなっているのに対し、20歳代では「生きがい」とする割合が最も高くなっている。

問15
複数回答

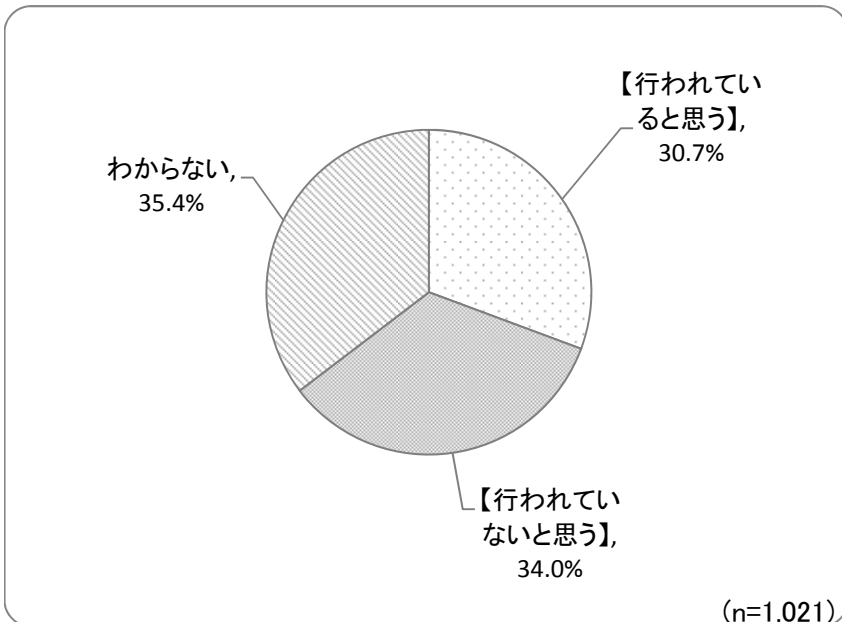
次の項目の中で、高齢者が地域の中で安心して暮らせるように、地域でできることは何だと思いますか。



「見守り、声かけ、話し相手」とする割合が78.0%で最も高く、次いで「日常的なあいさつ」が56.5%、「買い物や病院などの外出などの付き添い・送迎」が37.6%となっている。

問16
単数回答

あなたのお住まいの地域における一人暮らし高齢者や認知症の方など、援護を要する世帯への安否確認や見守り活動の状況について、どう感じますか。



【行われていると思う】が30.7%、【行われていないと思う】が34.0%、「わからない」が35.4%となっている。

※「十分に行われていると思う」及び「どちらかといえば行われていると思う」を【行われていると思う】、「どちらかといえば不十分だと思う」及び「ほとんど行われていないと思う」を【行われていないと思う】として統合・集計処理している。

<クロス集計> 問16:地域別集計／※上段:件数、下段:割合

	合計	【行われていると思う】	【行われていないと思う】	わからない
合計	1,021	313	347	361
	100.0%	30.7%	34.0%	35.4%
新橋	66	32	22	12
	100.0%	48.5%	33.3%	18.2%
泰野	46	15	11	20
	100.0%	32.6%	23.9%	43.5%
尾野見	35	18	4	13
	100.0%	51.4%	11.4%	37.1%
香月	87	23	33	31
	100.0%	26.4%	37.9%	35.6%
安楽	119	35	33	51
	100.0%	29.4%	27.7%	42.9%
東区	47	14	15	18
	100.0%	29.8%	31.9%	38.3%
志布志区	115	28	43	44
	100.0%	24.3%	37.4%	38.3%
帖五区	57	15	22	20
	100.0%	26.3%	38.6%	35.1%
夏井陣岳	11	6	2	3
	100.0%	54.5%	18.2%	27.3%
田之浦	21	6	13	2
	100.0%	28.6%	61.9%	9.5%
四浦	1	1	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
森山	11	6	1	4
	100.0%	54.5%	9.1%	36.4%
潤ヶ野	19	5	6	8
	100.0%	26.3%	31.6%	42.1%
八野	2	1	1	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
伊崎田	70	29	26	15
	100.0%	41.4%	37.1%	21.4%
有明	72	17	26	29
	100.0%	23.6%	36.1%	40.3%
通山	72	16	24	32
	100.0%	22.2%	33.3%	44.4%
蓬原	45	11	20	14
	100.0%	24.4%	44.4%	31.1%
原田	27	8	11	8
	100.0%	29.6%	40.7%	29.6%
野神	59	10	23	26
	100.0%	16.9%	39.0%	44.1%
山重	33	12	11	10
	100.0%	36.4%	33.3%	30.3%

※地域別集計

	合計	【行われていると思う】	【行われていないと思う】	わからない
松山地域	147	65	37	45
	100.0%	44.2%	25.2%	30.6%

※地域別集計

	合計	【行われていると思う】	【行われていないと思う】	わからない
志布志地域	490	140	169	181
	100.0%	28.6%	34.5%	36.9%

※地域別集計

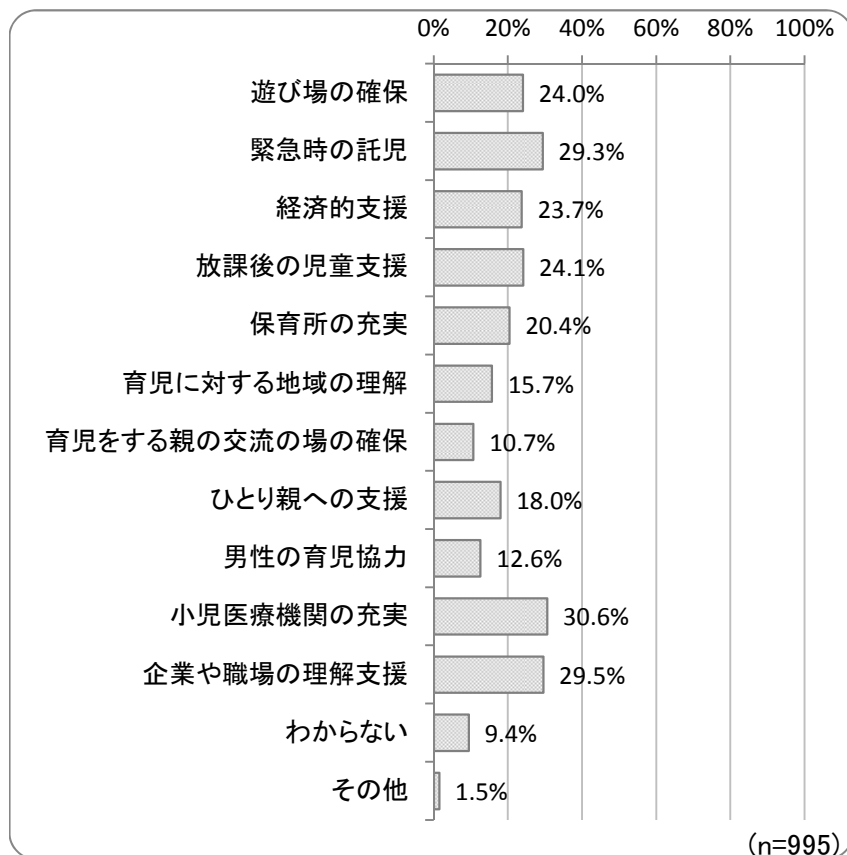
	合計	【行われていると思う】	【行われていないと思う】	わからない
有明地域	378	103	141	134
	100.0%	27.2%	37.3%	35.4%

地区別にみると、【行われていると思う】は「新橋」「尾野見」「夏井陣岳」「四浦」「森山」「伊崎田」「山重」の7地区、【行われていないと思う】は「香月」「帖五区」「田之浦」「蓬原」「原田」の5地区、わからないは「泰野」「安楽」「東区」「志布志区」「潤ヶ野」「有明」「通山」「野神」の8地区、【行われていると思う】及び【行われていないと思う】は「八野」でそれぞれ割合が高くなっている。

5. 「児童福祉」についてお聞きます

問17 複数回答

子育てのしやすさのために、大切だと思うことは何ですか。

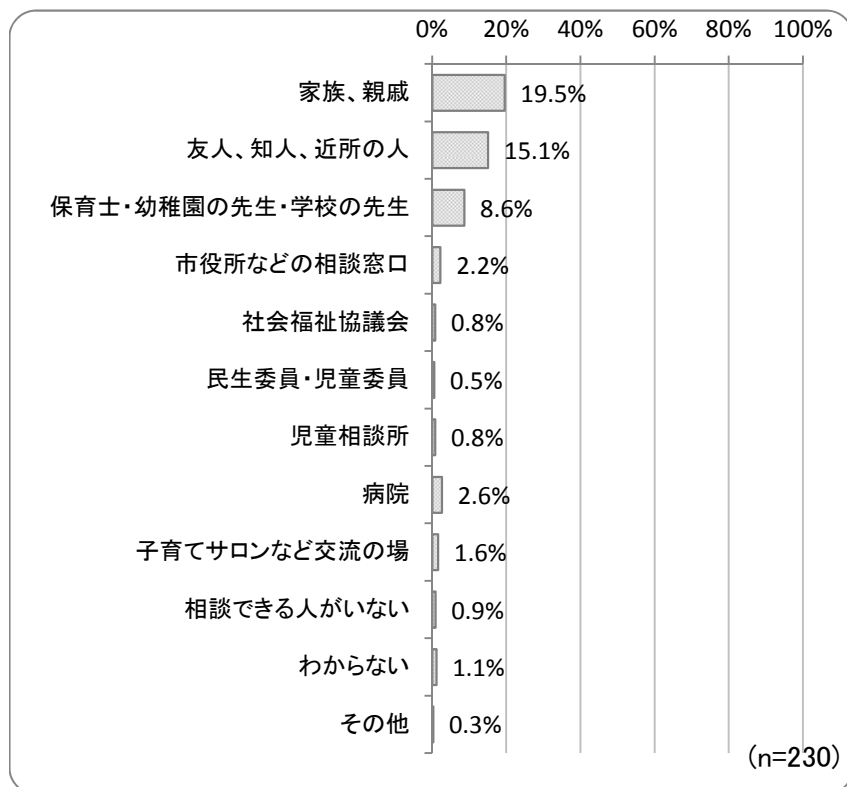


「小児医療機関の充実」とする割合が30.6%で最も高く、次いで「企業や職場の理解支援」が29.5%、「緊急時の託児」が29.3%となっている。

問18から問21までは、現在子育て中（高校生まで）の保護者のみ

問18 複数回答

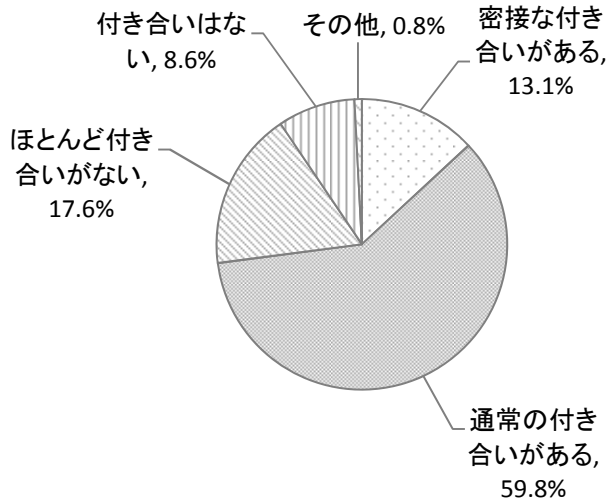
あなたは、子育ての悩みや相談を誰（どこ）に相談しますか。



「家族、親戚」とする割合が19.5%で最も高く、次いで「友人、知人、近所の人」が15.1%、「保育士・幼稚園の先生・学校の先生」が8.6%となっている。

問19
単数回答

子どもを通じて保護者同士や近隣の方と付き合いがありますか。

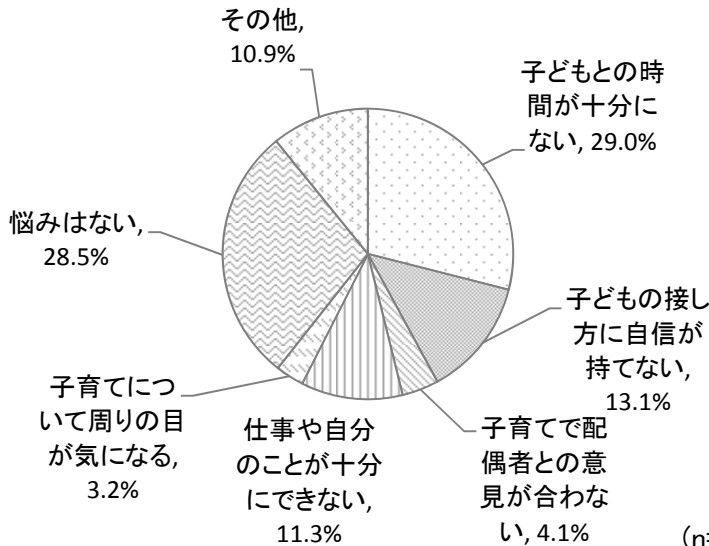


(n=244)

「通常付き合いがある」とする割合が59.8%で最も高く、次いで「ほとんど付き合いがない」が17.6%、「密接な付き合いがある」が13.1%となっている。

問20
単数回答

あなたが子育てをしていてどんなことが一番の悩みですか。

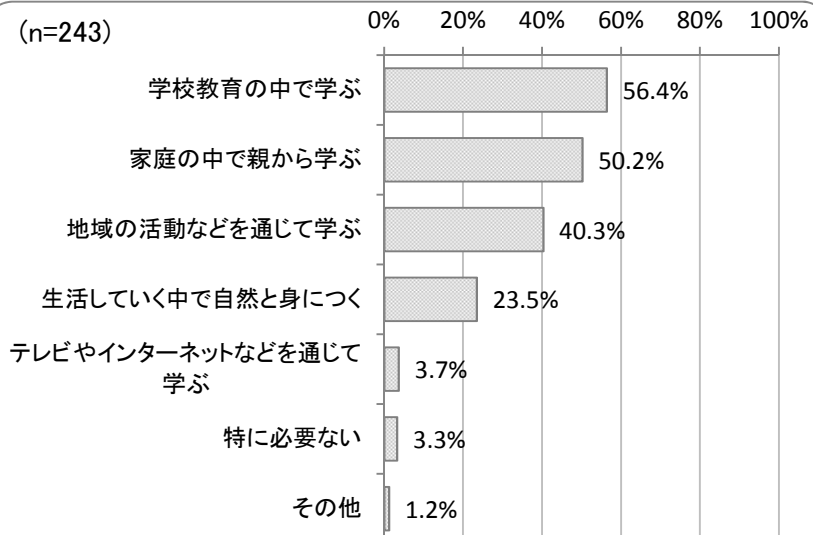


(n=221)

「子どもとの時間が足りない」とする割合が29.0%で最も高く、次いで「悩みはない」が28.5%、「子どもの接し方に自信が持てない」が13.1%となっている。

問21
複数回答

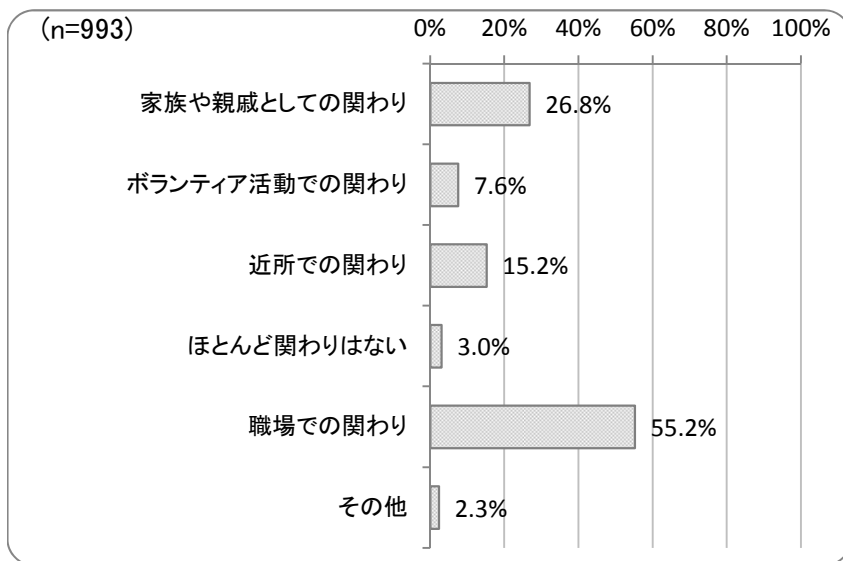
子どもたちに対する福祉教育(思いやりや福祉への理解と参加の心を育てる教育)への取り組みについて、どのようにお考えですか。



「学校教育の中で学ぶ」とする割合が56.4%で最も高く、次いで「家庭の中で親から学ぶ」が50.2%、「地域の活動などを通じて学ぶ」が40.3%となっている。

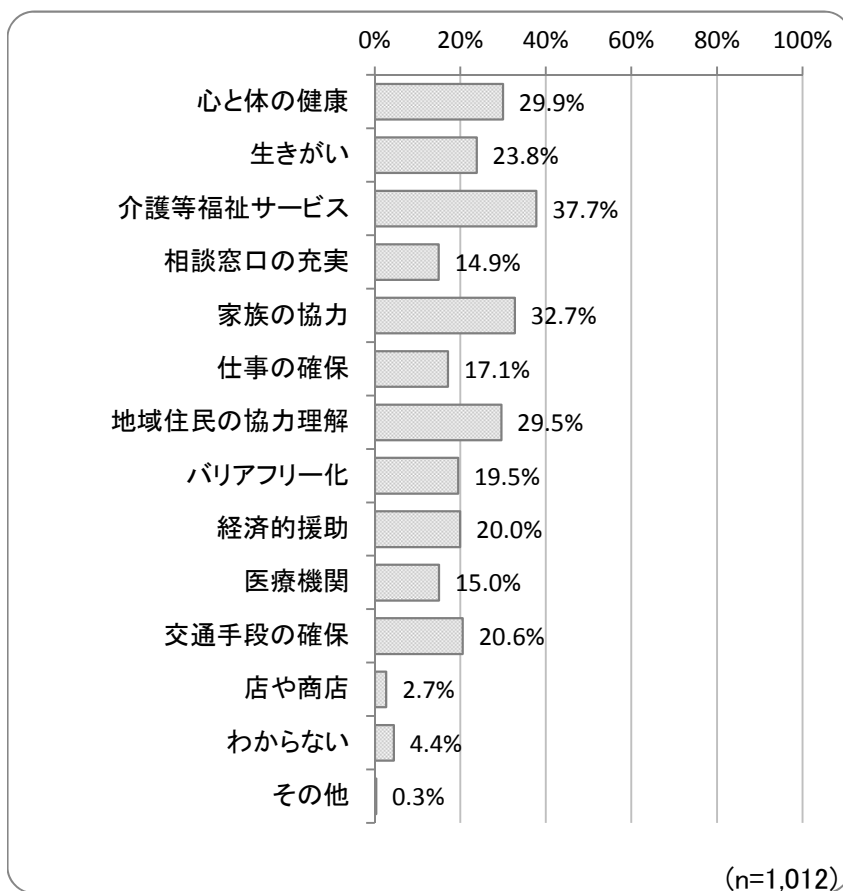
6.「障がい者福祉」についてお聞きます

問22 あなたは、普段の生活の中で、障がいのある方と関わりがありますか。
複数回答



「職場での関わり」とする割合が55.2%で最も高く、次いで「家族や親戚としての関わり」が26.8%、「近所での関わり」が15.2%となっている。

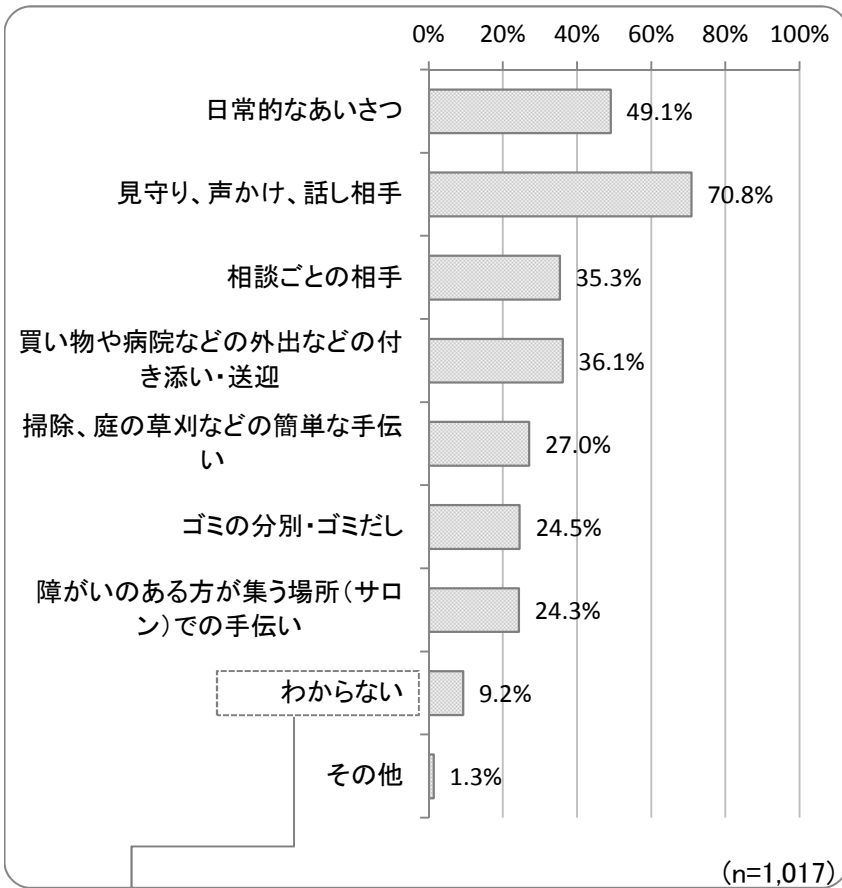
問23 障がいのある方が地域で生活する上で、あなたが大切だと思うことは何ですか。
複数回答



「介護等福祉サービス」とする割合が37.7%で最も高く、次いで「家族の協力」が32.7%、「心と体の健康」が29.9%となっている。

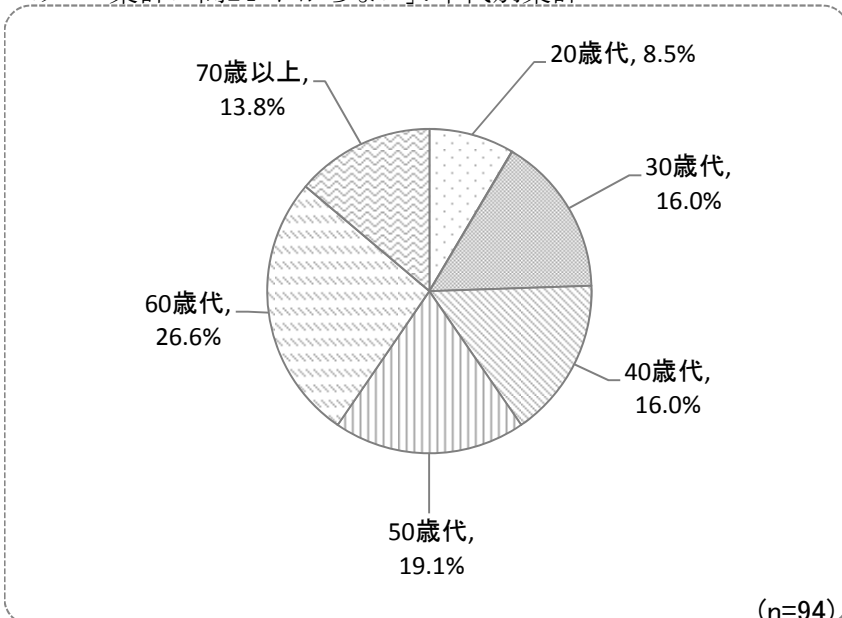
問24
複数回答

次の項目の中で、障がいのある方が地域の中で安心して暮らせるように、地域でできることは何だと思われますか。



全体では「見守り、声かけ、話し相手」とする割合が70.8%で最も高く、次いで「日常的なあいさつ」が49.1%、「買い物や病院などの外出などの付き添い・送迎」が36.1%となっている。

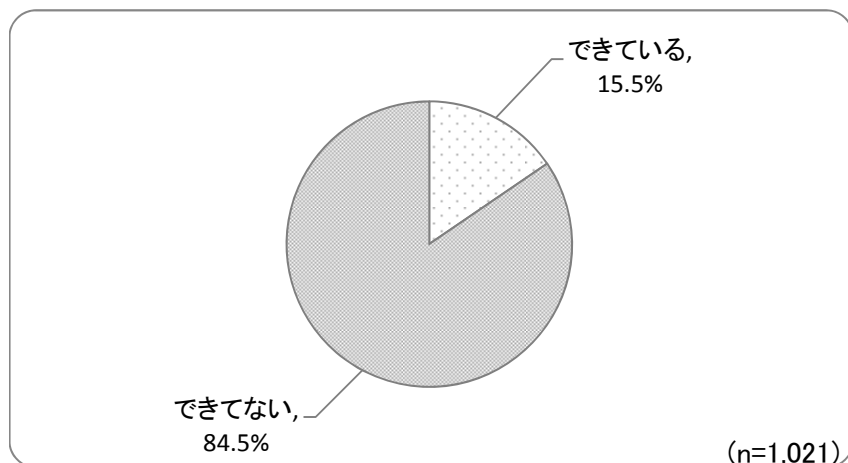
＜クロス集計＞問24「わからない」：年代別集計



一方「わからない」とする回答を年代別の割合でみると、60歳代が26.6%で最も高く、次いで50歳代が19.1%、30歳代及び40歳代がともに16.0%となっている。

7. 災害時の備えについてお聞きします

問25 災害発生時に備え、日ごろから非常持ち出し用品等の準備ができていますか。
単数回答



全体では「できている」とする割合が15.5%、「できてない」が84.5%となっている。

<クロス集計> 問25: 男女別/年代別集計

※上段: 件数、下段: 割合

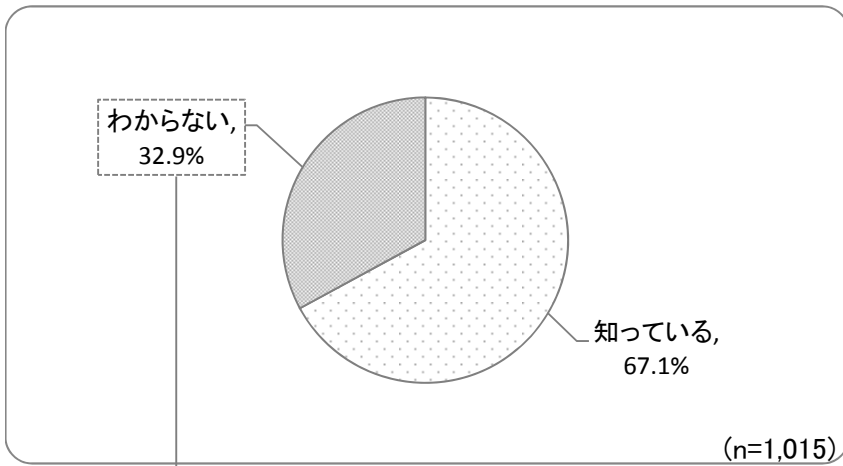
	合計	できている	できてない									
合計	1,021	158	863									
	100.0%	15.5%	84.5%									
男性	434	81	353									
	100.0%	18.7%	81.3%									
女性	580	75	505									
	100.0%	12.9%	87.1%									
20歳代	55	3	52									
	100.0%	5.5%	94.5%									
30歳代	117	14	103									
	100.0%	12.0%	88.0%									
40歳代	118	18	100									
	100.0%	15.3%	84.7%									
50歳代	209	25	184									
	100.0%	12.0%	88.0%									
60歳代	295	49	246									
	100.0%	16.6%	83.4%									
70歳以上	221	47	174									
	100.0%	21.3%	78.7%									

男女別にみると、男女ともに「できていない」とする割合がそれぞれ最も高く、男性よりも女性の割合が高い。

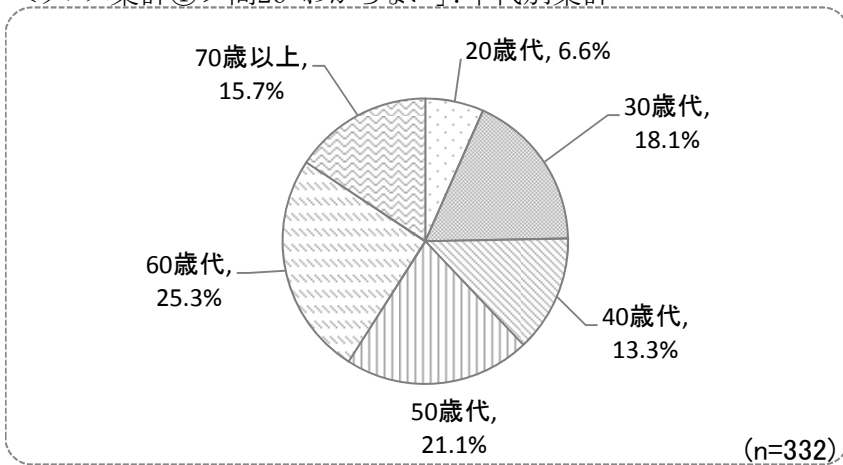
年代別にみると、全ての年代で「できていない」とする割合が最も高く、20歳代では9割、30歳代から60歳代では8割、70歳以上では7割となっている。

問26
単数回答

災害発生時の避難場所について、どこに避難するかご存知ですか。



<クロス集計①> 問26「わからない」:年代別集計



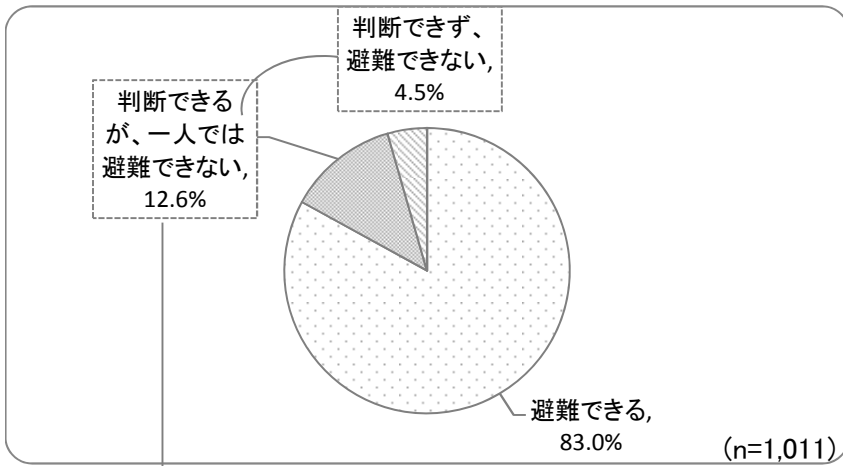
<クロス集計②> 問26「わからない」:地域別集計

		合計		知っている		わからない	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
松山地域	新橋	65	100.0%	47	72.3%	18	27.7%
	泰野	48	100.0%	36	75.0%	12	25.0%
	尾野見	36	100.0%	23	63.9%	13	36.1%
志布志地域	香月	87	100.0%	64	73.6%	23	26.4%
	安楽	115	100.0%	67	58.3%	48	41.7%
	東区	46	100.0%	34	73.9%	12	26.1%
	志布志区	114	100.0%	69	60.5%	45	39.5%
	帖五区	57	100.0%	31	54.4%	26	45.6%
	夏井陣岳	11	100.0%	11	100.0%	0	0.0%
	田之浦	21	100.0%	15	71.4%	6	28.6%
	四浦	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%
	森山	11	100.0%	6	54.5%	5	45.5%
	潤ヶ野	20	100.0%	11	55.0%	9	45.0%
	八野	2	100.0%	2	100.0%	0	0.0%
有明地域	伊崎田	69	100.0%	44	63.8%	25	36.2%
	有明	71	100.0%	49	69.0%	22	31.0%
	通山	71	100.0%	55	77.5%	16	22.5%
	蓬原	45	100.0%	31	68.9%	14	31.1%
	原田	27	100.0%	20	74.1%	7	25.9%
	野神	57	100.0%	37	64.9%	20	35.1%
	山重	35	100.0%	23	65.7%	12	34.3%

「わからない」とする割合を地区別にみた結果は左表の通り。

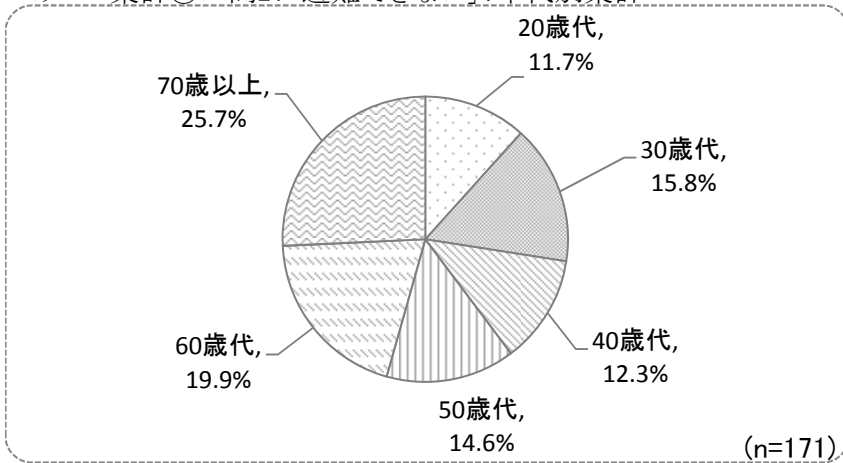
問27
単数回答

災害発生時に、緊急性を判断し、避難場所まで一人で避難することができますか。



「避難できる」とする割合が83.0%、「判断できるが、一人では避難できない」が12.6%、「判断できず、避難できない」が4.5%となっている。

<クロス集計①> 問27「避難できない」：年代別集計



「判断できるが、一人では避難できない」及び「判断できず、避難できない」とする割合を年代別にみると、70歳代が25.7%で最も高く、次いで60歳代が19.9%、30歳代が15.8%となっている。

<クロス集計②> 問27「避難できない」：地域別集計

		合計		避難できる		避難できない※	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
松山地域	新橋	67	100.0%	57	85.1%	10	14.9%
	泰野	48	100.0%	44	91.7%	4	8.3%
	尾野見	35	100.0%	32	91.4%	3	8.6%
志布志地域	香月	87	100.0%	82	94.3%	5	5.7%
	安楽	114	100.0%	93	81.6%	21	18.4%
	東区	46	100.0%	38	82.6%	8	17.4%
	志布志区	111	100.0%	86	77.5%	25	22.5%
	帖五区	55	100.0%	41	74.5%	14	25.5%
	夏井陣岳	11	100.0%	11	100.0%	0	0.0%
	田之浦	21	100.0%	19	90.5%	2	9.5%
	四浦	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%
	森山	11	100.0%	10	90.9%	1	9.1%
	潤ヶ野	20	100.0%	14	70.0%	6	30.0%
	八野	2	100.0%	2	100.0%	0	0.0%
有明地域	伊崎田	70	100.0%	56	80.0%	14	20.0%
	有明	70	100.0%	59	84.3%	11	15.7%
	通山	71	100.0%	56	78.9%	15	21.1%
	蓬原	46	100.0%	41	89.1%	5	10.9%
	原田	27	100.0%	23	85.2%	4	14.8%
	野神	58	100.0%	41	70.7%	17	29.3%
	山重	34	100.0%	27	79.4%	7	20.6%

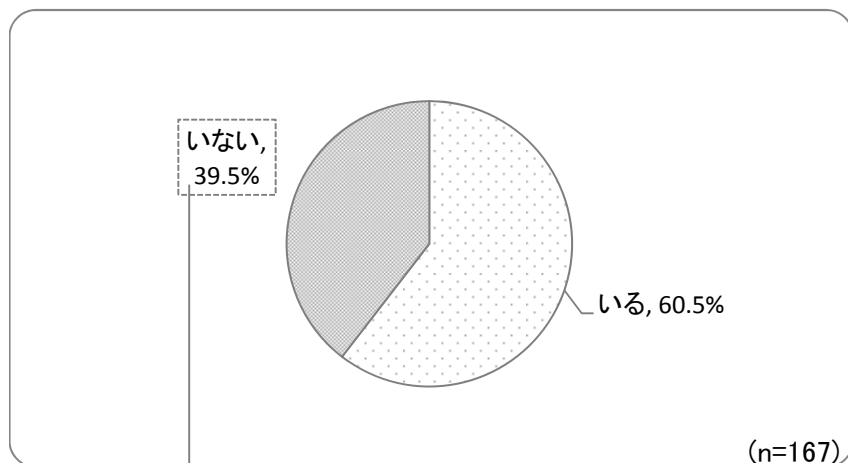
「避難できない」とする割合を地区別にみた結果は左表の通り。

※「避難できない」は「判断できるが、一人では避難できない」及び「判断できず、避難できない」の合算値。

問27で「2 判断できるが、一人では避難できない」又は「3 判断できず、避難できない」とした者のみ

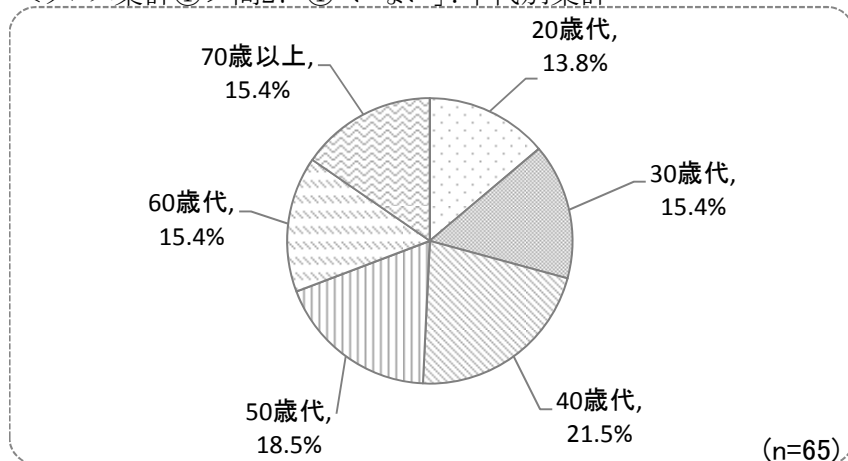
問27-① 災害発生時に避難するとき、近くに手助けを頼める人がいますか。

単数回答



全体では「いる」とする割合が60.5%、「いない」が39.5%となっている。

<クロス集計①> 問27-①「いない」: 年代別集計



「いない」とする割合を年代別にみると、40歳代が21.5%で最も高く、次いで50歳代が18.5%、30歳代及び60歳代がそれぞれ15.4%となっている。

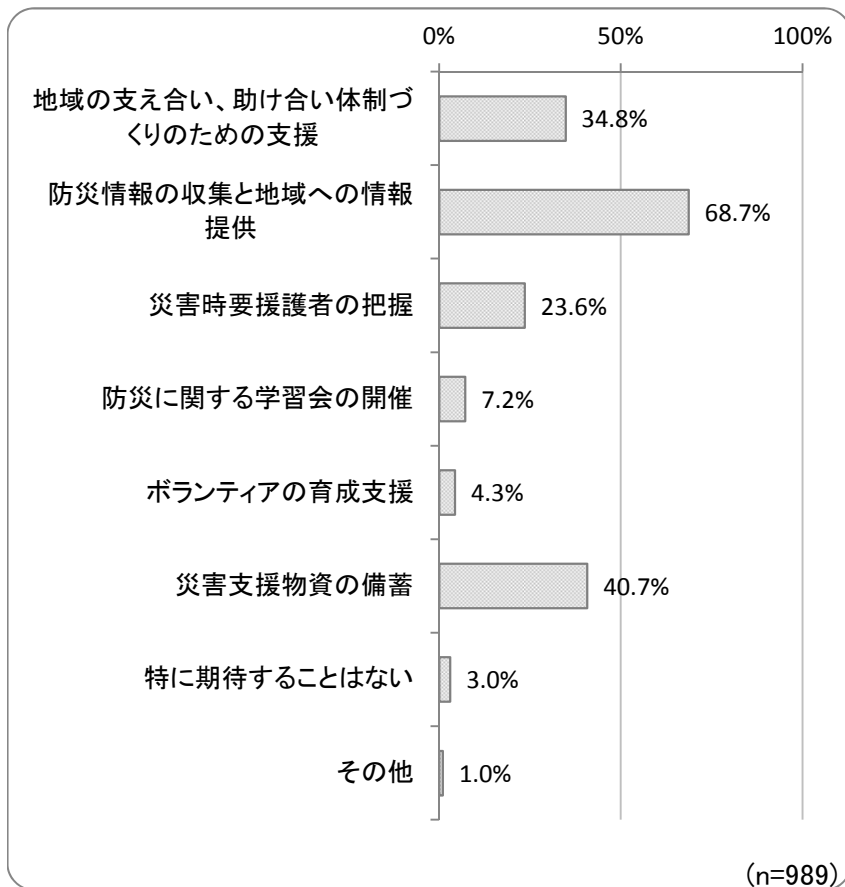
<クロス集計②> 問27-①「いない」: 地域別集計

		合計		いる		いない	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
松山地域	新橋	9	100.0%	7	77.8%	2	22.2%
	泰野	4	100.0%	2	50.0%	2	50.0%
	尾野見	3	100.0%	3	100.0%	0	0.0%
志布志地域	香月	5	100.0%	2	40.0%	3	60.0%
	安楽	21	100.0%	9	42.9%	12	57.1%
	東区	8	100.0%	5	62.5%	3	37.5%
	志布志区	23	100.0%	13	56.5%	10	43.5%
	帖五区	14	100.0%	7	50.0%	7	50.0%
	夏井陣岳	0	---	0	---	0	---
	田之浦	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%
	四浦	0	---	0	---	0	---
	森山	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%
	潤ヶ野	6	100.0%	4	66.7%	2	33.3%
	八野	0	---	0	---	0	---
有明地域	伊崎田	14	100.0%	10	71.4%	4	28.6%
	有明	11	100.0%	8	72.7%	3	27.3%
	通山	15	100.0%	8	53.3%	7	46.7%
	蓬原	5	100.0%	3	60.0%	2	40.0%
	原田	4	100.0%	4	100.0%	0	0.0%
	野神	16	100.0%	10	62.5%	6	37.5%
	山重	6	100.0%	4	66.7%	2	33.3%

「いない」とする割合を地区別にみた結果は左表の通り。

問28
複数回答

災害発生時の備えとして、あなたが行政の役割として期待することは何ですか。

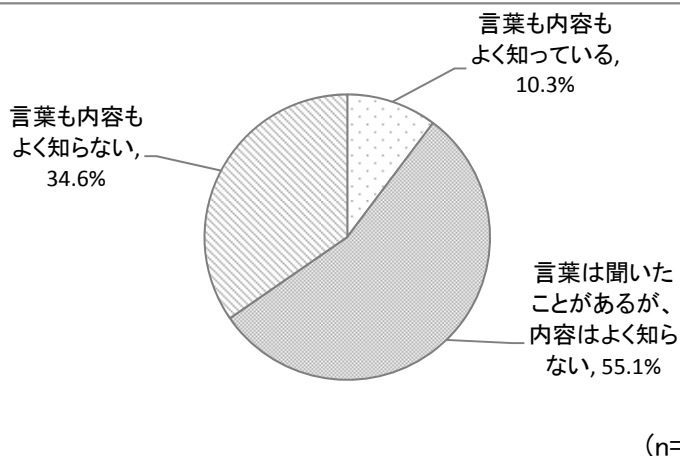


「防災情報の収集と地域への情報提供」とする割合が68.7%で最も高く、次いで「災害支援物資の備蓄」が40.7%、「地域の支え合い、助け合い体制づくりのための支援」が34.8%となっている。

8.生活困窮者対策についてお聞きます

問29 単数回答

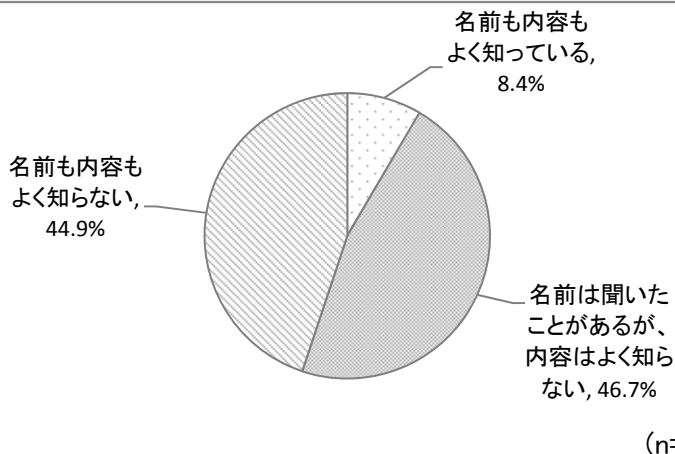
あなたは平成27年4月1日に施行した「生活困窮者自立支援法」をご存知ですか。



「言葉も内容もよく知っている」とする割合が10.3%、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が55.1%、「言葉も内容もよく知らない」が34.6%となっている。

問30 単数回答

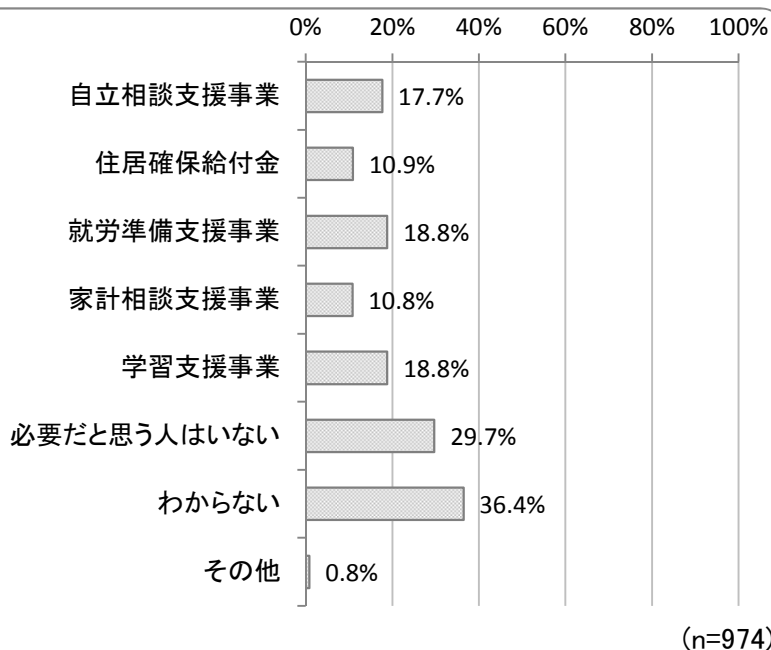
志布志市では、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、志布志市社会福祉協議会に委託するかたちで「しづし生活自立支援センター」を運営しています。あなたは、「しづし生活自立支援センター」をご存じでしたか。



「名前も内容もよく知っている」とする割合が8.4%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が46.7%、「名前も内容もよく知らない」が44.9%となっている。

問31 複数回答

生活困窮者に対する支援として、生活困窮者自立支援法には以下の様な事業がありますが、あなたの周りにこれらの事業が必要だと思う人はいますか。

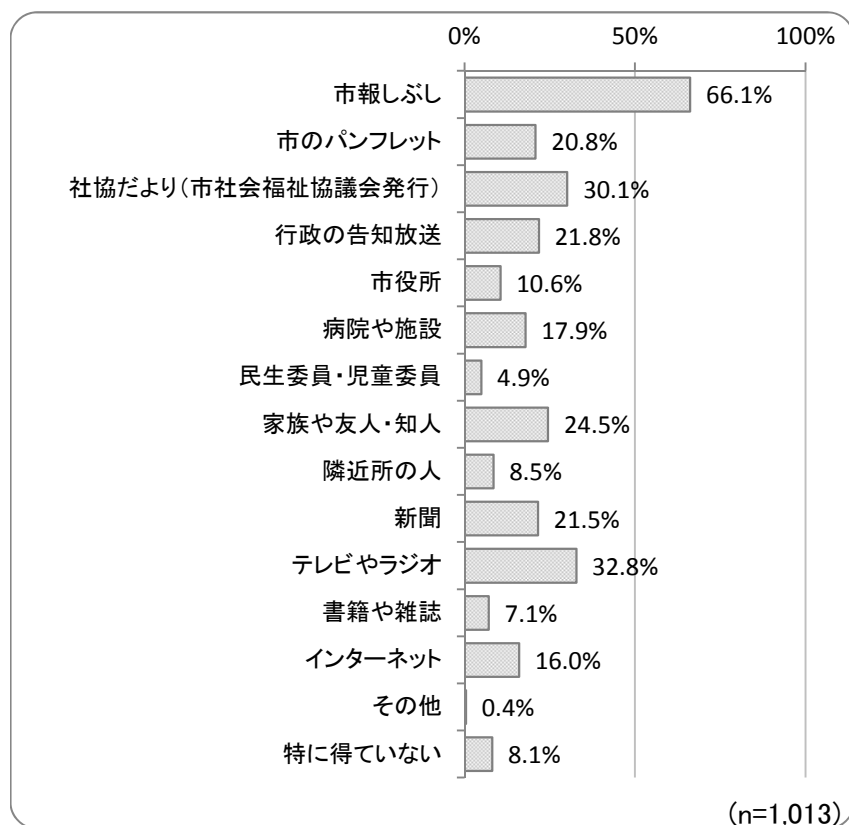


「わからない」とする割合が36.4%で最も高く、次いで「必要だと思う人はいない」が29.7%、「就労準備支援事業」及び「学習支援事業」がともに18.8%となっている。

9. 志布志市の福祉行政についてお聞きします

問32
複数回答

あなたは福祉や健康に関する情報をどこから得ていますか。



全体では「市報しぶし」とする割合が66.1%で最も高く、次いで「テレビやラジオ」が32.8%、「社協だより(市社会福祉協議会発行)」が30.1%となっている。

<クロス集計> 問32:年代別集計

※上段:件数、下段:割合

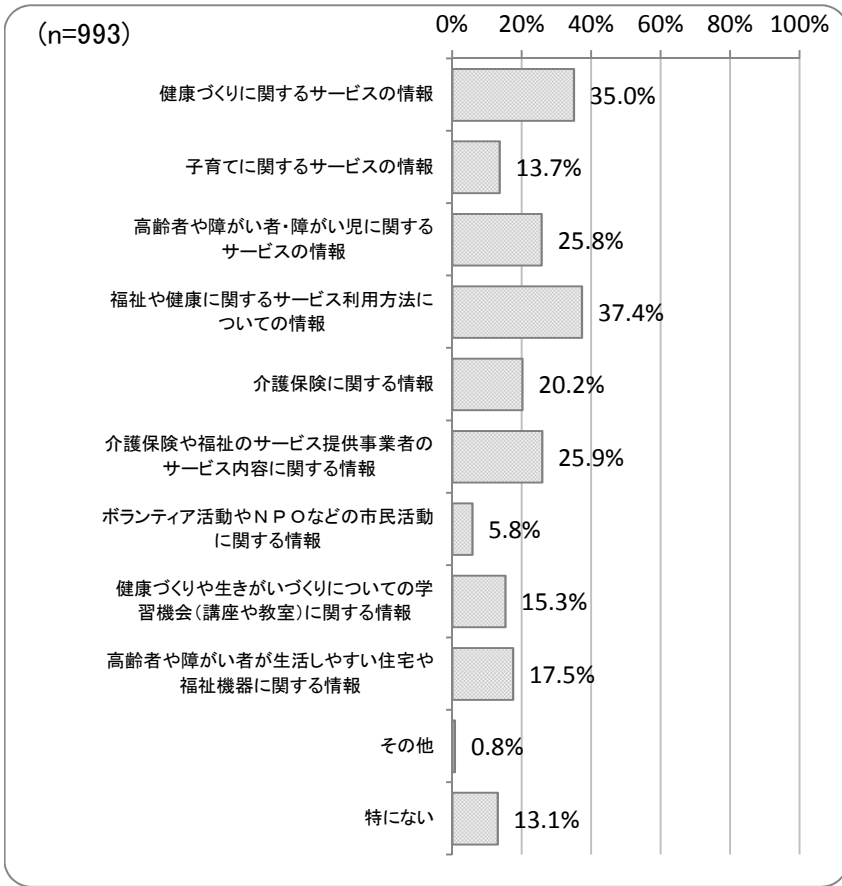
	合計	市報しぶし	市のパンフレット	協議会発行 （市社会福祉協議会）	行政の告知放送	市役所	病院や施設	民生委員・児童委員	家族や友人・知人	隣近所の人	新聞	テレビやラジオ
合計	1,013	670	211	305	221	107	181	50	248	86	218	332
	100.0%	66.1%	20.8%	30.1%	21.8%	10.6%	17.9%	4.9%	24.5%	8.5%	21.5%	32.8%
20歳代	54	29	3	8	6	5	12	1	17	1	3	13
	100.0%	53.7%	5.6%	14.8%	11.1%	9.3%	22.2%	1.9%	31.5%	1.9%	5.6%	24.1%
30歳代	117	67	12	8	16	15	20	1	36	8	10	31
	100.0%	57.3%	10.3%	6.8%	13.7%	12.8%	17.1%	0.9%	30.8%	6.8%	8.5%	26.5%
40歳代	117	79	13	33	16	11	21	2	32	4	14	26
	100.0%	67.5%	11.1%	28.2%	13.7%	9.4%	17.9%	1.7%	27.4%	3.4%	12.0%	22.2%
50歳代	204	145	41	63	45	17	35	8	47	12	58	69
	100.0%	71.1%	20.1%	30.9%	22.1%	8.3%	17.2%	3.9%	23.0%	5.9%	28.4%	33.8%
60歳代	294	196	73	98	63	30	56	13	65	27	63	110
	100.0%	66.7%	24.8%	33.3%	21.4%	10.2%	19.0%	4.4%	22.1%	9.2%	21.4%	37.4%
70歳以上	221	149	68	92	72	29	37	21	50	33	69	80
	100.0%	67.4%	30.8%	41.6%	32.6%	13.1%	16.7%	9.5%	22.6%	14.9%	31.2%	36.2%

	合計	書籍や雑誌	インターネット	その他	特に得ていない
合計	1,013	72	162	4	82
	100.0%	7.1%	16.0%	0.4%	8.1%
20歳代	54	1	18	0	8
	100.0%	1.9%	33.3%	0.0%	14.8%
30歳代	117	4	32	0	19
	100.0%	3.4%	27.4%	0.0%	16.2%
40歳代	117	12	32	1	17
	100.0%	10.3%	27.4%	0.9%	14.5%
50歳代	204	26	43	1	13
	100.0%	12.7%	21.1%	0.5%	6.4%
60歳代	294	19	29	1	16
	100.0%	6.5%	9.9%	0.3%	5.4%
70歳以上	221	10	8	1	9
	100.0%	4.5%	3.6%	0.5%	4.1%

年代別にみると、各年代で「市報しぶし」とする割合が最も高くなっている。
割合の内訳は、50歳代が71.1%で最も高く、次いで40歳代が67.5%、70歳以上が67.4%となっている。

問33
複数回答

あなたは、福祉や健康についてどんな情報を知りたいとお考えですか。



全体では「福祉や健康に関するサービス利用方法についての情報」とする割合が37.4%で最も高く、次いで「健康づくりに関するサービスの情報」が35.0%、「介護保険や福祉のサービス提供事業者のサービス内容に関する情報」が25.9%となっている。

<クロス集計> 問33:年代別集計

※上段:件数、下段:割合

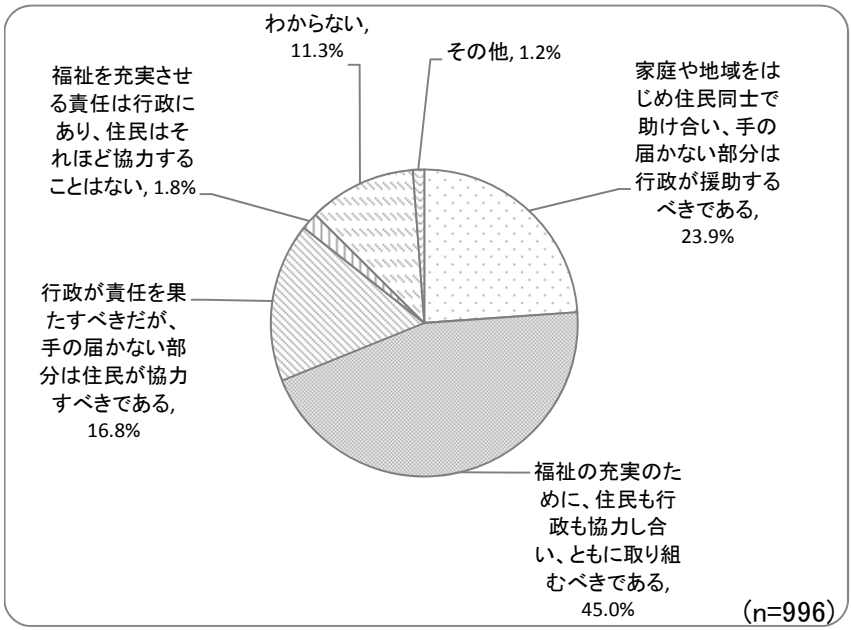
	合計	健康づくりに関するサービスの情報	子育てに関するサービスの情報	高齢者や障がい者・障がい児に関するサービスの情報	福祉や健康に関するサービス利用方法についての情報	介護保険に関する情報	介護保険や福祉のサービス提供事業者のサービス内容に関する情報	ボランティア活動やNPOなどの市民活動に関する情報	健康づくりや生きがいづくりについての学習機会(講座や教室)に関する情報	高齢者や障がい者が生活しやすい住宅や福祉機器に関する情報	その他	特にない
合計	993	348	136	256	371	201	257	58	152	174	8	130
	100.0%	35.0%	13.7%	25.8%	37.4%	20.2%	25.9%	5.8%	15.3%	17.5%	0.8%	13.1%
20歳代	54	21	13	12	13	3	8	3	5	5	1	12
	100.0%	38.9%	24.1%	22.2%	24.1%	5.6%	14.8%	5.6%	9.3%	9.3%	1.9%	22.2%
30歳代	115	39	54	17	23	13	17	9	21	11	3	14
	100.0%	33.9%	47.0%	14.8%	20.0%	11.3%	14.8%	7.8%	18.3%	9.6%	2.6%	12.2%
40歳代	116	43	35	25	27	8	18	9	18	18	0	23
	100.0%	37.1%	30.2%	21.6%	23.3%	6.9%	15.5%	7.8%	15.5%	15.5%	0.0%	19.8%
50歳代	203	62	17	57	87	46	64	13	40	30	1	24
	100.0%	30.5%	8.4%	28.1%	42.9%	22.7%	31.5%	6.4%	19.7%	14.8%	0.5%	11.8%
60歳代	289	108	10	74	132	66	82	14	42	55	2	37
	100.0%	37.4%	3.5%	25.6%	45.7%	22.8%	28.4%	4.8%	14.5%	19.0%	0.7%	12.8%
70歳以上	210	74	6	69	86	65	67	10	25	54	1	18
	100.0%	35.2%	2.9%	32.9%	41.0%	31.0%	31.9%	4.8%	11.9%	25.7%	0.5%	8.6%

年代別にみると、50歳以上は全体同様「福祉や健康に関するサービス利用方法についての情報」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

また、20歳代及び40歳代は「健康づくりに関するサービスの情報」、30歳代は「子育てに関するサービスの情報」とする割合がそれぞれ最も高くなっている。

問34
単数回答

地域福祉を充実させていく上で、住民と行政との関係について、どのようにお考えですか。



「福祉の充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」とする割合が45.0%で最も高く、次いで「家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助するべきである」が23.9%、「行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである」が16.8%となっている。

<クロス集計> 問34:地域別集計／※上段:件数、下段:割合

	合計	か家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助するべきである	福祉の充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである	行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである	福祉を充実させることは責任は行政にあり、住民はそれほど協力するべきではない	わからない	その他
合計	996	238	448	167	18	113	12
	100.0%	23.9%	45.0%	16.8%	1.8%	11.3%	1.2%
新橋	63	15	32	11	3	2	0
	100.0%	23.8%	50.8%	17.5%	4.8%	3.2%	0.0%
泰野	45	4	24	4	1	12	0
	100.0%	8.9%	53.3%	8.9%	2.2%	26.7%	0.0%
尾野見	36	10	16	6	0	4	0
	100.0%	27.8%	44.4%	16.7%	0.0%	11.1%	0.0%

(次ページに続く)

「田ノ浦」及び「潤ヶ野」を除く18地区では「福祉の充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」とする割合が最も高く、「田ノ浦」及び「潤ヶ野」では「家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助するべきである」が最も高い。

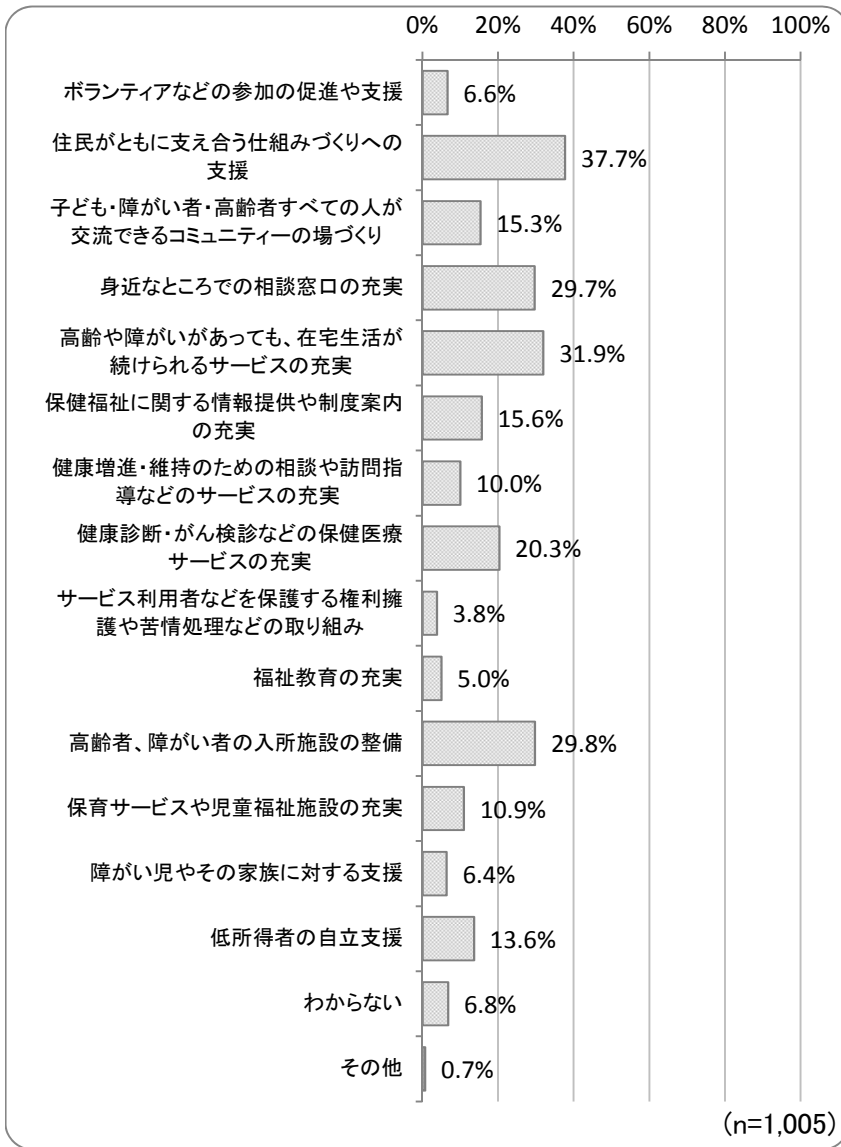
一方「八野」では「家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助するべきである」及び「福祉の充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」となっている。

<クロス集計> 問34:地域別集計(続き)／※上段:件数、下段:割合

	合計	か家庭や ない部分 地域は行政 が援助する べきである	と福祉の充 実に取り組 むべきであ る	は行政が責 任を果たす べきである	は福祉を充 実させる責 任は行政に あり、住民 はそれ	わから ない	その他
香月	87	18	41	16	1	9	2
	100.0%	20.7%	47.1%	18.4%	1.1%	10.3%	2.3%
安楽	112	24	49	15	2	16	6
	100.0%	21.4%	43.8%	13.4%	1.8%	14.3%	5.4%
東区	47	9	28	6	0	4	0
	100.0%	19.1%	59.6%	12.8%	0.0%	8.5%	0.0%
志布志 区	112	27	50	20	4	10	1
	100.0%	24.1%	44.6%	17.9%	3.6%	8.9%	0.9%
帖五区	55	10	24	11	1	8	1
	100.0%	18.2%	43.6%	20.0%	1.8%	14.5%	1.8%
夏井陣 岳	11	3	7	1	0	0	0
	100.0%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
田之浦	21	8	6	5	0	2	0
	100.0%	38.1%	28.6%	23.8%	0.0%	9.5%	0.0%
四浦	1	0	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
森山	11	3	4	2	0	2	0
	100.0%	27.3%	36.4%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%
潤ヶ野	19	7	5	5	0	2	0
	100.0%	36.8%	26.3%	26.3%	0.0%	10.5%	0.0%
八野	2	1	1	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊崎田	70	19	26	18	1	6	0
	100.0%	27.1%	37.1%	25.7%	1.4%	8.6%	0.0%
有明	69	22	28	7	0	11	1
	100.0%	31.9%	40.6%	10.1%	0.0%	15.9%	1.4%
通山	70	15	34	11	1	9	0
	100.0%	21.4%	48.6%	15.7%	1.4%	12.9%	0.0%
蓬原	46	11	22	6	1	6	0
	100.0%	23.9%	47.8%	13.0%	2.2%	13.0%	0.0%
原田	26	8	12	4	0	2	0
	100.0%	30.8%	46.2%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%
野神	54	16	23	8	2	5	0
	100.0%	29.6%	42.6%	14.8%	3.7%	9.3%	0.0%
山重	34	8	13	8	1	3	1
	100.0%	23.5%	38.2%	23.5%	2.9%	8.8%	2.9%

問35
複数回答

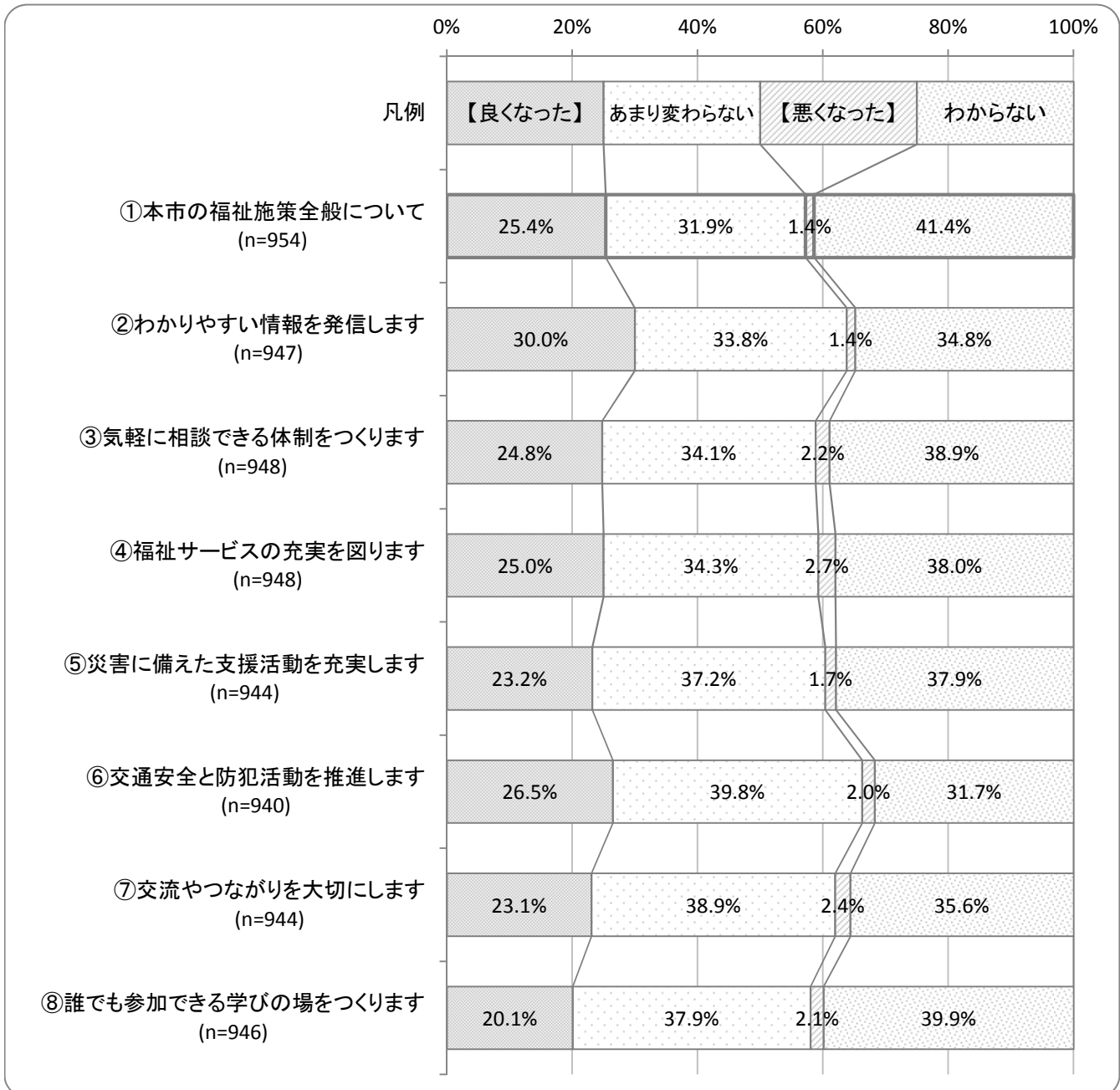
今後、安心して暮らせるまちづくりに向けて、市の福祉施策として、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものに○を付けてください。



「住民がともに支え合う仕組みづくりへの支援(住民同士や行政との協力・連絡など、助け合う組織)」とする割合が37.7%で最も高く、次いで「高齢や障がいがあっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が31.9%、「高齢者、障がい者の入所施設の整備」が29.8%となっている。

問36
単数回答

以下は、前回(平成26年度)の計画策定時に設定した計画の取り組みの柱です。これら内容について、おおむね5年前と比べてどう変化したと思いますか。



※「良くなった」及び「少し良くなった」を【良くなった】、「少し悪くなった」及び「悪くなった」を【悪くなった】として統合・集計処理している。

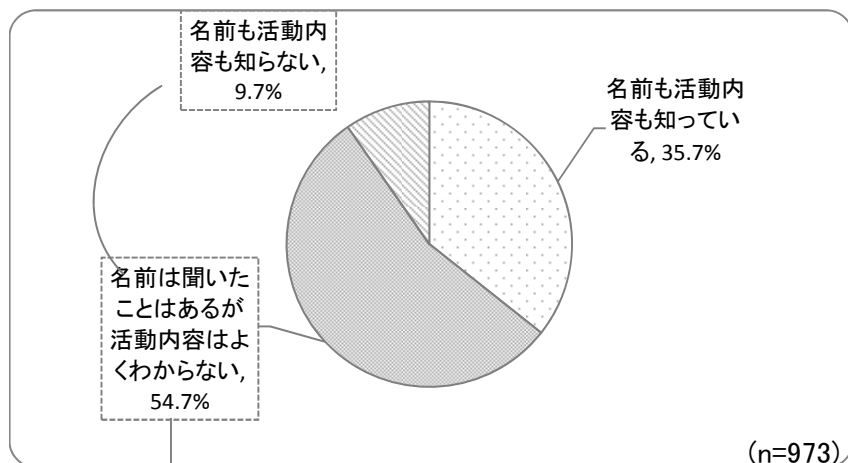
【良くなった】では、「②わかりやすい情報を発信します」とする割合が30.0%で最も高く、次いで「⑥交通安全と防犯活動を推進します」が26.5%、「①本市の福祉施策全般について」が25.4%となっている。

一方わからないでは、「①本市の福祉施策全般について」とする割合が41.4%で最も高く、次いで「⑧誰でも参加できる学びの場をつくります」が39.9%、「③気軽に相談できる体制をつくります」が38.9%となっている。

また、【悪くなった】では、「④福祉サービスの充実を図ります」とする割合が2.7%で最も高く、次いで「⑦交流やつながりを大切にします」が2.4%、「③気軽に相談できる体制をつくります」が2.2%となっている。

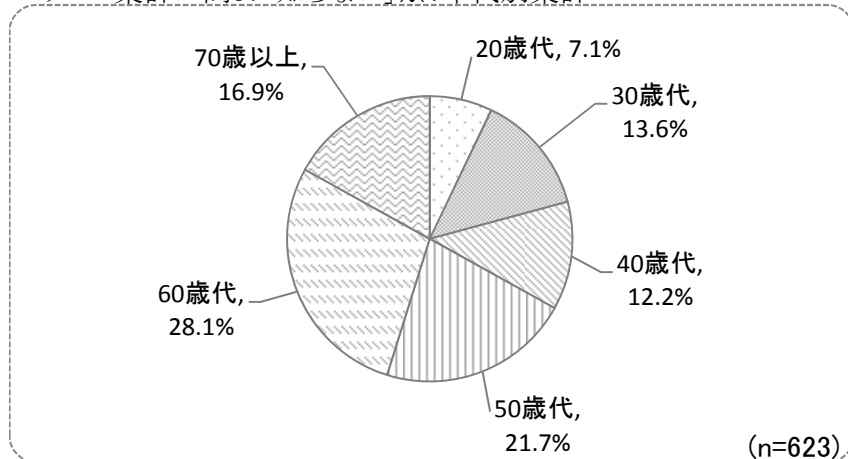
10. 志布志市社会福祉協議会の活動についてお聞きます

問37 あなたは志布志市社会福祉協議会をご存知ですか。
単数回答



全体では「名前も活動内容も知っている」とする割合が35.7%、「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」が54.7%、「名前も活動内容も知らない」が9.7%となっている。

<クロス集計> 問37「知らない」※:年代別集計

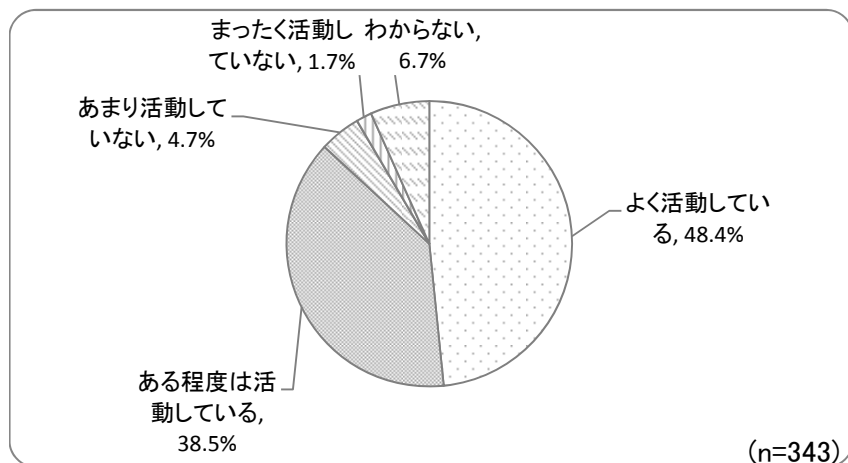


※「知らない」は、「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」及び「名前も活動内容も知らない」の合計値。

「知らない」とする割合を年代別にみると、60歳代が28.1%で最も高く、次いで50歳代が21.7%、70歳以上が16.9%となっている。

問37で「1 名前も活動内容も知っている」とした者のみ

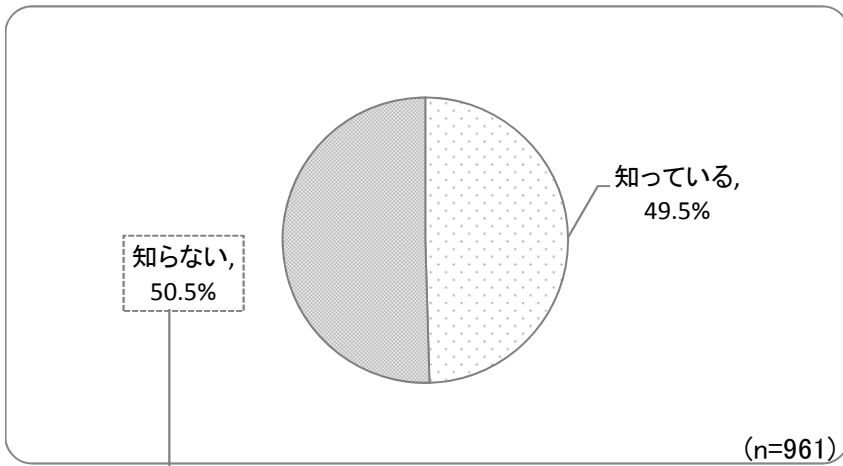
問37-① あなたは、志布志市社会福祉協議会についてどう思われますか。
単数回答



「よく活動している」とする割合が48.4%で最も高く、次いで「ある程度は活動している」が38.5%、「わからない」が6.7%となっている。

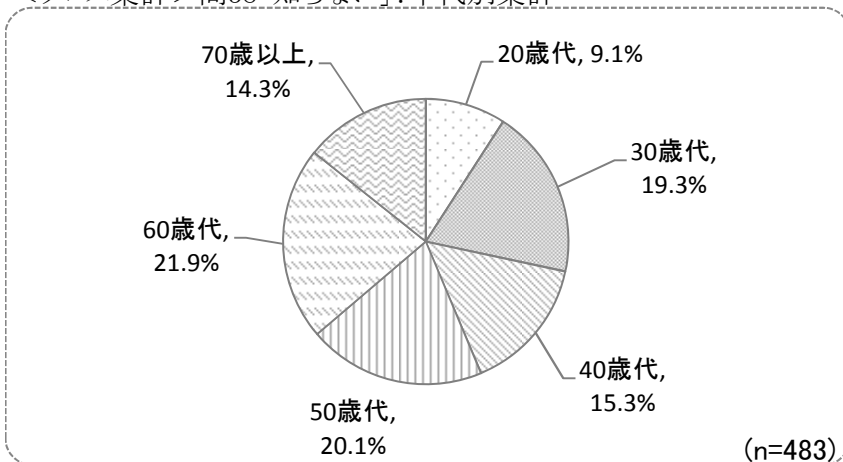
問38
単数回答

住民の皆様から、一般会員として年1回会費を志布志市社会福祉協議会へ納めていただいていることをご存知ですか。



全体では「知っている」とする割合が49.5%、「知らない」が50.5%となっている。

＜クロス集計＞問38「知らない」：年代別集計

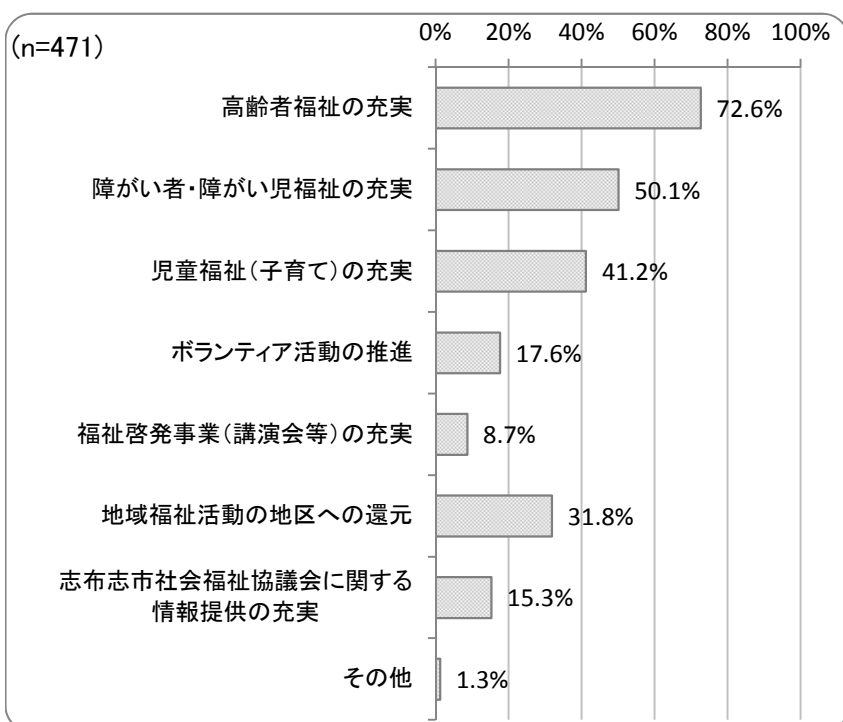


「知らない」とする割合を年代別にみると、60歳代が21.9%で最も高く、次いで50歳代が20.1%、30歳代が19.3%となっている。

問38で「1 知っている」とした者のみ

問38-①
複数回答

あなたは、納めていただいた会費や寄付金がどのように活用されることを期待しますか。



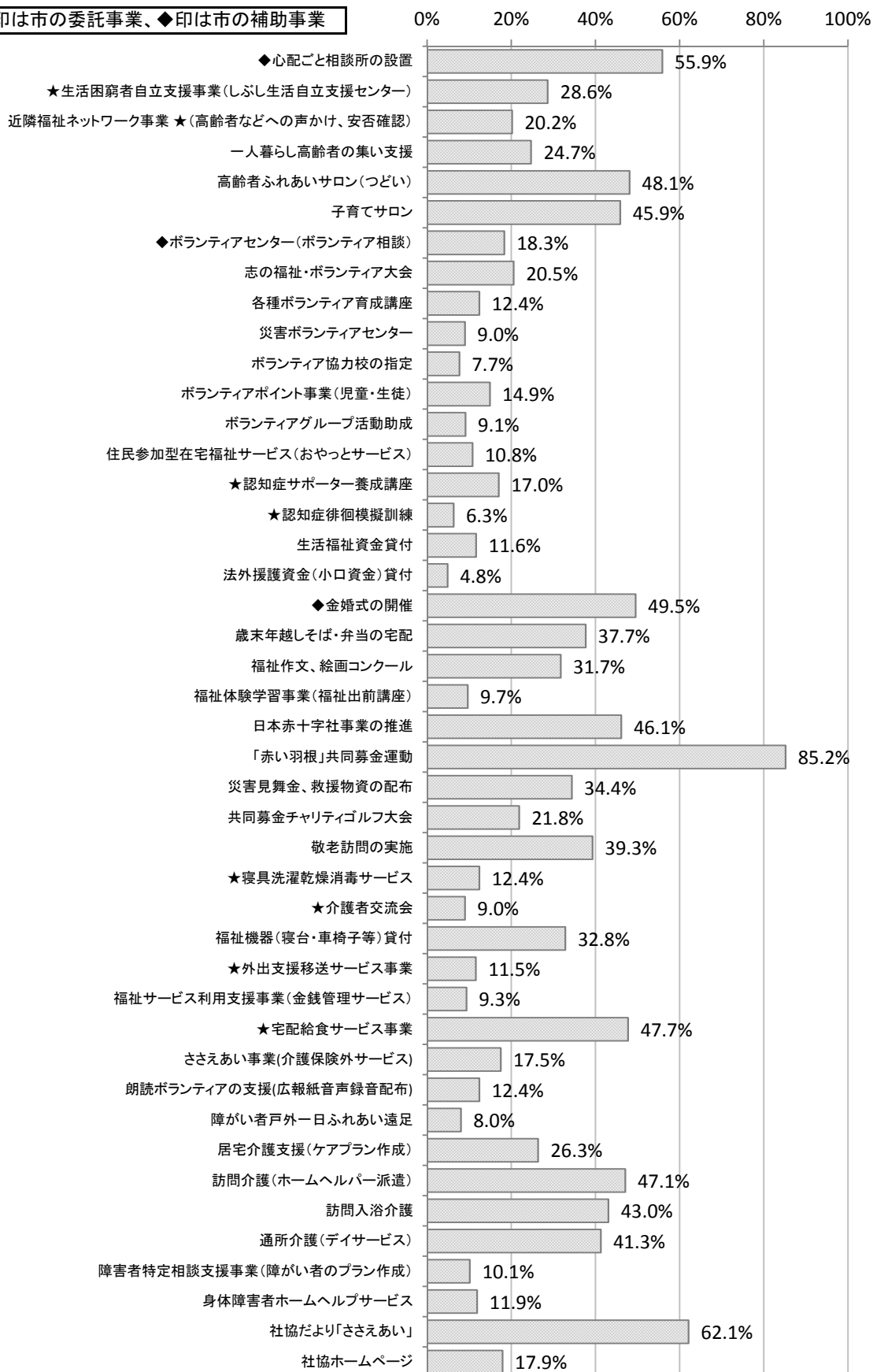
「高齢者福祉の充実」とする割合が72.6%で最も高く、次いで「障がい者・障がい児福祉の充実」が50.1%、「児童福祉(子育て)の充実」が41.2%となっている。

問39
複数回答

志布志市社会福祉協議会では、下記の活動を行っています。あなたは各活動をご存知ですか。

(n=911)

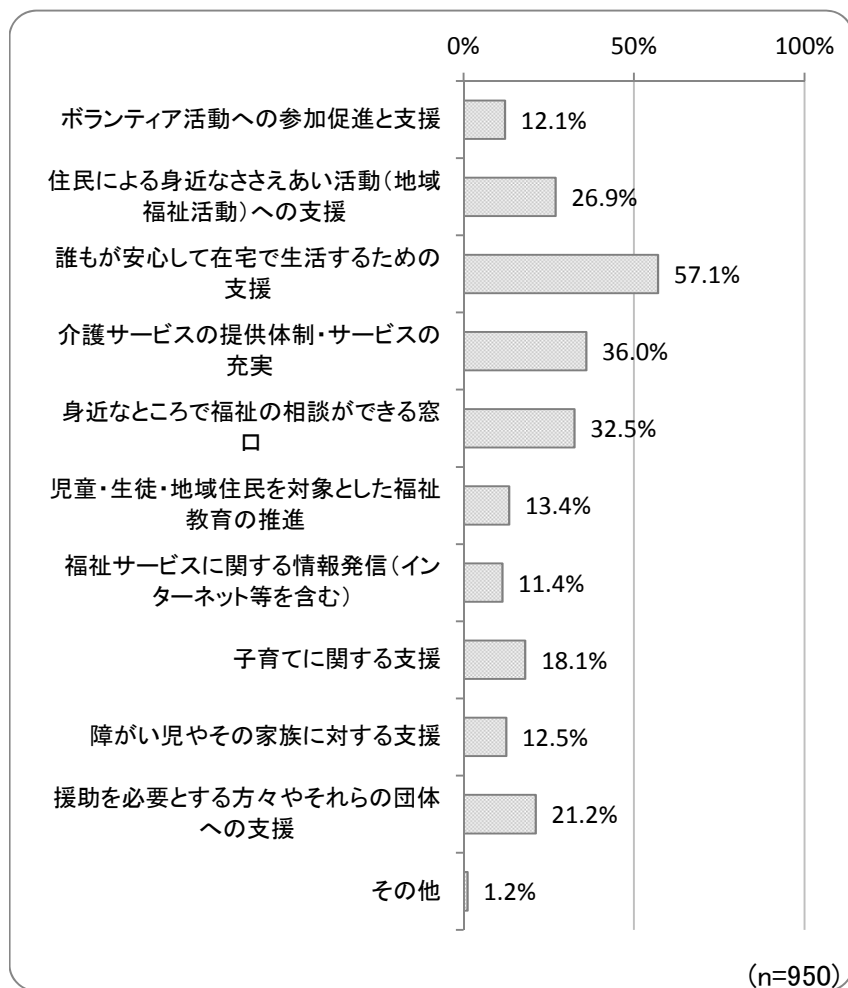
※★印は市の委託事業、◆印は市の補助事業



「赤い羽根」共同募金運動」とする割合が85.2%で最も高く、次いで「社協だより「ささえあい」」が62.1%、「心配ごと相談所の設置」が55.9%となっている。

問40
複数回答

志布志市社会福祉協議会が住民に対して行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。



「誰もが安心して在宅で生活するための支援」とする割合が57.1%で最も高く、次いで「介護サービスの提供体制・サービスの充実」が36.0%、「身近なところで福祉の相談ができる窓口」が32.5%となっている。

問41
自由記述

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるためにご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

※ 自由記述項目のため後述

IV 集計表／前回調査との比較

Ⅲ 集計表／前回調査との比較

調査結果における基本的事項

(1) 調査票回収状況

(H24) 前回調査票回収状況

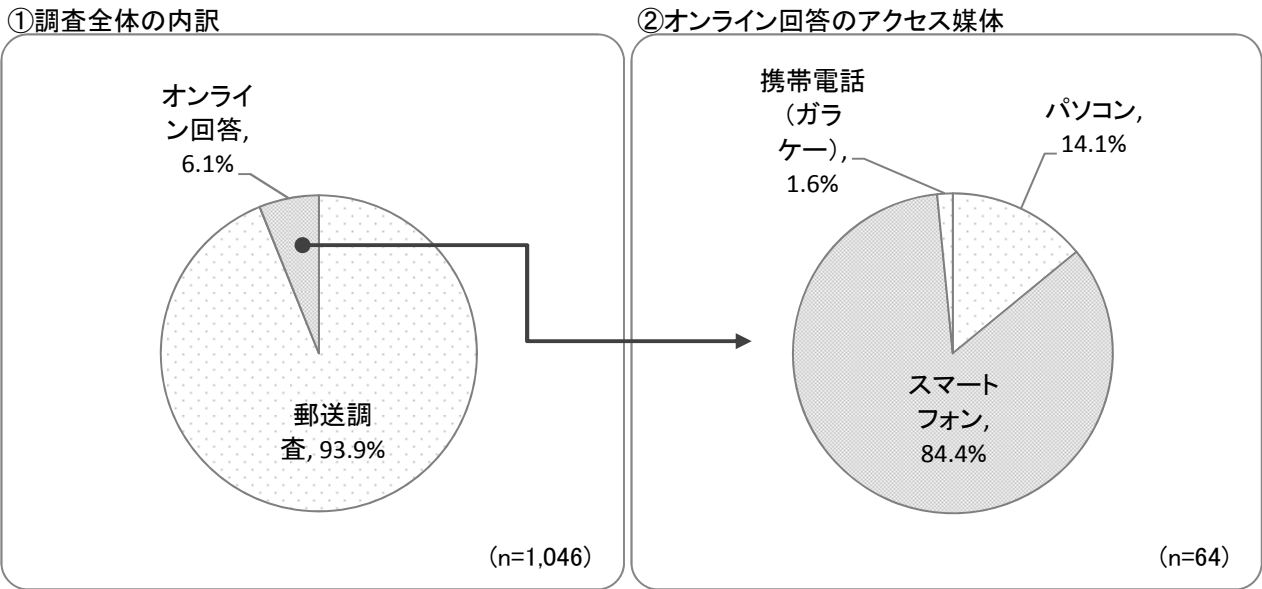
調査数	回収数	有効回答数	無効回答数	回収率	有効回答率
2,000	1,220	1,202	18	61.0%	98.5%

(H30) 今回調査票回収状況

調査数	回収数	有効回答数	無効回答数	回収率	有効回答率
2,000	1,046	1,044	2	52.3%	99.8%

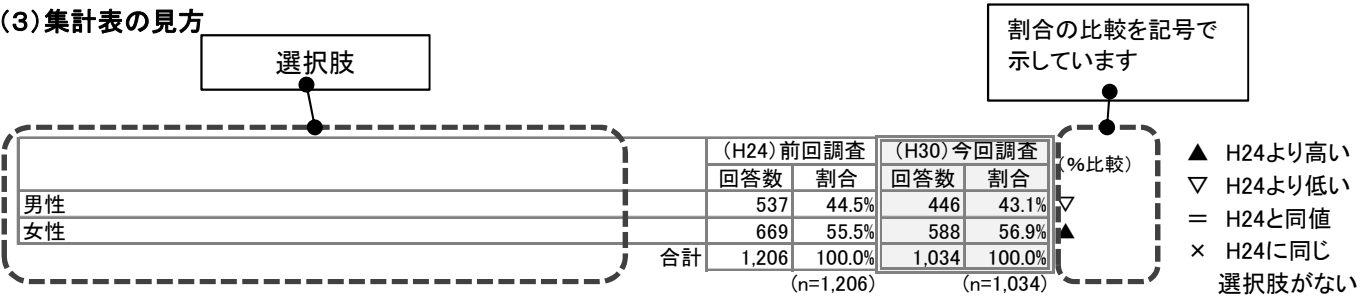
前回調査と今回調査を比較すると、回収率は61.0%から52.3%へ8.7%低下した。一方、回収された調査票・調査結果における有効回答率は、98.5%から99.8%へと1.3%上昇している。

(2) 郵送調査、オンライン回答の比率



今回調査より、インターネットを利用したオンライン回答の手法を採用したが、その内訳をみると、郵送調査が93.9%であるのに対し、オンライン回答は6.1%であった。
また、オンライン回答を行った媒体※については、「スマートフォン」が全体の84.4%で最も高く、次いで「パソコン」が14.1%、「携帯電話（ガラケー）」が1.6%であった。

(3) 集計表の見方



※表記上同じ割合であっても、小数点第2位以下の数値により「=」とならない場合があります。

※ 今回(2)～②の3種別でQRコードを用意し、アクセスしてきた媒体を把握する手法を用いているが、パソコン用はスマートフォンやタブレット端末からもアクセスが可能である一方で、スマートフォン用においてもPCからアクセスが可能である。

1. あなた自身のことについてお聞きします

問1 あなたの性別をお答えください。

単数回答

▷「男性」とする割合が低下し、「女性」とする割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
男性	537	44.5%	446	43.1%	▽
女性	669	55.5%	588	56.9%	▲
合計	1,206	100.0%	1,034	100.0%	
	(n=1,206)		(n=1,034)		

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成30年7月1日現在)

記入式回答

▷「30歳代」及び「60歳代」以外の年代で割合が低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
20歳代	98	8.1%	57	5.5%	▽
30歳代	134	11.1%	119	11.5%	▲
40歳代	151	12.5%	120	11.6%	▽
50歳代	257	21.3%	210	20.3%	▽
60歳代	286	23.7%	301	29.1%	▲
70歳代	282	23.3%	215	20.8%	▽
80歳以上 ※H30新設	--	--	14	1.4%	×
合計	1,208	100.0%	1,036	100.0%	
	(n=1,208)		(n=1,036)		

問3 あなたの世帯構成をお答えください。

単数回答

▷「夫婦のみの世帯」とする割合の上昇幅が最も大きくなっている。(2.6ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
単身世帯	163	13.8%	120	11.7%	▽
夫婦のみの世帯	454	38.5%	422	41.1%	▲
二世帯世帯(あなたと親)	145	12.3%	119	11.6%	▽
二世帯世帯(あなたと子)	334	28.3%	304	29.6%	▲
三世帯世帯	56	4.7%	38	3.7%	▽
その他	28	2.4%	25	2.4%	▲
合計	1,180	100.0%	1,028	100.0%	
	(n=1,180)		(n=1,028)		

問4

あなたのお住まいの地域(校区)はどこですか。

単数回答

▷10の地区で割合が上昇し、11の地区で割合が低下した。

		(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(％比較)
		回答数	割合	回答数	割合	
新橋	(松山地域)	69	5.8%	67	6.5%	▲
泰野		49	4.1%	48	4.6%	▲
尾野見		46	3.8%	36	3.5%	▽
香月		93	7.8%	88	8.5%	▲
安楽	(志布志地域)	131	10.9%	119	11.5%	▲
東区		57	4.8%	50	4.8%	▲
志布志区		140	11.7%	119	11.5%	▽
帖五区		79	6.6%	57	5.5%	▽
夏井・陣岳		21	1.8%	11	1.1%	▽
田之浦		18	1.5%	22	2.1%	▲
四浦		2	0.2%	1	0.1%	▽
森山		17	1.4%	11	1.1%	▽
潤ヶ野		26	2.2%	20	1.9%	▽
八野		3	0.3%	2	0.2%	▽
伊崎田	(有明地域)	82	6.8%	71	6.9%	▲
有明		100	8.3%	72	7.0%	▽
通山		74	6.2%	73	7.1%	▲
蓬原		51	4.3%	46	4.4%	▲
原田		41	3.4%	28	2.7%	▽
野神		70	5.8%	59	5.7%	▽
山重		30	2.5%	35	3.4%	▲
合計		1,199	100.0%	1,035	100.0%	
		(n=1,199)		(n=1,035)		

問5

あなたの職業は何ですか。

単数回答

▷「会社員(正規職員)」、「公務員・団体職員(正規職員)」とする割合の上昇幅が高くなっている。(それぞれ2.2ポイント)

		(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
		回答数	割合	回答数	割合	
自営業(商業・農林水産業)		238	20.1%	185	18.0%	▽
会社員(正規職員)		241	20.3%	231	22.5%	▲
公務員・団体職員(正規職員)		64	5.4%	78	7.6%	▲
臨時職員・パート・アルバイト・派遣等非正規職員		187	15.8%	178	17.3%	▲
専業主婦		130	11.0%	98	9.6%	▽
学生		9	0.8%	8	0.8%	▲
無職		261	22.0%	208	20.3%	▽
その他		57	4.8%	40	3.9%	▽
合計		1,187	100.0%	1,026	100.0%	
		(n=1,187)		(n=1,026)		

2.地域とのかかわりについてお聞きます

問6 あなたがお住まいの地域や周辺の環境について、どのように思いますか。
単数回答

A 住んでいる地域に愛着を感じている

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】が上昇、【わからない】が低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	549	48.0%	389	38.8%	▽
どちらかといえばそう思う	394	34.4%	402	40.1%	▲
どちらかといえばそう思わない	80	7.0%	92	9.2%	▲
そう思わない	59	5.2%	69	6.9%	▲
わからない	62	5.4%	50	5.0%	▽
合計	1,144	100.0%	1,002	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	943	82.4%	791	78.9%	▽
【そう思わない】	139	12.2%	161	16.1%	▲
わからない	62	5.4%	50	5.0%	▽
合計	1,144	100.0%	1,002	100.0%	

(n=1,144) (n=1,002)

B 子どもがいきいきと育つための環境が充実している

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】が上昇、【わからない】が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	175	15.7%	124	12.4%	▽
どちらかといえばそう思う	375	33.6%	356	35.6%	▲
どちらかといえばそう思わない	229	20.5%	216	21.6%	▲
そう思わない	184	16.5%	162	16.2%	▽
わからない	152	13.6%	143	14.3%	▲
合計	1,115	100.0%	1,001	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	550	49.3%	480	48.0%	▽
【そう思わない】	413	37.0%	378	37.8%	▲
わからない	152	13.6%	143	14.3%	▲
合計	1,115	100.0%	1,001	100.0%	

(n=1,115) (n=1,001)

C 高齢者に対する福祉サービスが充実している

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】が上昇、【わからない】が低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	133	11.8%	91	9.1%	▽
どちらかといえばそう思う	394	34.9%	327	32.6%	▽
どちらかといえばそう思わない	204	18.1%	213	21.3%	▲
そう思わない	133	11.8%	150	15.0%	▲
わからない	264	23.4%	221	22.1%	▽
合計	1,128	100.0%	1,002	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	527	46.7%	418	41.7%	▽
【そう思わない】	337	29.9%	363	36.2%	▲
わからない	264	23.4%	221	22.1%	▽
合計	1,128	100.0%	1,002	100.0%	

(n=1,128) (n=1,002)

D 障がいのある人に対する福祉サービスが充実している

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】が上昇、【わからない】が低下した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	102	9.1%	61	6.1%	▽
どちらかといえばそう思う	248	22.1%	226	22.8%	▲
どちらかといえばそう思わない	206	18.3%	217	21.9%	▲
そう思わない	167	14.9%	145	14.6%	▽
わからない	400	35.6%	343	34.6%	▽
合計	1,123	100.0%	992	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	350	31.2%	287	28.9%	▽
【そう思わない】	373	33.2%	362	36.5%	▲
わからない	400	35.6%	343	34.6%	▽
合計	1,123	100.0%	992	100.0%	

(n=1,123)

(n=992)

E 高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすい都市環境が充実している

▷【そう思う】及び【そう思わない】とする割合がともに低下し、【わからない】が上昇した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	71	6.4%	49	4.9%	▽
どちらかといえばそう思う	221	19.8%	209	21.0%	▲
どちらかといえばそう思わない	271	24.2%	266	26.7%	▲
そう思わない	281	25.1%	219	22.0%	▽
わからない	274	24.5%	252	25.3%	▲
合計	1,118	100.0%	995	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	292	26.1%	258	25.9%	▽
【そう思わない】	552	49.4%	485	48.7%	▽
わからない	274	24.5%	252	25.3%	▲
合計	1,118	100.0%	995	100.0%	

(n=1,118)

(n=995)

F 近所づきあいや助け合いなどの近隣関係が良好である

▷【そう思う】及び【そう思わない】とする割合がともに低下し、【わからない】が上昇した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	279	24.6%	189	18.9%	▽
どちらかといえばそう思う	471	41.5%	452	45.2%	▲
どちらかといえばそう思わない	176	15.5%	159	15.9%	▲
そう思わない	144	12.7%	120	12.0%	▽
わからない	66	5.8%	79	7.9%	▲
合計	1,136	100.0%	999	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	750	66.0%	641	64.2%	▽
【そう思わない】	320	28.2%	279	27.9%	▽
わからない	66	5.8%	79	7.9%	▲
合計	1,136	100.0%	999	100.0%	

(n=1,136)

(n=999)

G 福祉施設や福祉事業所が整備されている

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】が上昇し、【わからない】が低下した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	96	8.6%	59	5.9%	▽
どちらかといえばそう思う	303	27.1%	270	27.2%	▲
どちらかといえばそう思わない	228	20.4%	227	22.9%	▲
そう思わない	182	16.3%	166	16.7%	▲
わからない	310	27.7%	271	27.3%	▽
合計	1,119	100.0%	993	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	399	35.7%	329	33.1%	▽
【そう思わない】	410	36.6%	393	39.6%	▲
わからない	310	27.7%	271	27.3%	▽
合計	1,119	100.0%	993	100.0%	
	(n=1,119)		(n=993)		

H 市民の福祉活動が活発に行われている

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】及び【わからない】がともに上昇した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	79	7.1%	44	4.4%	▽
どちらかといえばそう思う	294	26.3%	258	26.0%	▽
どちらかといえばそう思わない	245	21.9%	235	23.6%	▲
そう思わない	155	13.9%	142	14.3%	▲
わからない	344	30.8%	315	31.7%	▲
合計	1,117	100.0%	994	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	373	33.4%	302	30.4%	▽
【そう思わない】	400	35.8%	377	37.9%	▲
わからない	344	30.8%	315	31.7%	▲
合計	1,117	100.0%	994	100.0%	
	(n=1,117)		(n=994)		

I 急な病気やケガに対する救急医療体制が整備されている

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】が上昇し、【わからない】が低下した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	147	13.0%	106	10.6%	▽
どちらかといえばそう思う	328	29.1%	255	25.6%	▽
どちらかといえばそう思わない	227	20.1%	218	21.9%	▲
そう思わない	251	22.3%	264	26.5%	▲
わからない	174	15.4%	153	15.4%	▽
合計	1,127	100.0%	996	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	475	42.1%	361	36.2%	▽
【そう思わない】	478	42.4%	482	48.4%	▲
わからない	174	15.4%	153	15.4%	▽
合計	1,127	100.0%	996	100.0%	
	(n=1,127)		(n=996)		

Ｊ 防災や防犯に対する支援や組織の体制が整備されている

▷【そう思う】とする割合が低下し、【そう思わない】及び【わからない】がともに上昇した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
そう思う	129	11.5%	78	7.9%	▽
どちらかといえばそう思う	370	32.9%	288	29.0%	▽
どちらかといえばそう思わない	239	21.3%	227	22.9%	▲
そう思わない	151	13.4%	174	17.5%	▲
わからない	234	20.8%	226	22.8%	▲
合計	1,123	100.0%	993	100.0%	

↓ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【そう思う】	499	44.4%	366	36.9%	▽
【そう思わない】	390	34.7%	401	40.4%	▲
わからない	234	20.8%	226	22.8%	▲
合計	1,123	100.0%	993	100.0%	
	(n=1,123)		(n=993)		

問7

あなたは毎日の暮らしの中でどのような悩みや不安を感じていますか。

複数回答

▷「介護」、「老後」、「災害」、「防犯」、「その他」の割合が上昇した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
自分の健康に関すること	607	50.5%	446	44.7%	▽
親や子どもに関すること	239	19.9%	179	18.0%	▽
子育てや教育に関すること	161	13.4%	127	12.7%	▽
介護に関すること	389	32.4%	324	32.5%	▲
老後のこと	669	55.7%	563	56.5%	▲
人間関係に関すること	180	15.0%	141	14.1%	▽
災害に関すること	201	16.7%	280	28.1%	▲
防犯に関すること	116	9.7%	126	12.6%	▲
家計に関すること	329	27.4%	220	22.1%	▽
その他	21	1.7%	19	1.9%	▲
悩みや不安はない	58	4.8%	47	4.7%	▽
	(n=1,202)		(n=997)		

問8

あなたが生活上の悩みを抱えたり、福祉サービスが必要になった時、誰(どこ)に相談しますか。

複数回答

▷「市役所の相談窓口」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(6.6ポイント)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
国や県の相談機関	48	4.0%	54	5.3%	▲
市役所の相談窓口	574	47.8%	555	54.4%	▲
地域包括支援センター(いきいきセンター)	97	8.1%	126	12.3%	▲
社会福祉協議会	140	11.6%	117	11.5%	▽
医療機関	228	19.0%	220	21.5%	▲
学校等(保育園・幼稚園を含む)	11	0.9%	17	1.7%	▲
自治会等の役員	19	1.6%	15	1.5%	▽
民生委員・児童委員	159	13.2%	105	10.3%	▽
保健師	25	2.1%	18	1.8%	▽
介護支援専門員(ケアマネジャー)	153	12.7%	144	14.1%	▲
ホームヘルパー	17	1.4%	13	1.3%	▽
家族・親戚	770	64.1%	577	56.5%	▽
近所の人	58	4.8%	45	4.4%	▽
友人・知人	362	30.1%	269	26.3%	▽
相談できない(したくない)	29	2.4%	18	1.8%	▽
どこに相談してよいかわからない	135	11.2%	123	12.0%	▲
相談できる人や場所がない	31	2.6%	25	2.4%	▽
その他	13	1.1%	12	1.2%	▲
	(n=1,202)		(n=1,021)		

問9 あなたやあなたの家族が困っていることで、手助けをしてほしいと思うことには、どのようなものがありますか。

複数回答 ※H30新設の選択肢を除くと、「手助けしてほしいことはない」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(3.6ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
見守りや安否確認の声かけ	297	24.7%	229	24.0%	▽
相談ごとや話し相手	278	23.1%	157	16.4%	▽
買い物の手伝い・送迎	116	9.7%	111	11.6%	▲
電球交換・庭の草刈など簡単な家事	115	9.6%	85	8.9%	▽
災害時の手助け	347	28.9%	279	29.2%	▲
子育ての相談	82	6.8%	56	5.9%	▽
通院など外出の手伝い・送迎	221	18.4%	191	20.0%	▲
病気の時の看病	278	23.1%	170	17.8%	▽
ゴミの分別・ゴミ出し ※H30新設	--	--	149	15.6%	×
屋内の掃除・調理 ※H30新設	--	--	70	7.3%	×
その他	36	3.0%	30	3.1%	▲
手助けしてほしいことはない	306	25.5%	278	29.1%	▲
	(n=1,202)		(n=956)		

問10 隣近所で困っている人がいたとき、あなたができる手助けとして、どのようなものがありますか。

複数回答

※H30新設の選択肢を除くと、「特に手助けできることはない」とする割合のみが上昇した。(2.0ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
見守りや安否確認の声かけ	778	64.7%	642	63.9%	▽
相談ごとや話し相手	515	42.8%	389	38.7%	▽
買い物の手伝い・送迎	421	35.0%	252	25.1%	▽
電球交換・掃除・庭の草刈など簡単な家事	266	22.1%	157	15.6%	▽
災害時の手助け	512	42.6%	394	39.2%	▽
子育ての相談	109	9.1%	59	5.9%	▽
通院など外出の手伝い・送迎	267	22.2%	212	21.1%	▽
病気の時の看病	90	7.5%	55	5.5%	▽
ゴミの分別・ゴミ出し ※H30新設	--	--	204	20.3%	×
その他	14	1.2%	8	0.8%	▽
特に手助けできることはない	94	7.8%	99	9.9%	▲
	(n=1,202)		(n=1,005)		

3. ボランティア活動についてお聞きます

問11 あなたのボランティア活動経験についてお答えください。

単数回答

▷「現在活動中」もしくは「これまでに活動経験がある」とする割合が上昇し、「経験はない」とする割合は低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
現在活動している	136	12.2%	125	12.6%	▲
過去に活動したことはあるが、現在していない	249	22.3%	228	23.1%	▲
経験はない	730	65.5%	636	64.3%	▽
合計	1,115	100.0%	989	100.0%	
	(n=1,115)		(n=989)		

※問11で「1 現在活動している」、「2 過去に活動したことはあるが、現在していない」とした者のみ

問11-① あなたがボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。

複数回答

▷「人に誘われたから」、「楽しそうだから・おもしろそうだから」、「趣味や特技を生かしたいから」、「その他」で割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
困っている人や団体に頼まれたから	106	27.5%	81	22.9%	▽
人に誘われたから	84	21.8%	85	24.1%	▲
人の役に立ちたいから	141	36.6%	118	33.4%	▽
自分たちのために必要な活動だから	141	36.6%	121	34.3%	▽
楽しそうだから・おもしろそうだから	25	6.5%	29	8.2%	▲
余暇を有効に活用したいから	43	11.2%	38	10.8%	▽
趣味や特技を生かしたいから	33	8.6%	50	14.2%	▲
学校の授業などで機会があったから	90	23.4%	70	19.8%	▽
付き合い上、やむを得ず	33	8.6%	24	6.8%	▽
その他	10	2.6%	13	3.7%	▲
	(n=385)		(n=353)		

※問11で「1 現在活動している」、「2 過去に活動したことはあるが、現在していない」とした者のみ

問11-② ボランティア活動の内容を教えてください。

複数回答

▷「高齢者」、「障がい者」、「子育て支援」、「青少年育成」、「環境美化」、「地域行事」において割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
高齢者に関する活動(ふれあいサロン、高齢者の見守り活動・老人施設等慰問など)	107	27.8%	116	32.9%	▲
障がい者に関する活動(手話や音読・点字・代筆、外出支援、施設訪問など)	12	3.1%	31	8.8%	▲
子育て支援に対する活動(子育てサロン、子育て相談、放課後の児童支援など)	19	4.9%	26	7.4%	▲
保健に関する活動(健康教室等の支援、献血ボランティアとしての活動)	52	13.5%	19	5.4%	▽
青少年に関する活動(悩み相談や交流、スポーツ少年団活動などの支援)	37	9.6%	37	10.5%	▲
環境美化に関する活動(自然愛護や美化活動、リサイクル活動)	113	29.4%	163	46.2%	▲
福祉のまちづくりに関する活動(子どもと高齢者、障がい者等のふれあい活動、マップづくり)	45	11.7%	29	8.2%	▽
国際交流に関する活動(ホストファミリー・留学生への通訳、ガイド援助、海外ボランティア協力など)	23	6.0%	15	4.2%	▽
災害時の救援に関する活動(住民の安否確認、高齢者・障がい者の世話、炊き出し・救援物資の配布など)	50	13.0%	38	10.8%	▽
地域行事のお手伝い(運動会、祭り、文化祭など地域のイベントのお手伝い)	118	30.6%	182	51.6%	▲
その他	36	9.4%	19	5.4%	▽
	(n=385)		(n=353)		

問11で「3 経験はない」とした者のみ

問11-③ ボランティア活動に参加されない理由は何ですか。

複数回答

▷「自分のことだけで精一杯」、「自分の健康に自信がない」、「仕事や家事が忙しく参加する余裕はない」、「その他」で割合が上昇した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
自分のことだけで精一杯	230	31.5%	222	35.6%	▲
自分の健康に自信がない	165	22.6%	150	24.0%	▲
活動したいとは思っているが、きっかけやチャンスがない	157	21.5%	133	21.3%	▽
仕事や家事が忙しく参加する余裕はない	305	41.8%	276	44.2%	▲
一人で参加しにくい	94	12.9%	70	11.2%	▽
自分のやりたい活動がない	18	2.5%	9	1.4%	▽
まわりに活動している人がいない	102	14.0%	57	9.1%	▽
身近に活動できる場所やグループがない(知らない)	99	13.6%	71	11.4%	▽
どこに相談して良いか分からない ※H30新設	--	--	28	4.5%	×
人と接するのが好きではない	49	6.7%	38	6.1%	▽
活動に費用がかかりそう	19	2.6%	15	2.4%	▽
一度始めると拘束されて、やめられなくなりそう	67	9.2%	50	8.0%	▽
ボランティア活動にあまり興味や関心がない	49	6.7%	37	5.9%	▽
特に理由はない	132	18.1%	94	15.1%	▽
その他	17	2.3%	19	3.0%	▲
	(n=730)		(n=624)		

問12 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。

複数回答

▷「わからない」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(14.1ポイント)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
気軽に参加できる体制を整備する	677	56.3%	511	52.9%	▽
ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助する	239	19.9%	243	25.2%	▲
企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする	165	13.7%	169	17.5%	▲
ボランティア意識啓発活動を充実させる	146	12.1%	120	12.4%	▲
学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う	254	21.1%	200	20.7%	▽
地域での子どものボランティア活動を活発に行う	124	10.3%	95	9.8%	▽
ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する	128	10.6%	146	15.1%	▲
ボランティア研修を開催し、人材を育成する	159	13.2%	121	12.5%	▽
ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う	340	28.3%	259	26.8%	▽
わからない	19	1.6%	151	15.6%	▲
その他	162	13.5%	25	2.6%	▽
	(n=1,202)		(n=966)		

4.「高齢者福祉」についてお聞きます

問13 あなたは、ご自身の「高齢期」を主にどのように過ごしたいと考えますか。

単数回答

▷【何らかのかたちで就労を継続したい】とする割合が上昇した。(2.4ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
経済的に自立するために、現役同様働きたい	166	14.3%	140	14.1%	▽
収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい	248	21.4%	239	24.0%	▲
趣味や余暇を楽しみたい	467	40.4%	368	36.9%	▽
知識や教養を高め自分自身の教養の向上に努めたい	42	3.6%	37	3.7%	▲
地域に貢献できるようなボランティア活動をしたい	51	4.4%	47	4.7%	▲
特に何もしないでのんびりと過ごしたい	83	7.2%	90	9.0%	▲
わからない	22	1.9%	63	6.3%	▲
その他	78	6.7%	12	1.2%	▽
合計	1,157	100.0%	996	100.0%	
	(n=1,157)		(n=996)		

問14 高齢者が地域で生活する上で、特に大切だと思うことは何ですか。

複数回答

▷「交通手段の確保」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(7.5ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
心と体の健康	744	61.9%	659	64.4%	▲
生きがい	419	34.9%	348	34.0%	▽
介護等の福祉サービス	310	25.8%	276	27.0%	▲
相談窓口の充実	74	6.2%	60	5.9%	▽
家族の協力	356	29.6%	304	29.7%	▲
仕事の確保	46	3.8%	63	6.2%	▲
地域住民の協力や理解	168	14.0%	116	11.3%	▽
友人、仲間	389	32.4%	273	26.7%	▽
経済的援助	187	15.6%	137	13.4%	▽
医療機関	281	23.4%	270	26.4%	▲
交通手段の確保	236	19.6%	277	27.1%	▲
店や商店	65	5.4%	60	5.9%	▲
わからない	14	1.2%	9	0.9%	▽
その他	4	0.3%	3	0.3%	▽
	(n=1,202)		(n=1,023)		

問15 次の項目の中で、高齢者が地域の中で安心して暮らせるように、地域でできることは何だと思いますか。

複数回答

▷「買い物や病院などの外出などの付き添い・送迎」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(12.2ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
日常的なあいさつ	738	61.4%	576	56.5%	▽
見守り、声かけ、話し相手	937	78.0%	795	78.0%	▲
相談ごとの相手	374	31.1%	306	30.0%	▽
買い物や病院などの外出などの付き添い・送迎	305	25.4%	383	37.6%	▲
掃除、庭の草刈などの簡単な手伝い	328	27.3%	298	29.2%	▲
ゴミの分別・ゴミだし ※H30新設	--	--	262	25.7%	×
高齢者が集う場所(サロン)での手伝い	262	21.8%	240	23.6%	▲
わからない	98	8.2%	35	3.4%	▽
その他	9	0.7%	10	1.0%	▲
	(n=1,202)		(n=1,019)		

問16
単数回答

あなたのお住まいの地域における一人暮らし高齢者や認知症の方など、援護を要する世帯への安否確認や見守り活動の状況について、どう感じますか。

▷【行われている】とする割合が低下し、【行われていない】及び【わからない】がともに上昇した。

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
十分に行われていると思う	54	4.6%	44	4.3%	▽
どちらかといえば行われていると思う	308	26.4%	269	26.3%	▽
どちらかといえば不十分だと思う	281	24.1%	242	23.7%	▽
ほとんど行われていないと思う	113	9.7%	105	10.3%	▲
わからない	411	35.2%	361	35.4%	▲
合計	1,167	100.0%	1,021	100.0%	

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
【行われている】	362	31.0%	313	30.7%	▽
【行われていない】	394	33.8%	347	34.0%	▲
わからない	411	35.2%	361	35.4%	▲
合計	1,167	100.0%	1,021	100.0%	
	(n=1,167)		(n=1,021)		

5. 「児童福祉」についてお聞きます

問17 子育てのしやすさのために、大切だと思うことは何ですか。

複数回答

▽「緊急時の託児」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(4.6ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
遊び場の確保	332	27.6%	239	24.0%	▽
緊急時の託児	297	24.7%	292	29.3%	▲
経済的支援	263	21.9%	236	23.7%	▲
放課後の児童支援	249	20.7%	240	24.1%	▲
保育所の充実	287	23.9%	203	20.4%	▽
育児に対する地域の理解	141	11.7%	156	15.7%	▲
育児をする親の交流の場の確保	151	12.6%	106	10.7%	▽
ひとり親への支援	192	16.0%	179	18.0%	▲
男性の育児協力	139	11.6%	125	12.6%	▲
小児医療機関の充実	372	30.9%	304	30.6%	▽
企業や職場の理解支援	344	28.6%	294	29.5%	▲
わからない	87	7.2%	94	9.4%	▲
その他	10	0.8%	15	1.5%	▲
	(n=1,202)		(n=995)		

問18から問21までは、現在子育て中（高校生まで）の保護者のみ

問18 あなたは、子育ての悩みや相談を誰(どこ)に相談しますか。

複数回答

▽「市役所などの相談窓口」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(4.0ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
家族、親戚	235	81.3%	194	84.3%	▲
友人、知人、近所の人	193	66.8%	150	65.2%	▽
保育士・幼稚園の先生・学校の先生	100	34.6%	86	37.4%	▲
市役所などの相談窓口	16	5.5%	22	9.6%	▲
社会福祉協議会	7	2.4%	8	3.5%	▲
民生委員・児童委員	7	2.4%	5	2.2%	▽
児童相談所	11	3.8%	8	3.5%	▽
病院	26	9.0%	26	11.3%	▲
子育てサロンなど交流の場	13	4.5%	16	7.0%	▲
相談できる人がいない	6	2.1%	9	3.9%	▲
わからない	15	5.2%	11	4.8%	▽
その他	6	2.1%	3	1.3%	▽
	(n=289)		(n=230)		

問19 子どもを通じて保護者同士や近隣の方と付き合いがありますか。

単数回答

▽【付き合いがある】とする割合は6.1ポイント低下し、【付き合いがない】は6.7ポイント上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
密接な付き合いがある	34	12.1%	32	13.1%	▲
通常の付き合いがある	189	67.0%	146	59.8%	▽
ほとんど付き合いがない	35	12.4%	43	17.6%	▲
付き合いはない	20	7.1%	21	8.6%	▲
その他	4	1.4%	2	0.8%	▽
合計	282	100.0%	244	100.0%	
	(n=282)		(n=244)		

問20
単数回答

あなたが子育てをしていてどんなことが一番の悩みですか。

▷「子育てで配偶者との意見が合わない」、「仕事や自分のことが十分にできない」を除くすべての選択肢で割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
子どもとの時間が十分でない	77	28.4%	64	29.0%	▲
子どもの接し方に自信が持てない	28	10.3%	29	13.1%	▲
子育てで配偶者との意見が合わない	22	8.1%	9	4.1%	▽
仕事や自分のことが十分にできない	38	14.0%	25	11.3%	▽
子育てについて周りの目が気になる	6	2.2%	7	3.2%	▲
悩みはない	72	26.6%	63	28.5%	▲
その他	28	10.3%	24	10.9%	▲
合計	271	100.0%	221	100.0%	
	(n=271)		(n=221)		

問21
複数回答

子どもたちに対する福祉教育(思いやりや福祉への理解と参加の心を育てる教育)への取り組みについて、どのようにお考えですか。

▷「学校教育の中で学ぶ」、「地域の活動などを通じて学ぶ」、「特に必要ない」で割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
学校教育の中で学ぶ	153	53.1%	137	56.4%	▲
家庭の中で親から学ぶ	163	56.6%	122	50.2%	▽
地域の活動などを通じて学ぶ	107	37.2%	98	40.3%	▲
生活していく中で自然と身につく	81	28.1%	57	23.5%	▽
テレビやインターネットなどを通じて学ぶ	12	4.2%	9	3.7%	▽
特に必要ない	5	1.7%	8	3.3%	▲
その他	5	1.7%	3	1.2%	▽
	(n=288)		(n=243)		

6.「障がい者福祉」についてお聞きます

問22 あなたは、普段の生活の中で、障がいのある方と関わりがありますか。

複数回答

▷「家族や親戚としての関わり」、「ボランティア活動での関わり」を除く選択肢で割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
家族や親戚としての関わり	331	27.5%	266	26.8%	▽
ボランティア活動での関わり	119	9.9%	75	7.6%	▽
近所での関わり	137	11.4%	151	15.2%	▲
ほとんど関わりはない	31	2.6%	30	3.0%	▲
職場での関わり	590	49.1%	548	55.2%	▲
その他	21	1.7%	23	2.3%	▲
	(n=1,202)		(n=993)		

問23 障がいのある方が地域で生活する上で、あなたが大切だと思うことは何ですか。

複数回答

▷「相談窓口の充実」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(4.8ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
心と体の健康	339	28.2%	303	29.9%	▲
生きがい	268	22.3%	241	23.8%	▲
介護等福祉サービス	450	37.4%	382	37.7%	▲
相談窓口の充実	122	10.1%	151	14.9%	▲
家族の協力	454	37.8%	331	32.7%	▽
仕事の確保	210	17.5%	173	17.1%	▽
地域住民の協力理解	342	28.5%	299	29.5%	▲
バリアフリー化	242	20.1%	197	19.5%	▽
経済的援助	227	18.9%	202	20.0%	▲
医療機関	184	15.3%	152	15.0%	▽
交通手段の確保	216	18.0%	208	20.6%	▲
店や商店	39	3.2%	27	2.7%	▽
わからない	50	4.2%	45	4.4%	▲
その他	8	0.7%	3	0.3%	▽
	(n=1,202)		(n=1,012)		

問24 次の項目の中で、障がいのある方が地域の中で安心して暮らせるように、地域でできることは何だと思いませんか。

複数回答

▷「日常的なあいさつ」、「その他」、H30新設の選択肢「わからない」を除く選択肢で割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
日常的なあいさつ	592	49.3%	499	49.1%	▽
見守り、声かけ、話し相手	836	69.6%	720	70.8%	▲
相談ごとの相手	395	32.9%	359	35.3%	▲
買い物や病院などの外出などの付き添い・送迎	340	28.3%	367	36.1%	▲
掃除、庭の草刈などの簡単な手伝い	313	26.0%	275	27.0%	▲
ゴミの分別・ゴミだし	244	20.3%	249	24.5%	▲
障がいのある方が集う場所(サロン)での手伝い	105	8.7%	247	24.3%	▲
わからない ※H30新設	—	—	94	9.2%	×
その他	20	1.7%	13	1.3%	▽
	(n=1,202)		(n=1,017)		

7. 災害時の備えについてお聞きします

問25 災害発生時に備え、日ごろから非常持ち出し用品等の準備ができていますか。

単数回答

▷「できている」とする割合が上昇し、「できていない」が低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
できている	166	14.2%	158	15.5%	▲
できていない	1,005	85.8%	863	84.5%	▽
合計	1,171	100.0%	1,021	100.0%	
	(n=1,171)		(n=1,021)		

問26 災害発生時の避難場所について、どこに避難するかご存知ですか。

単数回答

▷「知っている」とする割合が上昇し、「わからない」が低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
知っている	767	65.8%	681	67.1%	▲
わからない	398	34.2%	334	32.9%	▽
合計	1,165	100.0%	1,015	100.0%	
	(n=1,165)		(n=1,015)		

問27 災害発生時に、緊急性を判断し、避難場所まで一人で避難することができますか。

単数回答

▷「避難できる」とする割合が低下し、「判断できるが、一人では避難できない」及び「判断できず、避難できない」がともに上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
避難できる	960	83.6%	839	83.0%	▽
判断できるが、一人では避難できない	140	12.2%	127	12.6%	▲
判断できず、避難できない	49	4.3%	45	4.5%	▲
合計	1,149	100.0%	1,011	100.0%	
	(n=1,149)		(n=1,011)		

問27で「2 判断できるが、一人では避難できない」又は「3 判断できず、避難できない」とした者のみ

問27-① 災害発生時に避難するとき、近くに手助けを頼める人がいますか。

単数回答

▷「いる」とする割合が低下し、「いない」が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
いる	120	64.9%	101	60.5%	▽
いない	65	35.1%	66	39.5%	▲
合計	185	100.0%	167	100.0%	
	(n=185)		(n=167)		

問28 災害発生時の備えとして、あなたが行政の役割として期待することは何ですか。

複数回答

▷「防災情報の収集と地域への情報提供」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(7.7ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
地域の支え合い、助け合い体制づくりのための支援	455	37.9%	344	34.8%	▽
防災情報の収集と地域への情報提供	733	61.0%	679	68.7%	▲
災害時要援護者の把握	246	20.5%	233	23.6%	▲
防災に関する学習会の開催	78	6.5%	71	7.2%	▲
ボランティアの育成支援	40	3.3%	43	4.3%	▲
災害支援物資の備蓄	493	41.0%	403	40.7%	▽
特に期待することはない	26	2.2%	30	3.0%	▲
その他	9	0.7%	10	1.0%	▲
	(n=1,202)		(n=989)		

8.生活困窮者対策についてお聞きます

問29 あなたは平成27年4月1日に施行した「生活困窮者自立支援法」をご存知ですか。

単数回答

▷「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」とする割合が最も高い。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
言葉も内容もよく知っている	--	--	104	10.3%
言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	--	--	559	55.1%
言葉も内容もよく知らない	--	--	351	34.6%
合計	--	--	1,014	100.0%

(n=1,014)

問30 志布志市では、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、志布志市社会福祉協議会に委託するかたちで「しづし生活自立支援センター」を運営しています。あなたは、「しづし生活自立支援センター」をご存じでしたか。

単数回答

▷「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」とする割合が最も高い。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
名前も内容もよく知っている	--	--	85	8.4%
名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	--	--	470	46.7%
名前も内容もよく知らない	--	--	452	44.9%
合計	--	--	1,007	100.0%

(n=1,007)

問31 生活困窮者に対する支援として、生活困窮者自立支援法には以下の様な事業がありますが、あなたの周りにこれらの事業が必要だと思う人はいますか。

複数回答

▷「わからない」とする割合が最も高い。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
支援の計画をつくり、関係機関との調整などを行う(自立相談支援事業)	--	--	172	17.7%
離職により住まいを失うか、失うおそれの高い人に家賃の支援を行う(住居確保給付金)	--	--	106	10.9%
就労に必要な訓練を段階的に行う(就労準備支援事業)	--	--	183	18.8%
家計に関する相談や家計管理の指導、貸付けのあっせん等を行う(家計相談支援事業)	--	--	105	10.8%
生活困窮家庭の子どもに対する学習支援を行う(学習支援事業)	--	--	183	18.8%
必要だと思う人はいない	--	--	289	29.7%
わからない	--	--	355	36.4%
その他	--	--	8	0.8%

(n=974)

9. 志布志市の福祉行政についてお聞きします

問32 あなたは福祉や健康に関する情報をどこから得ていますか。

複数回答

▽「インターネット」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(7.4ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
市報しぶし	826	68.7%	670	66.1%	▽
市のパンフレット	301	25.0%	211	20.8%	▽
社協だより(市社会福祉協議会発行)	409	34.0%	305	30.1%	▽
行政の告知放送	377	31.4%	221	21.8%	▽
市役所	138	11.5%	107	10.6%	▽
病院や施設	167	13.9%	181	17.9%	▲
民生委員・児童委員	58	4.8%	50	4.9%	▲
家族や友人・知人	315	26.2%	248	24.5%	▽
隣近所の人	159	13.2%	86	8.5%	▽
新聞	294	24.5%	218	21.5%	▽
テレビやラジオ	415	34.5%	332	32.8%	▽
書籍や雑誌	103	8.6%	72	7.1%	▽
インターネット	103	8.6%	162	16.0%	▲
その他	10	0.8%	4	0.4%	▽
特に得ていない	118	9.8%	82	8.1%	▽
	(n=1,202)		(n=1,013)		

問33 あなたは、福祉や健康についてどんな情報を知りたいとお考えですか。

複数回答

▽「健康づくりに関するサービスの情報」・「高齢者や障がい者が生活しやすい住宅や福祉機器に関する情報」・「特にない」を除く選択肢で割合が低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
健康づくりに関するサービスの情報	401	33.4%	348	35.0%	▲
子育てに関するサービスの情報	185	15.4%	136	13.7%	▽
高齢者や障がい者・障がい児に関するサービスの情報	395	32.9%	256	25.8%	▽
福祉や健康に関するサービス利用方法についての情報	484	40.3%	371	37.4%	▽
介護保険に関する情報	259	21.5%	201	20.2%	▽
介護保険や福祉のサービス提供事業者のサービス内容に関する情報	316	26.3%	257	25.9%	▽
ボランティア活動やNPOなどの市民活動に関する情報	73	6.1%	58	5.8%	▽
健康づくりや生きがいづくりについての学習機会(講座や教室)に関する情報	187	15.6%	152	15.3%	▽
高齢者や障がい者が生活しやすい住宅や福祉機器に関する情報	203	16.9%	174	17.5%	▲
その他	12	1.0%	8	0.8%	▽
特にない	107	8.9%	130	13.1%	▲
	(n=1,202)		(n=993)		

問34 地域福祉を充実させていく上で、住民と行政との関係について、どのようにお考えですか。

単数回答

▽「行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである」・「わからない」を除く選択肢で割合が低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助するべきである	295	25.5%	238	23.9%	▽
福祉の充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである	557	48.1%	448	45.0%	▽
行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである	177	15.3%	167	16.8%	▲
福祉を充実させる責任は行政にあり、住民はそれほど協力することはない	36	3.1%	18	1.8%	▽
わからない	5	0.4%	113	11.3%	▲
その他	89	7.7%	12	1.2%	▽
合計	1,159	100.0%	996	100.0%	
	(n=1,159)		(n=996)		

問35
複数回答

今後、安心して暮らせるまちづくりに向けて、市の福祉施策として、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものに○を付けてください。

※H30新設の選択肢を除くと、「身近なところでの相談窓口の充実」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(2.7ポイント)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
ボランティアなどの参加の促進や支援	83	6.9%	66	6.6%	▽
住民がともに支え合う仕組みづくりへの支援(住民同士や行政との協力・連絡など、助け合う組織)	479	39.9%	379	37.7%	▽
子ども・障がい者・高齢者すべての人が交流できるコミュニティの場づくり ※H30新設	--	--	154	15.3%	×
身近なところでの相談窓口の充実	324	27.0%	298	29.7%	▲
高齢や障がいがあっても、在宅生活が続けられるサービスの充実	476	39.6%	321	31.9%	▽
保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実	163	13.6%	157	15.6%	▲
健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実	135	11.2%	100	10.0%	▽
健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	272	22.6%	204	20.3%	▽
サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情処理などの取り組み	44	3.7%	38	3.8%	▲
福祉教育の充実	50	4.2%	50	5.0%	▲
高齢者、障がい者の入所施設の整備	396	32.9%	299	29.8%	▽
保育サービスや児童福祉施設の充実	144	12.0%	110	10.9%	▽
障がい児やその家族に対する支援 ※H30新設	--	--	64	6.4%	×
低所得者の自立支援	214	17.8%	137	13.6%	▽
わからない	53	4.4%	68	6.8%	▲
その他	14	1.2%	7	0.7%	▽
		(n=1,202)			(n=1,005)

問36
単数回答

以下は、前回(平成26年度)の計画策定時に設定した計画の取り組みの柱です。これら内容について、おおむね5年前と比べてどう変化したと思いますか。

①本市の福祉施策全般について

▷「わからない」、「あまり変わらない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	--	--	56	5.9%
少し良くなった	--	--	186	19.5%
あまり変わらない	--	--	304	31.9%
少し悪くなった	--	--	7	0.7%
悪くなった	--	--	6	0.6%
わからない	--	--	395	41.4%
合計	--	--	954	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	--	--	242	25.4%
あまり変わらない	--	--	304	31.9%
【悪くなった】	--	--	13	1.4%
わからない	--	--	395	41.4%
合計	--	--	954	100.0%

(n=954)

②わかりやすい情報を発信します

▷「わからない」、「あまり変わらない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	--	--	63	6.7%
少し良くなった	--	--	221	23.3%
あまり変わらない	--	--	320	33.8%
少し悪くなった	--	--	6	0.6%
悪くなった	--	--	7	0.7%
わからない	--	--	330	34.8%
合計	--	--	947	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	--	--	284	30.0%
あまり変わらない	--	--	320	33.8%
【悪くなった】	--	--	13	1.4%
わからない	--	--	330	34.8%
合計	--	--	947	100.0%

(n=947)

③気軽に相談できる体制をつくります

▷「わからない」、「あまり変わらない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	--	--	50	5.3%
少し良くなった	--	--	185	19.5%
あまり変わらない	--	--	323	34.1%
少し悪くなった	--	--	13	1.4%
悪くなった	--	--	8	0.8%
わからない	--	--	369	38.9%
合計	--	--	948	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	--	--	235	24.8%
あまり変わらない	--	--	323	34.1%
【悪くなった】	--	--	21	2.2%
わからない	--	--	369	38.9%
合計	--	--	948	100.0%

(n=948)

④福祉サービスの充実を図ります

▷「わからない」、「あまり変わらない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	---	---	50	5.3%
少し良くなった	---	---	187	19.7%
あまり変わらない	---	---	325	34.3%
少し悪くなった	---	---	16	1.7%
悪くなった	---	---	10	1.1%
わからない	---	---	360	38.0%
合計	---	---	948	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	---	---	237	25.0%
あまり変わらない	---	---	325	34.3%
【悪くなった】	---	---	26	2.7%
わからない	---	---	360	38.0%
合計	---	---	948	100.0%

(n=948)

⑤災害に備えた支援活動を充実します

▷「わからない」、「あまり変わらない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	---	---	37	3.9%
少し良くなった	---	---	182	19.3%
あまり変わらない	---	---	351	37.2%
少し悪くなった	---	---	7	0.7%
悪くなった	---	---	9	1.0%
わからない	---	---	358	37.9%
合計	---	---	944	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	---	---	219	23.2%
あまり変わらない	---	---	351	37.2%
【悪くなった】	---	---	16	1.7%
わからない	---	---	358	37.9%
合計	---	---	944	100.0%

(n=944)

⑥交通安全と防犯活動を推進します

▷「あまり変わらない」、「わからない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	---	---	53	5.6%
少し良くなった	---	---	196	20.9%
あまり変わらない	---	---	374	39.8%
少し悪くなった	---	---	12	1.3%
悪くなった	---	---	7	0.7%
わからない	---	---	298	31.7%
合計	---	---	940	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	---	---	249	26.5%
あまり変わらない	---	---	374	39.8%
【悪くなった】	---	---	19	2.0%
わからない	---	---	298	31.7%
合計	---	---	940	100.0%

(n=940)

⑦交流やつながりを大切にします

▷「あまり変わらない」、「わからない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	---	---	42	4.4%
少し良くなった	---	---	176	18.6%
あまり変わらない	---	---	367	38.9%
少し悪くなった	---	---	12	1.3%
悪くなった	---	---	11	1.2%
わからない	---	---	336	35.6%
合計	---	---	944	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	---	---	218	23.1%
あまり変わらない	---	---	367	38.9%
【悪くなった】	---	---	23	2.4%
わからない	---	---	336	35.6%
合計	---	---	944	100.0%

(n=944)

⑧誰でも参加できる学びの場をつくります

▷「あまり変わらない」、「わからない」、「良くなった」、「悪くなった」の順となっている。

※H30新設設問	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
良くなった	---	---	39	4.1%
少し良くなった	---	---	151	16.0%
あまり変わらない	---	---	359	37.9%
少し悪くなった	---	---	11	1.2%
悪くなった	---	---	9	1.0%
わからない	---	---	377	39.9%
合計	---	---	946	100.0%

↳ (再掲)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
【良くなった】	---	---	190	20.1%
あまり変わらない	---	---	359	37.9%
【悪くなった】	---	---	20	2.1%
わからない	---	---	377	39.9%
合計	---	---	946	100.0%

(n=946)

10. 志布志市社会福祉協議会の活動についてお聞きます

問37 あなたは志布志市社会福祉協議会をご存知ですか。

単数回答

▽「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」以外の選択肢で割合が上昇した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
名前も活動内容も知っている	349	31.0%	347	35.7%	▲
名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない	669	59.5%	532	54.7%	▽
名前も活動内容も知らない	107	9.5%	94	9.7%	▲
合計	1,125	100.0%	973	100.0%	
	(n=1,125)		(n=973)		

問37で「1 名前も活動内容も知っている」とした者のみ

問37-① あなたは、志布志市社会福祉協議会についてどう思われますか。

単数回答

▽【活動している】とする割合が0.4ポイント低下し、【活動していない】が1.2ポイント上昇した。

		(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
		回答数	割合	回答数	割合	
よく活動している	活動している	161	46.7%	166	48.4%	▲
ある程度は活動している		140	40.6%	132	38.5%	▽
あまり活動していない	活動していない	11	3.2%	16	4.7%	▲
まったく活動していない		7	2.0%	6	1.7%	▽
わからない		22	6.4%	23	6.7%	▲
その他		4	1.2%	0	0.0%	▽
合計		345	100.0%	343	100.0%	
		(n=345)		(n=343)		

問38 住民の皆様から、一般会員として年1回会費を志布志市社会福祉協議会へ納めていただいていることをご存知ですか。

単数回答

▽「知っている」とする割合が7.7ポイント上昇し、「知らない」が7.7ポイント低下した。

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
知っている	471	41.8%	476	49.5%	▲
知らない	655	58.2%	485	50.5%	▽
合計	1,126	100.0%	961	100.0%	
	(n=1,126)		(n=961)		

問38で「1 知っている」とした者のみ

問38-① あなたは、納めていただいた会費や寄付金がどのように活用されることを期待しますか。

複数回答

▽「福祉啓発事業(講演会等)の充実」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(2.8ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
高齢者福祉の充実	349	74.1%	342	72.6%	▽
障がい者・障がい児福祉の充実	224	47.6%	236	50.1%	▲
児童福祉(子育て)の充実	192	40.8%	194	41.2%	▲
ボランティア活動の推進	76	16.1%	83	17.6%	▲
福祉啓発事業(講演会等)の充実	28	5.9%	41	8.7%	▲
地域福祉活動の地区への還元	139	29.5%	150	31.8%	▲
志布志市社会福祉協議会に関する情報提供の充実	81	17.2%	72	15.3%	▽
その他	10	2.1%	6	1.3%	▽
	(n=471)		(n=471)		

問39
複数回答

志布志市社会福祉協議会では、下記の活動を行っています。あなたは各活動をご存知ですか。

※H30新設の選択肢を除き、「子育てサロン」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(25.9ポイント)

	(H24) 前回調査		(H30) 今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
◆心配ごと相談所の設置	484	40.3%	509	55.9%	▲
★生活困窮者自立支援事業(しぶし生活自立支援センター) ※H30新設	—	—	261	28.6%	×
★近隣福祉ネットワーク事業(高齢者などへの声かけ、安否確認)	205	17.1%	184	20.2%	▲
一人暮らし高齢者の集い支援	254	21.1%	225	24.7%	▲
高齢者ふれあいサロン(つどい)	338	28.1%	438	48.1%	▲
子育てサロン	240	20.0%	418	45.9%	▲
◆ボランティアセンター(ボランティア相談)	165	13.7%	167	18.3%	▲
志の福祉・ボランティア大会	329	27.4%	187	20.5%	▽
各種ボランティア育成講座	121	10.1%	113	12.4%	▲
災害ボランティアセンター ※H30新設	—	—	82	9.0%	×
ボランティア協力校の指定	55	4.6%	70	7.7%	▲
ボランティアポイント事業(児童・生徒) ※H30新設	—	—	136	14.9%	×
ボランティアグループ活動助成	91	7.6%	83	9.1%	▲
住民参加型在宅福祉サービス(おやっサービス) ※H30新設	—	—	98	10.8%	×
★認知症サポーター養成講座 ※H30新設	—	—	155	17.0%	×
★認知症徘徊模擬訓練 ※H30新設	—	—	57	6.3%	×
生活福祉資金貸付	105	8.7%	106	11.6%	▲
法外援助資金(小口資金)貸付	42	3.5%	44	4.8%	▲
◆金婚式の開催	539	44.8%	451	49.5%	▲
歳末年越しそば・弁当の宅配	312	26.0%	343	37.7%	▲
福祉作文、絵画コンクール	313	26.0%	289	31.7%	▲
福祉体験学習事業(福祉出前講座)	81	6.7%	88	9.7%	▲
日本赤十字社事業の推進	424	35.3%	420	46.1%	▲
「赤い羽根」共同募金運動	794	66.1%	776	85.2%	▲
災害見舞金、救援物資の配布	323	26.9%	313	34.4%	▲
共同募金チャリティゴルフ大会	136	11.3%	199	21.8%	▲
敬老訪問の実施	390	32.4%	358	39.3%	▲
★寝具洗濯乾燥消毒サービス	127	10.6%	113	12.4%	▲
★介護者交流会	96	8.0%	82	9.0%	▲
福祉機器(寝台・車椅子等)貸付	338	28.1%	299	32.8%	▲
★外出支援移送サービス事業	105	8.7%	105	11.5%	▲
福祉サービス利用支援事業(金銭管理サービス)	81	6.7%	85	9.3%	▲
★宅配給食サービス事業	492	40.9%	435	47.7%	▲
ささえあい事業(介護保険外サービス)	127	10.6%	159	17.5%	▲
朗読ボランティアの支援(広報紙音声録音配布)	65	5.4%	113	12.4%	▲
障がい者戸外一日ふれあい遠足	75	6.2%	73	8.0%	▲
居宅介護支援(ケアプラン作成)	226	18.8%	240	26.3%	▲
訪問介護(ホームヘルパー派遣)	478	39.8%	429	47.1%	▲
訪問入浴介護	426	35.4%	392	43.0%	▲
通所介護(デイサービス)	383	31.9%	376	41.3%	▲
障害者特定相談支援事業(障がい者のプラン作成) ※H30新設	—	—	92	10.1%	×
身体障害者ホームヘルプサービス	152	12.6%	108	11.9%	▽
社協だより「ささえあい」	538	44.8%	566	62.1%	▲
社協ホームページ	103	8.6%	163	17.9%	▲
		(n=1,202)			(n=911)

★…市の委託事業、◆…市の補助事業

上表は、H30調査における調査項目であり、H24調査時に設定されていない事業は「※H30新設」と記載している。

問40
複数回答

志布志市社会福祉協議会が住民に対して行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。

▷H30新設の選択肢を除き、「介護サービスの提供体制・サービスの充実」とする割合の上昇幅が最も大きくなった。(4.1ポイント)

	(H24)前回調査		(H30)今回調査		(%比較)
	回答数	割合	回答数	割合	
ボランティア活動への参加促進と支援	155	12.9%	115	12.1%	▽
住民による身近なささえあい活動(地域福祉活動)への支援	298	24.8%	256	26.9%	▲
誰もが安心して在宅で生活するための支援	730	60.7%	542	57.1%	▽
介護サービスの提供体制・サービスの充実	383	31.9%	342	36.0%	▲
身近なところで福祉の相談ができる窓口	367	30.5%	309	32.5%	▲
児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の推進	146	12.1%	127	13.4%	▲
福祉サービスに関する情報発信(インターネット等を含む)	97	8.1%	108	11.4%	▲
子育てに関する支援	212	17.6%	172	18.1%	▲
障がい児やその家族に対する支援 ※H30新設	--	--	119	12.5%	×
援助を必要とする方々やそれらの団体への支援	278	23.1%	201	21.2%	▽
その他	26	2.2%	11	1.2%	▽
	(n=1,202)		(n=950)		

問41
自由記述

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるためにご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

▷自由記述項目のため後述

自由記述

問41
自由記述

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるためにご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

(1) 防災・防犯、見守り・声かけ等について

No.	性別	年代	地区	内容
1	男性	30歳代	04.香月	いくら車社会(生活)とはいえ、学生さんやお年寄りの方々が使ったりするので歩道の整備(草やコケの除去など)徹底してほしい。子供達が通学するために明るくきれいな歩道を作って見通し、人通りもよくしてもらいたい。それも1つの防犯対策だと思います。
2	男性	30歳代	04.香月	通学路の歩道の整備の充実。防犯対策(学校メールで不審者情報が多い)。住宅地周辺の市道等見通しが悪い所のミラーがない！！
3	男性	30歳代	15.伊崎田	過疎化が進み一人暮らしが多くなっていく中で、孤独死をなくすよう、行政・地域の声かけなど誰もが楽しんで声かけできるようにしてほしいです。
4	男性	40歳代	04.香月	防犯カメラの設置が必要だと思います。何かあってからでは遅いですし、抑止力の向上にもつながると思います。警察などへの映像提供、利用について、しっかりとしたルール作りさえすれば問題ないと思います。
5	男性	50歳代	05.安楽	今はいつ、どこで災害が発生するかわからない状況であると考えます。災害に対する強い志布志市であればと思います。
6	女性	50歳代	21.山重	高齢者の方々(特に一人暮らしの方)の安否確認を、毎日、市の方で知ることが出来るシステムが出来れば良いと常日頃から思っております。
7	女性	60歳代	02.泰野	私の所は災害もおきない。山崩れ・川の氾濫とか本当に無縁の所です。福祉などもちゃんと整っている地域です。とてもありがたいと思っています。
8	女性	60歳代	05.安楽	夜の仕事をしていますが、町中は外灯が明々としているのですが山林へ通る道は暗くて本当に怖いです。山林の奥にも人家があり、真夜中でも人が歩いていることもあるのでビックリすることがあります。災害でもあったら大変だろうなと思うことがあります。
9	男性	60歳代	06.東区	自治会加入の促進・行事参加奨励。防犯灯の増設。警察だけでなく地域を知る住民のパトロール(空家等)
10	男性	60歳代	07.志布志区	自然災害大国日本ですので志布志市もどこでどの様な災害を受けるのか想定外も考えられます。数カ所に住民の避難施設及び用地を確保しておくことがこれから必要不可欠です。避難施設は廃校になった建物、不要になった建物の再利用、用地は避難場所用と仮設建物を早急に建てられるようにしておけば良いかと思います。公売になる物件の検討も大事かと思います。
11	女性	60歳代	07.志布志区	川沿いに住んでいる者ですがデンプン工場跡の堤防が無いので大雨が降った時川の氾濫に恐れております。数年前は道路に水が溢れたことがあります。川の様子も定期的にとって欲しいと思います。災害が発生してからでは遅いので早急の検討を希望致します。
12	男性	60歳代	08.帖五区	空き家対策
13	男性	60歳代	15.伊崎田	地域の周辺道路外灯が少なく夜間運転が危険に感じる。国道・市道と歩道との夜間走行用反射板がない為夜間は危険に感じる。歩道の状態が部分的に良くないため子供達の自転車が走りにくそうである。
14	男性	70歳代	04.香月	香月区は津波がきたときや逃げる道路がありません。通山は続けてつくっている。香月もつくいやんせ。市長も代わったのに避難道路をつくいやんせ。通山の避難道路をみつくいやんせ。東日本からもてがったじな。志布志市街地は人口もうけとに人もねど通山と志布志のとくらべてみてくいやい。

No.	性別	年代	地区	内容
15	男性	70歳代	06.東区	高齢者社会になっています。関係機関と協力しあって年数回巡回訪問等実施できないでしょうか。特に独居老人世帯です。いろいろ話や相談等あるものと思われます。
16	女性	70歳代	15.伊崎田	部落入り口に防犯カメラの設置をしてほしいです。
17	女性	70歳代	17.通山	集落が高齢化に成り、ひとり暮らしが増えている現状です。ますます見守りが必要となる状態を皆で協力していけるように話ができる事は大変喜ばしい限りです。

(2) 医療、健康、介護・高齢者、高齢期等について

No.	性別	年代	地区	内容
1	女性	30歳代	02.泰野	子供が夜間、体調を崩した時に緊急の小児科が無い為に鹿屋か都城まで行かなければならないが、シングルの為に兄妹を連れて遠い病院まで行くのはすごく迷う。学校行事なのでここに書いてもしかたないが、PTAが多過ぎて仕事をかなり休まないといけない。そのために有休がすぐに無くなってしまい、月収が減ってしまう。学校からの配布のプリントもかなり多い。メールで送って欲しい。ゴミも減らせるし、いつでも見れると思う。
2	女性	30歳代	04.香月	急な病気やケガに対する救急病院がないので子育て世代の方は不安だと思います。うちも小さな子どもがいるので夜間の高熱時など心配でした。休日の小児科の当番医もあまりなく、鹿屋まで行かないといけないので大変です。
3	男性	30歳代	05.安楽	子育てをしていると、突発的な病気や怪我をすることが多いので、小児科がほしい。加えて、志布志には産婦人科が無いので、出産時の行き来が大変だった。
4	女性	30歳代	07.志布志区	志布志に住んでみて、一番の悩みは、小児科の不足。医療面に対してすごく不十分。他県から越してきましたが、こんなにも医療が充実していない事に驚き、不安を感じています。子どもが病気になったら・・・大きな病気を大人がしたら・・・まして、自分達が老後をここでは安心して過ごせるとは思えません。交通手段も車がなければ、ほぼ生活に困ります。元気(健康)でいないと、志布志では暮らせないですね。
5	女性	30歳代	08.帖五区	介護に関してのネットワークが繋がっているのを感じます。今後も増える状況の中、安楽な老後を迎えられるよう、1介護職として携わっていきたいと思います。また、地域との繋がりがもっとあると、生きがいにつながるのかな。と感じております。
6	男性	30歳代	16.有明	医療体制の充実を望みます。産婦人科と夜間受付の病院に小児科がないのはとても困ります。安心して子育てが出来る町とは言えないと思います。本庁移転に使うお金があるなら医療の充実に使うべきです。
7	女性	30歳代	20.野神	子育てをしている上で一番困っている事は、医療機関が近くに少ない事です。小児科、整形となると、鹿屋市などに行く事が多いので困っています。近くにコインランドリーなどもなく、車で15分程かけて岩川などに出てみると、高齢者の方もすごく多いので、こころへんの方は雨天時や大きな洗たくがある時など家族の助けがないと大変だろうと思います。(洗たくだけではありませんが)
8	女性	40歳代	07.志布志区	産婦人科がなく、妊娠中、車で何十分かけて通院するのに不安があった。
9	女性	40歳代	02.泰野	住み慣れた地域に施設があっても周囲の目が気になり入所(デイの利用も)は控えたいと思う気持ちもある。親の介護が必要になったら、隣町あたりでの施設利用を検討したい。
10	女性	40歳代	04.香月	安心して暮らすためにも大きな病院を作してほしいです。もっと大きい変化のみられる事を行って欲しいです。

No.	性別	年代	地区	内容
11	男性	50歳代	04.香月	元気な高齢者もたくさんいることを市民にPRして欲しい。グラウンドゴルフやゲートボール人口を増やし、高齢者の健康促進、仲間づくり、外出促進につなげて欲しい。働きたい高齢者を雇用してくれる企業を増やして欲しい。
12	男性	50歳代	05.安楽	緊急医療体制の確立。現在は鹿屋か都城の病院へ搬送されている。特に脳外科、心筋梗塞対応可能な(特化した)病院の設置。市役所の移転より緊急病院が先!!理由は人口減少と高齢化。市の財政の悪化。健康で長く働く為に必要なものです。
13	女性	50歳代	05.安楽	医療機関の充実
14	女性	50歳代	05.安楽	高齢者のサポート支援やケアをする仕事をしています。少子高齢化が年々増えていく中、医療・福祉・障害の柵を越えて地域住民への働きかけは必須だと思います。障害者(特に高齢)に関しては、偏見や社会生活において受け入れや理解が乏しい印象で、在宅(独居)生活において厳しい現状です。地域住民誰もが情報共有でき、理解・協力できる町づくりを希望します。
15	女性	50歳代	06.東区	生涯自立した日常生活を送ることができる社会を築いていければと考えます。
16	女性	50歳代	09.夏井陣岳	誰もが安心して在宅で生活していける老後が送れるようにできたらいいですね。認知症や寝たきりを防ぐために手軽に相談出来る、そして参加できるように出来たらいいと思います。
17	女性	50歳代	16.有明	24時間の小児科が欲しいです。これから子育てで娘たちが不安を持っています。手当は充実していますが公園とか室内の遊べる場所とかほしいですね。
18	女性	50歳代	20.野神	今後子どもたちは身近に働く所が無いため遠くに行く子どもたちが多い。その為老老介護の生活をしている所が多い。市の特別養護老人ホーム、入所できる施設を作ってほしい。志布志市身近での働く所を作ってほしい。市の納骨堂を作ってほしい。理由として今後子供・孫・ひ孫の時代になると墓も見てくれる人がいなくなるから。
19	男性	60歳代	03.尾野見	不妊治療の時、通院時の治療費も補助が必要だと思います。(少子化対策のため)乳癌検診や子宮癌検診は40代から無料ですが、全ての人を無料にしてほしい。若い人は乳癌検診の自己負担が大きく、受診しない人が多いので。
20	女性	60歳代	06.東区	体が思うようにいかなくなると日常の基本的な生活がままならなくなると思います。食事・家事・移動への支援、“楽しい”と思えるいきがい作り、サロンへの声かけ・参加と孤立することがないようなシステム作りが重要かと。地域全体がそういった面で当たり前に感じられる地域作りを望みます。多くの住民が自分の事として関わりを持つことの大切さ、いずれは我が身ですからね。笑って楽しく介護サービスを。1人で悩まない体制作りを。
21	男性	60歳代	06.東区	行政だけに頼るのではなく、健康管理を含め自分でできることは自分ですることが望ましい。
22	男性	60歳代	07.志布志区	病院がない。整形外科、産婦人科等、他県に行く事が多い。
23	女性	60歳代	07.志布志区	年寄りが住みやすいようにして欲しい。医療費が高いし
24	女性	60歳代	15.伊崎田	健康に関してですが個人的に歩こう会とかトレッキング大会とか1人でも参加してみたいのですがどのように募集しているか知りません。ネットで欲しい情報にチェックを入れるとメールが送られてくるようにして欲しいです。スポーツにも関心があり、体力を付ける為にバドミントンやテニスを初めたいのですが、車を使用しないで徒歩か自転車で行ける場所で練習したいです。全ての小学校等の体育館や校庭を開放してほしいです。(出来れば指導者もいらいいです)これからは車の運転をせずつまませたいから。

No.	性別	年代	地区	内容
25	女性	60歳代	16.有明	在宅で一生を過ごしたいと思うのは皆一緒に・・・でもむずかしい事でもあるのですが、周りのサポートや家族の支え、福祉事業を活用し、一日でも家で過ごせたらいいなと思います。
26	女性	60歳代	20.野神	今現在、息子と2人で働いていますが、自分が動けなくなった時の事考えるとすごく不安です。息子は1人で1から10まで動かないといけないし、嫁はいないのでこれから先、息子の事(1人ではちょっとむずかしい農業)、自分の先の事、どうなるかと心配です。施設などもう少し簡単に年金でも入れるようになってほしい。そういう時代がこないかな。今は高すぎて高すぎて、とても可哀想・・・。
27	男性	70歳代	02.泰野	健康は自分のもの
28	女性	70歳代	06.東区	高齢者の楽しい場所、誰でも出来るグランドゴルフ場がほしいです。入場料を払ってでも、いつでも行ってグループでプレー出来る場所、志布志町内にどこか設置してほしい。一泊して楽しく遊んでくる所。他市町県内にはあります。作ってほしいです。グランドゴルフ人口は多いのに。健康作りにはいいと思います。
29	女性	70歳代	07.志布志区	入院できる病院が少ない。

(3) ごみ・買い物・移動等について

No.	性別	年代	地区	内容
1	女性	20歳代	04.香月	地方は車社会なので、高齢になって車を手放す事になっても不自由のなく暮らせるような、公共の福祉タクシーなどの交通網の拡充や、移動店舗の巡回などによる生活必需品を得る際の利便性の確保を図ってほしい。また実際利用できるサービス等についての情報を積極的に発信してほしい。
2	女性	30歳代	02.泰野	ごみに関して。細かい分別、リサイクルを行うことは大事なことです。お年寄りや田舎では草刈りの草や木材、焼ける物は近隣ですぐ燃やしてしまいます。日中、洗濯物を干していると煙がしみついて臭くなったり、ひどいときは家の中で煙の臭いが入ってきます。そういった「燃やせるゴミ」を住宅の近くで燃やさないように、何か対策をしていただけると、より住みやすいのですが……。市街地以外の市民にも目を向けていただけると幸いです。
3	男性	30歳代	04.香月	生ゴミを共通のバケツに捨てることはどうかと思う！！夏場は特に不衛生！！どうにかして下さい。お願いします。※生ゴミを集めてどうしてるんですか？
4	女性	30歳代	07.志布志区	ゴミの分別が多すぎる。分別の項目で分からないものも多くそのたびに市役所にTELしなければならずとても面倒である。資源ゴミの回収、一般ゴミの収集の日が少なすぎる。特にプラや紙など1ヶ月ためておくのはかなりの量で置き場がない。アピアで回収の日があっても小さい子がいたり、高齢だと持っていくこともできない。一般ゴミも赤ちゃんがいるとおむつもかなりの量になり臭いも気になる。1週間分だとすごく大量で衛生的にもおいておくのはよくないと思う。あそこまで分別を細かくするのであれば回収の日をもっと設けるべきだと思う。私は転勤で志布志にきたが、ゴミ分別があるので永住するのは無理です。子育てにはとてもいい環境が整っていると思うのですが…ゴミ分別がかなりのストレスです。
5	男性	30歳代	17.通山	高齢者の運転が気になります。どうしても車が必要になる地域のため免許証を返すことをためらっていると思います。市での交通方法を考えてほしいです。ゴミの分別は異常です。高齢者にはきついと思います。なぜ鹿児島市はもえるもの、もえないものだけに大隅地区はこのように多いのですか？そのため不法投棄が増え、逆にみえないところへのゴミが増えたり、家の中にため込んでしまったりするのではないのでしょうか？
6	女性	40歳代	02.泰野	2年ほど前、以前義父が1人で松山に暮らしていたが、私達が仕事で志布志町内の病院に連れていけなく近所の人に頼んで連れて行ってもらっていた。松山から志布志まで福祉バスが水曜の週1回しかないらしいが(今はどうかわからないけど)もう少し増やして欲しいと思う。

No.	性別	年代	地区	内容
7	女性	40歳代	04.香月	交通機関の充実をして、車の運転ができない人も、自分の都合で、自由に行動できるようにしてほしい。
8	男性	40歳代	05.安楽	ゴミの分別が多い。集落に入っている、入っていない関係なくゴミを捨てられるようにしてほしい。分別なしでゴミを捨てられる施設を作って欲しい
9	男性	40歳代	05.安楽	子育て世帯・高齢者世帯がゴミ捨てをスムーズに出来るように分別を優しくしてほしい。
10	女性	40歳代	07.志布志区	ゴミ出し等は日常と密接なので、市レベルで統一できないのかと感じました。
11	女性	40歳代	17.通山	現在子供達も大きくなり子育てもほとんど卒業し、自分自身、家族・両親共に元気で行政の支援や福祉のサービスとは無縁の状態であり、まだこれから先何が必要なのか実際にその時にならないと分かりません。現在、住んでいる所は車がないと買い物・病院・銀行等どこにも行けません。高齢になった時、車の運転が出来ないと不便だろうと思います。
12	男性	50歳代	02.泰野	高齢者が免許証を返納しても利便性が保たれる施策をお願いします。
13	男性	50歳代	04.香月	ゴミの分別をせめて鹿屋市程度まで簡素化していかないと高齢者や障害を持つ人々の負担は減らない。また、志布志市に移住してきた人もまず、ゴミ分別の難しさ、厳しさにおどろかされていると思う。特に若い世代は分別が嫌で他の市町村へ移ってしまう。1日も早く高温処理の出来る焼却炉を建設し高齢者を含む住民の負担を軽減するべきである。そうすることで若い世代の移住も増え、人口増につながり市に活気がでくと思う。
14	女性	50歳代	05.安楽	免許返納となった際の高齢者の交通手段。各地域ごとに周回してくれるようなサービス。遠方で行われるグランドゴルフの送迎サービス。今まで気軽に出かけていたことができなくなることで認知症発症の原因となる要因になってしまうことはあると思う。
15	男性	50歳代	07.志布志区	高齢になり免許証を返納したときの交通手段が不安。子供がいないのでどのように生活していけばいいのかどかに相談していいのか分からない。介護施設の充実。(少なく感じる)
16	男性	50歳代	08.帖五区	ゴミの分別をもう少しわかりやすくしてほしいのと数を減らしてほしい。若い人達が志布志市に住まない理由の1つでもあると思います。
17	女性	50歳代	10.田之浦	高齢により車の免許を返納された方が近所におられますが、やはり全ての行動に不便にされておられます。少しでも遠くなれば諦めてしまわれますし、荷物等も移動には困っていると思います。そんな場合近くにいる私に住住していますが、会社勤めのためどうすることもできません。何かサービス等受けやすい体制を整えていただけないでしょうか。
18	女性	50歳代	13.潤ヶ野	高齢・障害者となった時、それまで出来ていた車の運転などが、特に田舎に住んでいると不便になるので。
19	男性	50歳代	15.伊崎田	老人の足の確保の為に老人タクシー。定期的に運行してもらおうをお願いします。
20	女性	50歳代	16.有明	ゴミに関してもこれからは焼却炉燃えるゴミとして出せるように簡単になることを願っています。

No.	性別	年代	地区	内容
21	女性	50歳代	20.野神	まわりは高齢者が多く、車に乗るのが危ないといっても車がないと生活できないという状態である。もっと高齢者の人が病院・買い物に行ける福祉を作してほしい。タクシー券をもらってもタクシー会社に電話すれば遠いと断られたと高齢者の人から聞きました。高齢者が生きやすい街作りをして欲しいと思います。
22	男性	60歳代	01.新橋	自治会未加入者のゴミ出し一切の規制の撤廃(それぞれの事情で入りたくても入れないのが現状)、疎外感・過疎化を加速する。施設入居時や孤独死時の財産処分(寄付含む)保証人など事前相談窓口。
23	男性	60歳代	05.安楽	ごみ分別収集が細かすぎて対応できない住民(他地域からの転入者)が多いので、同一処理されるごみは分別不要だと思う。又、環境型の焼却炉の設置(建設)の検討、及び収集日が少ない。志布志、安楽地区(上の大地)(大原地区)に公共の集会、広場が無く、適度な運動、散歩等出来る施設が出来ないか？
24	女性	60歳代	05.安楽	老人のゴミ出しの支援。日常的なあいさつの仕方。独居老人の把握。
25	女性	60歳代	07.志布志区	志布志はゴミ分別、都市部で日本一はすばらしい事だと思います。私は現在60代ですが今はまだ分別が可能ですが、この作業を70才・80才代になってもできるだろうか？不安になってきます。分別を少しアバウトにはできないでしょうか？例えば、紙の分別が段ボール・厚紙・牛乳パック・新聞・チラシと余りに種類が多く、しかも重いので大変です。牛乳パックとティッシュの外箱、焼酎パック等は一緒に資源袋に入れるとかすれば若干楽になる様な気が致します。
26	女性	60歳代	08.帖五区	現在はゴミの分別もなんとか対応できていますが、この先加齢により分別はおろか集積場所へ持って行くことも危ぶまれる心配があります。個人的に分別・運搬を依頼すると当然料金等が発生し、ゴミ屋敷と化する懸念があります。行政での福祉の一環に、是非ゴミ問題を取り上げて頂き善処下さる事を希望します。
27	男性	60歳代	08.帖五区	自分が動けなくなった時、車の運転等々もできなくなっても、バスとかあまり無いようなので、生活していくのが不安です。
28	女性	60歳代	16.有明	高齢化の進む中、現段階では運転して自力で病院や買物などすることが出来るが、いずれ配偶者が居なくなったり家族の転勤や引越等、変化のある時が来た際、自分一人で出来る(生活面)ことの少なさに不安を感じる人は少なくないと思う。免許を返納したくてもその後の不自由さを思うとなかなか決心がつかないように思う。行政側での配慮を期待します。
29	女性	60歳代	17.通山	まず志布志に住むかどうかきくと、ゴミ出しが不便だの声が多い。年をとると分別が大変です。身体が不自由な私はケガする事が時々ある。分別の方法の仕方の字が小さいので年寄は大変です。
30	女性	60歳代	17.通山	高齢者になり買い物や病院へ行けなくなった時の支援センターが欲しいと思います。子どもが間に合わない事を考えてしまいます。(運転ができなくなりますので)
31	女性	60歳代	18.蓬原	単身世帯の為、部落に入らなければ生ゴミ回収で困っています。具体的な対策を希望します。
32	男性	70歳代	01.新橋	福祉バスの運行を志布志市内だけでなく他の市町村へ運行利用ができるように考えていただきたい。
33	女性	70歳代	08.帖五区	交通に関する事で、色々な事が不便になっていると思います。免許返納等で車に乗れなくなり、一人暮らし等で困っている人が多いと思います。他県では色々なコミュニティバス等、見かけますが、志布志の福祉バス、本当に利用者の事、考えての事でしょうか？予約制とか利用者の気持ち、あまり考えられていない様に思います。
34	男性	70歳代	09.夏井陣岳	高齢者の運転免許返納後の交通手段の確保

No.	性別	年代	地区	内容
35	女性	70歳代	15.伊崎田	一人居で車に乗れなくなった時の移動販売車が週1〜2回集落まで来て頂ける様な事を常に思っています。

(4) 人・コミュニケーション・自治会・情報等について

No.	性別	年代	地区	内容
1	女性	20歳代	05.安楽	地域の結びつきのきっかけとなる場をつくれないう。行政だけでは成り立たないほど高齢者が増え、サービスが行き届きにくくなっている。社協と連携することも必要だが、これまで以上に地域のサービス提供者を育成しなければならないと思う。その点で福祉、介護従事者の育成や学習会、セミナーなど広く市民に情報提供してほしい。高校生などでも気軽に参加できるようなワークショップや体験なども良いかもしれない。(就職活動に直接結びつかないものでも良いと思う。)また災害時の不安が大きいの、避難所体験をしてみてもと思う。(学校の体育館に実際泊まるなど。)
2	女性	30歳代	05.安楽	どんなに良いサービスがあっても、利用する側にほとんど伝わっていないことが多い。若い人はネットを使って調べられるが、高齢の方には難しいと思う。また、ネットなど使って調べた事はあるが、ネット自体見にくく使いにくかった。→(言葉の表現が堅苦しくて分かりづらい。)平日働いていれば直接聞きに行く事も難しく、土日祝日も市役所関係は休みで行けない。共働きが多いので、こういった人達の生活リズムに合わせたサービスをつくってほしい。隔週でもいいので、土日などに開庁してほしい。また、何か良いサービス等が始まった時は、市報だけでなく、みんなが見る、目に付く方法で宣伝してほしい。アパートなどに住んでいれば、市報を手に入る機会はまったく無い。ここに住んでいて良かったと思う活動を期待しています。
3	男性	30歳代	05.安楽	隣近所の人たちとは、昼間働いていて志布志市を離れるので、地域の総会や、日常生活の中で顔を合わす程度でしかなく、緊急時や災害時の連携の取り方が分からない。
4	女性	40歳代	03.尾野見	人間関係が希薄な時代になり、人と人が助けあうことが、かなり難しくなっていると思いますが、行政や市民がこの町に住んで良かったと思えるような志布志市民で協力しあっていけたらと、私たちは願っています。
5	女性	40歳代	03.尾野見	共働きで時間がなかなか作れないが、そういう人にもできそうな事を身近に知れるようしてもらえたら、何かに参加できるのではないかと考えています。
6	女性	40歳代	05.安楽	仕事や日常生活に追われ市の活動支援等を知ろうとしていないものもありますが、情報をもっと簡単に入ってきたら助かります。近所の方へのサポートや地域と関わりを持ちたいとも思っていますが、年配の方々とのへだたりもあり、諦めてしまいました。個人で介入していくのは大変なので何か小さいことから出来ることの情報が入ってくるといいですね。
7	女性	40歳代	07.志布志区	自治会費等が自治会によって違ったり、ゴミだけ出す事ができる集落とできない集落があるのに驚きました。
8	男性	40歳代	18.蓬原	自治会の人数が減り、若い世代への負担増のため狭い地域で協力して何かをすることに限界がきていると思います。「自治会」のあり方について一度考え直す時期にきているのではないのでしょうか。独居の方への移動、買い物サービスの充実も急がれる課題だと思います。「志布志」は一市民としても活気があり将来性のある場所に年々変わりつつあると感じています。今後の発展に期待しています。
9	男性	50歳代	01.新橋	機械を通してのコミュニケーションは、時として大きな力(成果)を発揮するが、逆に弱者に対して脅威となることを忘れてはいけないと思う。
10	女性	50歳代	04.香月	鹿児島市から志布志に引越してきて6年目になりますが……マンションに住んでいるせいか、30世帯位ある中、自分のマンションの住人だとはっきり分かる人はほとんどいない。鹿児島市出身のため、友人等もあり居ないので志布志の事が分からない。最近、プライバシーのことが重視されているが、もう少し地域のつながりを大切にしたい方が良いのではないかと思います。高齢者の方への何かできる事があればやりたいと思っていますが……(資格とかなくても)

No.	性別	年代	地区	内容
11	男性	50歳代	05.安楽	高齢化が進み個々に応じた支援の必要性。少子化が進む中、子育てしやすい環境作りの必要性。世代に応じた様々な福祉サービスが必要になってくると思う。やはり、市民と行政が共に協力して助け合う組織作りが第一だと考えます。私共は自治会に入っていないこともあり市の情報は市報を自分でもらって来るか告知放送で得る程度で今回のアンケート調査で知らない事も多くあった。情報の共有と地域の連携はどんな場面でも重要だと思います。私共を含め自治会未加入の世帯も多いと思います。まずは入りやすい自治会を作り地域作りを目指して欲しいです。
12	男性	50歳代	05.安楽	日常生活の中でまだ直接社会福祉が自分に関わってきていない所が多いため、日々の生活にまぎれ、どのような活動がありどのように活動に関わっていくべきかが分かっていない。私のような40代50代が多いと思われます。今後はそういった人々に活動の内容とやり方を周知させていき、参加させる体制を作るべきだと思います。
13	女性	50歳代	13.潤ヶ野	相談したくてもどこへ連絡したらよいのか分からない。時々でいいので市報にでも特集を組んで相談窓口の案内をして下さると助かるかもです。
14	女性	50歳代	17.通山	たぶん多くの福祉活動を市でも取り組んでいると思うのだが、仕事が忙しく広報を目にした耳にしたりすることが難しい。今後の広報活動に工夫があると有難いと思う。市内でも住む人の出入りが激しく隣近所に誰が住んでいるのか分からない地域もあるのではないかな。安心して暮らすためには近所に住む方の名前や顔がわかり良好な関係がつくられていることが大前提だと思う。
15	女性	50歳代	17.通山	市外で働いて、地域との交流がほとんどないが、必要な時いつでも情報が得られるような体制作りを望む
16	女性	50歳代	18.蓬原	今の時代、近隣を見回してみても、昔からの顔なじみは少なく、同じ校区内と言っても、一体どこから来られたのか、どこの誰なのか、殆ど分からない状況である。そんな中で住民同士の助け合いや地域の協力等、求める事自体、難しいと思う。市にしても、福祉や介護、子育てに対しての活動はされてはいるのだろうが、情報も少ないし、なんとなく相談しづらいイメージがある。社協だより「ささえあい」等も、もっと見やすさ、分かりやすさを追求してもらいたい。年配者に対しては字も小さく、ごちゃごちゃしていて読みづらいし、若年層に対しては、固すぎて面白みがない。様々な活動やサービスにしても、もっと告知なり、巡回なりとアピールすれば、認知も利用者も増えるのではないかなと思う。だが、一番大事なのは「相談しやすい」という事。「人」であったり「空間」であったり。実際、困っている人、助けが要る人は少なくないと思う。
17	男性	60歳代	04.香月	地域には個人情報保護法を越えた情報開示が必要。
18	男性	60歳代	04.香月	情報提供の充実等。
19	女性	60歳代	05.安楽	古き良き時代の家族は1つのテーブルを囲み子供達に大人の目がいつも注がれている空間がありました。地域の人々とも日々交流があり、サークル全体で子供達を見守り高齢者にも役割があり、貢献度が高くそれなりの生きがいにつながっていたと思います。今は、地域にどんな高齢者がいてどんな障害者がいるのかどんな問題を抱えているのか良く見えていません。知る機会もほとんどありません。ですから、今私が必要だと思うことは気負わず誰でも気軽に立ち寄れる子供から高齢者の方たちが集える(子供ははしゃいで大人は見守られる)緑の多いくつろげる場所があればいいなと思います。そこでみんなが何かを感じたり学んでいけるのではないかなと思います。
20	女性	60歳代	05.安楽	近くに住む住人同士の助け合いがあつて初めて弱者の方の様子や情報がそれぞれの市、社協等に素早く伝達すると思います。その為にどうしたら良いかという事を考えます。
21	女性	60歳代	06.東区	わからない事があるので(たくさん)教えてください。
22	女性	60歳代	08.帖五区	私達が子育てしていた頃からすると、とても暮らしやすくなったと思います。地域で助け合い子供からお年寄りまで声掛けをしながら見守ることが大切だと思います。市民は行政にばかり頼らず身近な人達が相談にのれる様なお付き合いをすべきです。生活にゆとりが無いとボランティア等周りを見回す、目がないように思います。まずは元気な人であることが1番です。

No.	性別	年代	地区	内容
23	女性	60歳代	16.有明	他県から嫁に来て40年あまりになりますが志布志は大好きなところ。残念なことに最近の若い方は近所の関わりが苦手な様なので寂しい気がします。住んでいる方の顔を見ない方もあり残念ですね。みんなと一緒に遊べる多目的広場があれば顔を合わせやすくなるかなと思いますがいかがでしょうか。
24	女性	60歳代	20.野神	部落に入っていないからわからない
25	女性	70歳代	07.志布志区	これからの人口が子供:成人:老人となると働く人の人口が1で(子供老人)が2で大変な時代に突入です。先を見て考えて行くことが大切だと思います
26	男性	70歳代	15.伊崎田	自治会活動が高齢化で厳しくなっています。協議会もますます大変だと思います。各活動の項目の多さより、内容の充実を望む。
27	女性	70歳代	18.蓬原	もはや、若者世帯のいない限界集落になっています。そこで若者が気軽に住めるよう住宅の(市営住宅等)確保が必要かと思われます。
28	女性	70歳代	19.原田	近隣住民がお互い声かけ等、助け合って生活出来たら良いと思う。
29	男性	70歳代	21.山重	色々な支援がある事を知りました。言葉一つちがってもちがった支援だと言う事も志布志市に居ながら恥ずかしい事です。もっと年寄りにも分かる様な発信をお願いします。今まで元気で支援を頼る事がなかったのも原因の一つでありがたい事かなとも思います。

(5) 子育て・学校・教育等について

No.	性別	年代	地区	内容
1	男性	40歳代	16.有明	通学路という標識と歩道を作ってほしいです。市役所近くでさえ歩道が途切れ横断歩道の白線が無いので危ないと思います。まず、市役所近くから始めていくのはどうでしょうか。
2	女性	30歳代	07.志布志区	子ども達が安心してのびのびと遊べるよう場所づくりをしてほしいです(土日祝もあいている支援センターや遊び場など)。適度な広さがなければ子ども達は遊べません。日南市や都城市の子育て支援センターはすばらしいです(日南市ことこと・都城市ふれびか)。
3	女性	40歳代	07.志布志区	遊具のある公園が少なすぎる。車で出掛けなければならず、気軽に行くことが出来ないという声をよく聞きます。
4	女性	30歳代	07.志布志区	昨年、子どもが生まれ、志布志での子育てが始まりました。子育てサロンやはぐくみを利用して頂いています。しかし、あまり活動内容に魅力を感じる事ができないというのが本音です。子育てをしていく中で、日々、病気の事、離乳食の事、保育園の事、ちょっとした事がいつでも気軽にちゃんと1対1で聞いてくださる所があればなあと思います。あと大きな公園が海の近くに集中している感じなので、上の地域にもあると健康のため、子どものためにも便利だなと感じます。
5	女性	30歳代	17.通山	昨年熱中症による重病、死亡の件数が増加していく中で、子どもを育てている現在、屋外での遊び方に不安があります。屋内施設があると大変嬉しく思います。
6	女性	30歳代	04.香月	雨の日でも、日の暑い時でも気軽に集まれる、公園のようなカフェのような施設、小さい頃からお年寄りまで皆が来れるような室内の場が欲しい。(無料で)外で遊ぶ所の広いスペース、そして安全のためのある程度の壁やフェンスが欲しい。遊具がもっと多様化して欲しい。

No.	性別	年代	地区	内容
7	男性	70歳代	19.原田	子供達が遊べる公園が少ないのでつくってほしい。
8	女性	20歳代	05.安楽	子供が(その子の親も)安心して学校へ登下校できる地域作りや子育てに対してのサポートをもっと考えて欲しいと思っています。高齢化が進むなかで高齢者に対するサポートなどは沢山あるのに子育て、教育など子供の事のサポートが少なすぎると思います。
9	女性	60歳代	16.有明	学童保育の充実をお願いします。病児保育事業、井手小児科に併設してありとてもありがたいです。
10	女性	30歳代	16.有明	公園の遊具をもっと充実させてほしい。
11	女性	30歳代	16.有明	子供だけで安心して遊べる場所、環境作りをして欲しい

(6) 障害・福祉サービス等について

No.	性別	年代	地区	内容
1	女性	30歳代	03.尾野見	ボランティア活動への支援の継続と、市で行う育成講座に関してはこれからも続いてほしいと思います。
2	女性	30歳代	07.志布志区	志布志には障がい児に対する支援や体制が低いと思っています。まず、未就学児に対する支援する場所はニコニコしかありません。それも毎日通園できず、週に2～3回程だったり、送迎はなく9:30～15:30までと親は働くことすらできない状態になります。サポートしてくださる先生方も少なく、親の相談にもものつてくれ、夜遅くまで仕事され、市役所に提出する書類作成まで1人1人の先生の負担もかなりかかっていると感じてました。3年間通いましたが、先生が初めていった時の先生は3人しか残っていませんでした。現在小学1年になりましたが、就学前は地域の学校か養護学校か悩みました。しかし、小学校の見学に行きましたが、障がい児に対する学校の整備も十分でなく、自閉症、ダウン症など個人個人違いますが、教室内がオモチャや本などであふれており、自閉症の理解などが、先生、学校側が低く感じました。そして、親が付き添っている子供もいましたが、補助の先生もおらず、体制の不備にびっくりさせられました。そして、私は仕事をしています。社員としてです。もし、付き添うとなれば、介護休暇扱いになります。障害者に対する支援休暇ではなく介護になるんです。会社は休んでもよいといってくれ理解してくれますが介護ではないんです!!そして、学童の問題です。バスが1人で待てますか？支援事業所は志布志にありますか？ふじの森も毎日行けません。愛生会の送迎で職場から愛生会へ迎え、そして家に帰る。50分かかります。養護学校でもバスで1時間30分程かかります。高等部まで通うんです。志布志市は昔からこの状態になにも考えてくれないんですか？高等部までとはいきません。小さな子がバスで遠くまで通っている事を見直してほしいです。発熱や病気をした際は、私は1時間かけて養護学校へ行って、1時間かけて志布志の病院へ連れていかなければなりません。2時間かけて病気の子供を病院に連れていかないといけないんです。牧之原養護学校の付近に小児科ありますか？そんな情報もありません。福田HPヘリハビリもいってますが、土曜日しかいけません。私は仕事する資格がないのかと考えます。
3	女性	50歳代	04.香月	障害のある人への理解のない住民が多いので、もっと障害のある子供達への理解を求めたいです。すごい目で見えていたり、ふつうに歩けないだけで遠巻きにヒソヒソと話したり、見ていて気分が悪くなります。いつかは自分もそうなるかもしれない、明日は我が身なこの時代に子供に対してまでそんな目で見ないでほしいと願うばかりです。又、志布志市では良く耳にする事が生活保護を受給する人が本当に多くて、働いている人より良い暮らしをしているという事です。その方々の受給は本当に必要なのですか？何が基準となっているのか？分かりません。もっと厳しく本当に困っている人を助けてあげて下さい。
4	女性	50歳代	21.山重	高齢、障害、貧困等、今は多くの弱者の方々が様々な支援によって生活を送っていますが、線引きせずに障害等の有無に関わらずに住民がお互いに思いやりの気持ちを持てるそんな社会を望みます。そして自分自身も周囲への気配り等できるよう心のゆとりをもてるようにしたい。志布志市の福祉がよりよい方向に広がり発展していく事を願っております。
5	女性	60歳代	15.伊崎田	今、63歳です。80歳の私を思うと不安です。山の中で1人暮らすこと。3年前1人暮らしのおばさんの世話をして来ました。話し相手をして買い物して83歳で亡くなりました。私は集落にも福祉の方がおられると安心するかも、なんでも頼める方です。子供は近くにいないとあてになりません。孫が障害者で、今4歳で歩くことも話すことも出来なくて将来を思うと福祉サービスに使いたいです。感謝しています。ありがとうございました。
6	女性	70歳代	15.伊崎田	病院通いも多く市役所(保健)にもすみませんという気持ちでいっぱいです。あまり皆様の為になることも出来ません。朝夕、自分で気を付けられることで毎日を過ごしていこうと思っています。これからもお世話になります。宜しくお願いします。

(7) 雇用・ボランティア等について

No.	性別	年代	地区	内容
1	男性	40歳代	06.東区	ボランティアは個人がこっそりすることがボランティアだと思います。市報を見ると、ただのパフォーマンスにしかすぎず、その時やったことしか載ってません。各自治体でも清掃しているところもあります。そう言う自治体こそ市民に発信してもらいたいと思います。福祉も時間を持て余した70歳代が多いかと思います。もう少し若者を雇用して高齢者の世話をしてもらいたいと思います。
2	女性	40歳代	21.山重	子どもから高齢者まで、あらゆる世代がお互いを理解し、今の時代に合った方法でかわり合い、本当の意味でのボランティア、福祉の精神が自然と身につく様な市、地域にしたいって欲しい。ムリヤリ、仕方がないから、決まったことだから、と参加する活動は意味がないと思う。根底の家族の時間が削られ、市・地域の活動に参加させられているのが現状である。
3	男性	50歳代	18.蓬原	経済的支援の充実を特に求める。働く場所の充実。
4	女性	60歳代	01.新橋	社協の活動にもボランティアとして協力しています。ただ、人不足なのか、一人でいくつものボランティアを掛け持ちしている人の多いこと！（一つ引き受けると他も引き受けざるを得なくなる現状です。）だれもが気軽に参加できるボランティアの育成（在り方）が急務だと思います。
5	男性	60歳代	04.香月	ボランティアと言うが、まず市長、議員、市職員、関連団体方々が参加しながら、市民への参加を啓発していく（現在、どれだけの職員の方が参加しているか知りませんが）。これからは森林が荒廃しているので、毎年豪雨災害が考えられるので、民間企業より比較的動ける市職員のボランティア組織を発足してはと考える。
6	女性	60歳代	15.伊崎田	ボランティアといっても色々あり力仕事は無理ですが昔PTA活動は良くしましたからその程度のボランティアなら参加したいです。段階を数段階くらいに分けてそのどれかに登録するのであれば気軽にできそうです。
7	女性	60歳代	20.野神	志布志市は農業が主である為、ボランティア活動の体制が作りにくいと思います。その為、ボランティアと安心して暮らすことができる地域づくりをつなげる事は難しいと思います。するんだったら強制的に取り組めばよいと思います。
8	女性	70歳代	01.新橋	若い人たちの働く場所がほしいです。そして、お店があったら良いと思います。
9	女性	70歳代	06.東区	こんな人の為にボランティア等したくないと思う方がたくさんおられます。若いうちから人間性を高めるように努力したりそのような活動も必要なのではないのでしょうか。

(8) 計画策定・本アンケート調査について

No.	性別	年代	地区	内容
1	男性	30歳代	05.安楽	子供たちや私自身が、日常生活の中で、障害者や高齢者との関わりがあまりないので、設問に対して自分のこととして考えられず、分からない(興味や理解している)ことが少なかつた。
2	男性	30歳代	10.田之浦	調査項目では年配者や障害者を対象とするような項目が多いように感じた。地域の高齢化が進んでいるため大事な内容だとは思いますが、若い人を引き入れるような施策・項目が少ないように思う。
3	男性	30歳代	17.通山	意識調査をするのなら、意見を集める努力をしてください。なにをしているかさっぱりです。
4	男性	60歳代	03.尾野見	このアンケート内容は、高齢者福祉の事が多く、将来を見すえた少子化や子育てに対する項目が少なく感じます。
5	女性	60歳代	05.安楽	志布志に住み始めてまだ長くない為、情報が全然わからない為、アンケートにうまく答えることが出来ませんでした。申し訳ありません。
6	女性	60歳代	16.有明	いろいろと勉強になりました。
7	女性	70歳代	06.東区	今回のこの意識調査が形式的・義務的なものに終わらず、市民の声を十分生かし、より安心して暮らせる地域づくりの推進を願います。
8	男性	70歳代	16.有明	アンケート取りまとめ方法について一工夫してほしい。依頼が3回も通知があった。チェック機能について対策方法を考えて。
9	男性	80歳以上	13.潤々野	現役の地域住民の方々が協議会の諸情を認識して頂き、積極的に活動、推進を期待します。

(9) 行政全般・福祉行政について

No.	性別	年代	地区	内容
1	男性	60歳代	17.通山	市長が変わったことによって庁舎移転するのは市民からの集めた税金から出すのは断固反対です。そのままで良いのでは・・・行政の方ももう少し考えてほしいものです。それから物事を起こすスムーズに後手後手にならないようお願いしたい。
2	男性	30歳代	04.香月	役所の人達がもっとテキパキ働いてほしい。のんびりしすぎて住民側も急いでいる方もいるので効率のいい仕事をしてください。全体的にお役所の人達はマイペースすぎます。
3	男性	40歳代	06.東区	今の世の中銀行等がマイナス金利で利子もつかない時に、志布志市の国保税は1%も上げ、国民の負担が大きくなりました。ふるさと納税で何億もありましたと志布志の市報で見ますが、国保が危機的状態ならまず、そちらの方に使ってもらいたいです。
4	女性	60歳代	03.尾野見	給付金をもらわなくても生活出来る人が給付金をもらったり仕事を探さなかったりして給付金をもらっている人がいると思う。もう少し給付金のあり方、本当に困っている人に支援すべきだと思う。給付金をもらったら遊びに行く人もいと聞く。もっと厳しく見て欲しい。そういうのを防ぐことで本当に困っている人が助かると思う。
5	男性	70歳代	06.東区	「少子・高齢化時代」が叫ばれ、遠隔地方・学童ゼロ集落は年々増加、人口減はこの様な形になっている。この先どうなるのか。野生動物増加・田畑は荒れ放題化・・・？ そうならないように①市内の若い家族の移住②市外の若い家族の移住③県外の若い家族の移住。など施策が必要である。無策であれば、東南アジアなど海外から招かれざる移住者が増加するだろう・・・？ 遠い将来まで「安心できる環境作り・基盤作り」を是非願います。

No.	性別	年代	地区	内容
6	男性	60歳代	06.東区	今回アンケートを貰った事で、地域福祉の活動がこんなに有る事を知りました。自分に今の所その必要性があまり無かったからだと思います。皆が活動の内容を良く理解し、もっと利用しやすいように社会福祉の内容を一覧にして連絡先も記して、年に1回は配布して貰ったら助かります。
7	女性	30歳代	17.通山	市長が変わってから市税が増えた。収入も変化なしなのにこれから先が不安だ。
8	男性	30歳代	13.潤ヶ野	市のHPでの情報発信をもっと活発化してもらいたい。情報量、更新回数等。電話等で問い合わせなければならぬ手間が減ればその分、市の職員の方の業務量も減り、より充実したサービスの実利につながるかと思う。
9	男性	50歳代	04.香月	生活保護を今現在受けている人達は本当にその必要性があるのですか？働けるのに働かず、お金を不正に受給して生活しているようにしか見えない人達も沢山居ます。本当に生活に困っている人達が居るのに、体も不自由で本当は働ける体でもないのに働いて、その中で不正にもらってるような人達はその金で毎日ビールを飲み、クーラーの部屋で快適に生活するようにしか見えない人々が志布志の町には居すぎます。役所に行って相談してもちゃんと向き合ってくれない人も居ます。仕事だから線引きするのですか？本当に困ってる人の生活を本気で救ってほしいと願います。
10	男性	50歳代	07.志布志区	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らす事ができる地域づくりは目標であると思われませんが、はたして具体的な手段をどう構築し、人口減少、より高度な高齢者社会を目標のように10年後、20年後つくりあげられるのか？今を尊重し、未来を描く事は、極めて施策が万人共通である事を困難、リーダーシップが求められるのでしょう。私は早い段階での志布志市コンパクトシティ化を目指し、広範囲での福祉サービスでの対応をより円滑に様々な機能が組み合わされやすい街づくりをする事が必要と思う。
11	男性	70歳代	01.新橋	事務所への入室が土足禁止で面倒である。支所庁舎に空部屋が多いのに！せまい所を使っては入りにくい。福祉！福祉！という割に力の入れ方が足りないと思う。事務所もスマートにした方がよい。
12	女性	30歳代	13.潤ヶ野	特にないが、職員に差がある。
13	男性	20歳代	08.帖五区	言語聴覚士等の資格を持った方が常駐、もしくはいつでも相談できる施設があってほしい。
14	女性	50歳代	07.志布志区	住民減少傾向の中、税の負担が増えなければよいが、今後の行政が安定する様願います。
15	女性	50歳代	08.帖五区	志布志は他の市より税金が高い。給料のわりには税金が高すぎる。我々からすると役場職員は楽して給料がよすぎる。タイムカードがないのはおかしい。生活保護をもらっている人がパチンコや飲みに行ったりするのはいかなるものでしょう。我々必死に働いているのに自分たちの生活がやっとなのにそこから税金を取られ、それらがそちらに回ってるのですよね。不公平です。苛立ちを感じます。
16	女性	30歳代	07.志布志区	周りの住民の方々の中に介護を必要としている方々が多くいらっしゃる中、家族の方も福祉に関して情報不足やサービスの関心も無い方が多いです。理解を得られなければ始まらないので、もっと理解を深められるよう、気軽に相談に行けるような環境づくりをした方がよい。住民がまず相談に行こうと思いつく場所は役所です。市役所、福祉課等に相談へ足を運んだ事がありますが、正直、職員の方に知識が薄く、たらい回しにされるのが多いです。住民だけでなく、福祉課の方々もサービスに関してもっとわかりやすく説明、理解、情報の開示等、まず地域に発信していけるようにして欲しいです。文書等で理解を求めたり、市報等のみでは難しいと思うので、協議会の方々時間のつく範囲で良いので訪問したり、気軽に相談出来るような環境づくりを望みます。

(10) 社会福祉協議会について

No.	性別	年代	地区	内容
1	男性	50歳代	01.新橋	社会福祉協議会職員が地域福祉に係る自主性を高めリーダーシップをとってほしい。また、経営的にも自主財源の確保に努めてほしい。
2	女性	50歳代	05.安楽	(問39「社協の活動の認知度」について)本当に必要とされる方、高齢者、一人暮らしの方はご存知ないと思います。もっと社協さんが広告を出すべきではないでしょうか？困ってる方はたくさんいると思います。相談したくてもできない方も多いと思います。子育てもある、介護もある方もとても大変だと思います。そんな方への積極的な相談等、充実してほしいと思います。よろしくお願いします。
3	男性	60歳代	18.蓬原	社協の各活動をもう少しスリム化した方が分かりやすい。まとめられるサービスがありそうです。また(問39「社協の活動の認知度」について)の14は内容が分からない。
4	女性	70歳代	18.蓬原	猫の放し飼いによる被害に苦慮しています。飼育される方に周囲が迷惑をこうむっているという事を行政の方で啓発してほしいです。(個人となり近所ではなかなかできません)そして、責任のある飼育をということを声を大にしてお願いします。
5	女性	70歳代	21.山重	年を重ねるごとに福祉協議会さんの方にはこれから色々な事でお世話になります。志布志市の高齢者の皆が安心して暮らせまうように、自分の趣味が誰にでも気軽にできる入所施設を増やして頂けますように願って居ります。
6	男性	80歳以上	02.泰野	誰もが安心して在宅で生活出来るための訪問による情報提供、見守り、生活指導等、こまかな日常の支援が必要あり。そのことが安心につながると思う。又、社会福祉協議会と連携して進めるのは当然であるが、あまり社協にウエイトが大きすぎでは限界がある。
7	男性	80歳以上	17.通山	地区社会福祉協議会の充実。自治会未加入者への情報提供の充実。自治会未加入者への社協会費、年末助け合い、赤十字等の各戸への通知の有り方。

(11) その他

No.	性別	年代	地区	内容
1	女性	20歳代	07.志布志区	何も期待していません。
2	女性	40歳代	07.志布志区	もう一度桜道をつくってほしいです。桜道が少なくなりました。
3	女性	40歳代	17.通山	遠くで暮らしていても家族の支援がまずあるべきだなとも思います。
4	女性	50歳代	07.志布志区	イオンなどのお店がない。病院が限られている。外食しても値段が高い。あまり色々お店もない。孫を連れて遊ぶ所も少ない。高齢になってタクシー代が少しでも安くなると良いと思います。
5	女性	60歳代	08.帖五区	今では何とか庭木の剪定等出来ますが、今後ますます高齢になると先々不安になります。働ける内は頑張ろうと思っていますが、1年1年老いを感じています。
6	男性	70歳代	04.香月	自分のことが先という人が多すぎます。体が元気なときに若い人や子供をもっと大切にしてもらいたいです。
7	男性	70歳代	15.伊崎田	志布志市、明るく、元気で、前へ